Canon
キヤノン株式会社
キヤノン販売株式会社
〒108-8011 東京都港区港南2-16-6

製品取り扱い方法に関するご相談窓口

お客様相談センター（全国共通番号）

050-555-90002

受付時間：平日 9：00〜20：00
土・日・祝日 10：00〜17：00
（1月1日〜1月3日は休ませていただきます）

※ 上記番号をご利用いただけない方は、043-211-9556をご利用ください。
※ IP電話をご利用の場合、プロバイダーのサービスによってつながらない場合があります。
※ 受付時間は予告なく変更する場合があります。あらかじめご了承ください。

修理サービスご相談窓口

付属の「修理サービスご相談窓口」（別紙）でご確認ください。

キヤノンデジタルカメラホームページのご案内

キヤノンデジタルカメラのホームページを開設しています。最新の情報が掲載されていますので、インターネットをご利用の方は、ぜひお立ち寄りください。

キヤノン株式会社	http://canon.jp/bebit/
キヤノン販売株式会社 デジタルカメラ製品情報	http://canon.jp/dc/
キヤノン販売株式会社 サポート	http://canon.jp/support/
CANON iMAGE GATEWAY	http://www.imagegateway.net/

CDI-J178-010 XX05CHXX

Canon キヤノンデジタルカメラ IXY DIGITAL 55 カメラユーザーガイド

Canon

CDI-J178

キヤノンデジタルカメラ

IXY DIGITAL 55



DiG!C II
PictBridge
DIRECT PRINT
BUBBLE JET DIRECT
Exif Print
DPOF
HI-SPEED CERTIFIED USB
CANON iMAGE GATEWAY

カメラユーザーガイド

最初にp.6の「ご使用の前に」をお読みください。
ソフトウェアクイックガイドやダイレクトプリントユーザーガイドもお読みください。

このカメラでできること

撮影

- 静止画のほか、音声つきの動画も撮影できます。
- 露出補正、ホワイトバランス、色効果なども用途に合わせて自由に変更できるほか、シーンに合わせてカメラが撮影条件を自動的に設定し、撮影できます。
- SIセンサーを搭載しており、撮影した画像の縦横位置も自動的に判別します。
- 画像の色味を変化させて撮影できます（マイカラー）。

再生

- 動画を音声つきで再生できます。
- スライドショー機能で画像を自動的に再生できます。

編集

- 撮影した画像に、音声メモを記録できます。
- 記録した動画を編集できます。

印刷（プリント）

- カメラダイレクト対応プリンター（別売）に接続し、パソコンを使わずにイージーダイレクトボタンを押すだけで、高画質なプリントを得られます。
- 撮影した画像は、従来の写真と同様に、プリント取り扱い店でデジタルプリントできます。また、インターネットを通じてオンラインプリントもできます。
- このカメラは、標準規格「PictBridge（ピクトブリッジ）」に対応していますので、キヤノン製以外のプリンター（PictBridge 対応）にも接続でき、カメラからの簡単な操作でプリントができます。

撮影した画像の活用

- パソコンに画像を取り込んで、編集できます。
- カメラをパソコンに接続し、イージーダイレクトボタンを押すだけで簡単に画像を取り込めます。
- 撮影した画像や音声は、カメラの起動画面や起動音、シャッター音として設定できます。
- インターネットを通じて、撮影した画像をアップロードして、オリジナルアルバムを作成できます。また、そのアルバムを友人やご家族にも公開できます。

アクセサリーはキヤノン純正品のご使用をおすすめします。

本製品は、キヤノン純正の専用アクセサリーと組み合わせて使用した場合に最適な性能を発揮するように設計されておりますので、キヤノン純正アクセサリーのご使用をおすすめいたします。
なお、純正品以外のアクセサリーの不具合（例えばバッテリーパックの液漏れ、破裂など）に起因することが明らかな、故障や発火などの事故による損害については、弊社では一切責任を負いかねます。また、この場合のキヤノン製品の修理につきましては、保証の対象外となり、有償とさせていただきます。あらかじめご了承ください。

Li-ion リチウムイオン電池のリサイクルにご協力ください。

ガイドの使いかた

以下のガイドが用意されています。用途に合わせてお使いください。

システムマップ

- 付属品・別売品の紹介
- 周辺機器との接続

クイックスタートガイド

- カメラの基本的な操作方法とボタンの説明
- ソフトウェアの基本的な操作方法

カメラユーザーガイド（本書）

- 準備、撮影、再生、消去の操作方法
- パソコンとの接続方法

ダイレクトプリントユーザーガイド

- プリンターとの接続方法とプリント方法

ソフトウェアクイックガイド

- 付属の CD-ROM に収められている各ソフトウェアの主な機能
- パソコンに必要なシステム構成
- ソフトウェアのインストール方法
- カメラで撮影した画像をパソコンに取り込む方法

＊「Windows®XP、Mac OS Xをお使いの方へ」もお読みください。

ZoomBrowser EX ソフトウェアガイド（Windows）/ ImageBrowser ソフトウェアガイド（Macintosh）

- ZoomBrowser EX（Windows）の詳細な使いかた
- ImageBrowser（Macintosh）の詳細な使いかた

修理サービスご相談窓口

修理に関するお問い合わせ先

表記について

見出しの横や下にあるマークは、この操作が行えるモードを表しています。下の例では、次のときに操作できます。

モードスイッチが（撮影）のとき



撮影モードが次のとき

・（オート）　・（マニュアル）　・（ポートレート）
・（ナイトスナップ）　・（キッズ&ペット）
・（パーティー/室内）　・（水中）　・（マイカラー）

*撮影モードがグレー表示のときは操作できません。
* はスティッチアシストを表しています。

:カメラを正しく動作させるための注意や制限を記載しています。

:カメラを使用するにあたって知っておくと便利なこと、参考になることを記載しています。

このガイドでは、SD（Secure Digital ＝著作権保護システム）メモリーカードをSDカードと表記します。

目次

☆のページでは、このカメラの機能や操作をまとめて記載しています。

再生

消去

必ずお読みください

ためし撮り

必ず事前にためし撮りをし、画像が正常に記録されていることを確認してください。
万一、このカメラやSDカードなどの不具合により、画像の記録やパソコンへの取り込みがされなかった場合、記録内容の補償についてはご容赦ください。

著作権について

あなたがこのカメラで記録した画像は、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。なお、実演や興業、展示物などのうちには、個人として楽しむなどの目的であっても、撮影を制限している場合がありますのでご注意ください。

保証について

このカメラの保証書は国内に限り有効です。万一、海外旅行先で、故障・不具合が生じた場合は、持ち帰ったあと、国内の「お客様相談センター」にご相談ください。

ご注意

本体温度について

このカメラは、電源を入れたあと長時間お使いになっていると、本体温度が高くなることがあります。これは故障ではありませんが、長時間皮膚が触れたままになっていると、低温やけどの原因となることがありますので、ご注意ください。

液晶モニターについて

液晶モニターは、非常に精密度の高い技術で作られており99.99%以上の有効画素がありますが、0.01%以下の画素欠けや、黒や赤の点が現れたままになることがあります。これは故障ではありません。また、記録される画像には影響ありません。

安全上のご注意

- ご使用前にこの「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
- ここに示した注意事項は、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や損害を未然に防止するためのものです。内容をよく理解してから本文をお読みください。
- 本文中の「本機器」とは、カメラ、バッテリーチャージャーおよび別売のコンパクトパワーアダプターを指します。

警告　この警告事項に反した取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性があることを示します。

注意　この注意事項に反した取り扱いをすると、人が傷害または物的損害を負う可能性があることを示します。

△記号は、取り扱いを誤ると、事故につながる可能性があることを示します。記号の中の図は注意事項を意味します。

⃠記号は、禁止の行為を示します。記号の中の図は禁止事項を意味します。（左図：分解禁止）

●記号は、必ず守っていただきたいことがらを示します。記号の中の図は指示内容を意味します。

SDカードについて

SDカードをお子様の手の届かないところに保管してください。
誤って飲み込むと危険です。万一、飲み込んだ場合には、ただちに医師にご相談ください。

⚠ 警　告

- **カメラで太陽や強い光源を直接見ないようにしてください。**
  視力障害の原因となります。

- **ストロボを人の目に近付けて発光しないでください。**
  目の近くでストロボを発光すると、視力障害を起こす可能性があります。特に、乳幼児を撮影するときは1m以上離れてください。

- **本機器はお子様の手の届かないところに保管してください。**
  お子様が誤って本機器やバッテリーを破損すると危険です。また、誤ってリストストラップ を首に巻き付けると、窒息することがあります。

- **本機器を分解、改造しないでください。**
  高電圧がかかり、感電する原因となることがあります。内部の点検、調整、修理はお買い上げになった販売店またはキヤノンサービスセンターにご依頼ください。

- **落下などにより、ストロボ部分が破損した際は、内部には触れないでください。**
  さらに、内部が露出した際は、絶対に手を触れないでください。高電圧がかかり、感電する原因となります。速やかに、お買い上げになった販売店またはキヤノンサービスセンターにご連絡ください。

- **煙が出ている、焦げ臭いなどの異常状態のまま使用しないでください。**
  火災、感電の原因となります。すぐに機器本体の電源を切り、その後必ず、バッテリーを外すか、バッテリーチャージャーをコンセントから抜き、煙が出なくなるのを確認して、お買い上げになった販売店またはキヤノンサービスセンターにご連絡ください。

- **本機器を落としたり外装を破損した場合は、まず、カメラの電源を切り、バッテリーを外すか、電源コードの差し込みプラグをコンセントから抜いてください。**
  そのまま使用すると火災、感電の原因となります。お買い上げになった販売店またはキヤノンサービスセンターにご連絡ください。

- **本機器内部に水などを入れたり、濡らしたりしないでください。**
  本機器には防水処理が施されていません。水滴がかかったり、潮風にさらされたときには、吸水性のある柔らかい布で拭いてください。万一、内部に水や異物などが入った場合は、まず、カメラの電源を切り、バッテリーを外すか、電源コードの差し込みプラグをコンセントから抜いてください。そのまま使用すると火災、感電の原因となります。お買い上げになった販売店またはキヤノンサービスセンターにご連絡ください。

- **お手入れのときは、アルコール、ベンジン、シンナーなどの引火性溶剤は使用しないでください。**
  火災の原因となります。

- **電源プラグを定期的に抜き、その周辺およびコンセントにたまったほこりや汚れを乾いた布で拭き取ってください。**
  ほこり、湿気、油煙の多いところで電源プラグを長時間差したままにすると、その周辺に溜まったほこりが湿気をすって絶縁不良となり、火災の原因となります。

- **電源コードに重いものを載せたり、傷つけたり、破損したり、加工しないでください。**
  漏電して、火災、感電の原因となります。

- **濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。**
  感電の原因となります。また、電源プラグを抜くときは、必ずプラグを持って抜いてください。電源コードを引っ張ると、芯線の露出、断線などでコードが傷つき、火災、感電の原因となります。

- **本機器専用以外の電源は使用しないでください。**
  発熱、変形して、火災、感電の原因となります。

- **バッテリーを火に近付けたり、火の中に投げ込まないでください。**
  また、水や海水に濡らしたりしないでください。バッテリーの破裂、液漏れにより、火災、けがの原因となります。

- **バッテリーを分解、改造したり、加熱しないでください。**
  破裂により、けがの原因となります。万一、バッテリーの電解液が漏れ、衣服、皮膚、目、口に付いたときは、ただちに洗い流してください。

- **バッテリーを落とすなどして強い衝撃を与えないでください。**
  外装が破損した場合、バッテリーの液漏れにより、けがの原因となります。

- **キーホルダーなどの金属類でバッテリーの「⊕」と「⊖」の端子を接触（ショート）させないでください。**
  発熱し、やけど、けがの原因となります。持ち運びや保存の際は、必ず端子カバーを取り付けてください。

- **バッテリーを廃却する場合は、接点部にテープを貼るなどして絶縁してください。**
  廃却の際、他の金属と混じると、発火、破裂の原因となります。

- **指定されたバッテリーを使用してください。**
  それ以外のものを使用すると、バッテリーの破裂、液漏れにより、火災、けがや周囲を汚す原因となることがあります。

- **バッテリーパックNB-4Lを充電する場合は、指定されたバッテリーチャージャーを使用してください。**
  それ以外のものを使用すると、発熱、変形して、火災、感電の原因となります。

- **バッテリーチャージャー、コンパクトパワーアダプターは、充電終了後および使用しないときは、カメラと電源コンセントの両方から外してください。**
  長時間接続しておくと、発熱、変形して火災の原因となります。

- **バッテリーチャージャー、コンパクトパワーアダプターの出力端子は、このカメラ専用です。**
  他のバッテリーや製品にはお使いにならないでください。火災の原因となることがあります。

磁気について
カメラのスピーカー（p.14）に磁気の影響を受けやすいもの（クレジットカードなど）を近付けないでください。それらのデータがこわれて、使用できなくなることがあります。

⚠ 注　意

- **直射日光のあたる場所、および車のトランクやダッシュボードなどの高温になるところで使用・保管しないでください。**
  バッテリーの液漏れ、発熱、破裂により、火災、やけど、けがの原因となることがあります。また、機器外装が熱により変形することがあります。また、バッテリーチャージャーで充電する際は、風通しのよいところでお使いください。

- **湿気やほこりの多い場所に保管しないでください。**
  火災、感電、故障の原因となることがあります。

- **カメラをリストストラップで下げているときは、他のものに引っ掛けたり、強い衝撃や振動を与えないように注意してください。**
  けがや本体の故障の原因となることがあります。

- **ストロボの発光部分を手や布などで覆ったまま発光しないでください。**
  煙や音が出て、故障の原因となることがあります。
  また、連続発光後、発光部分に触らないでください。やけどの原因となることがあります。

- **ストロボ発光部分にゴミやほこりなど異物がついたまま発光しないでください。**
  発熱によりストロボ発光部分の損傷の原因となることがあります。

- **バッテリーチャージャーやコンパクトパワーアダプターは、必ず指定された電源コンセントを使用し、定格を超えて使用しないでください。**
  地域によって、電源プラグ部分が異なります。本書の「付録」をご覧ください。

- **バッテリーチャージャー、コンパクトパワーアダプターの電源コードや電源プラグが傷んでいたり、コンセントの差し込みが不十分なまま使用しないでください。**

- **電源プラグや充電端子部に金属製のピンやゴミを付着させないでください。**

故障を防ぐためのご注意

■ 電磁波による誤作動、破壊を防ぐために

カメラをモーターや強力な磁場を発生させる装置の近くに、絶対に置かないでください。電磁波により、カメラが誤作動したり、記録した画像のデータが破壊されることがあります。

■ 結露を防ぐために

カメラを寒い場所から急に暑い場所に移すと、カメラの外部や内部に結露 (水滴) が発生することがあります。
カメラを寒い場所から暑い場所に移すときは、結露の発生を防ぐために、カメラをビニール袋に入れて密封しておき、周囲の気温になじませてから、袋から取り出してください。

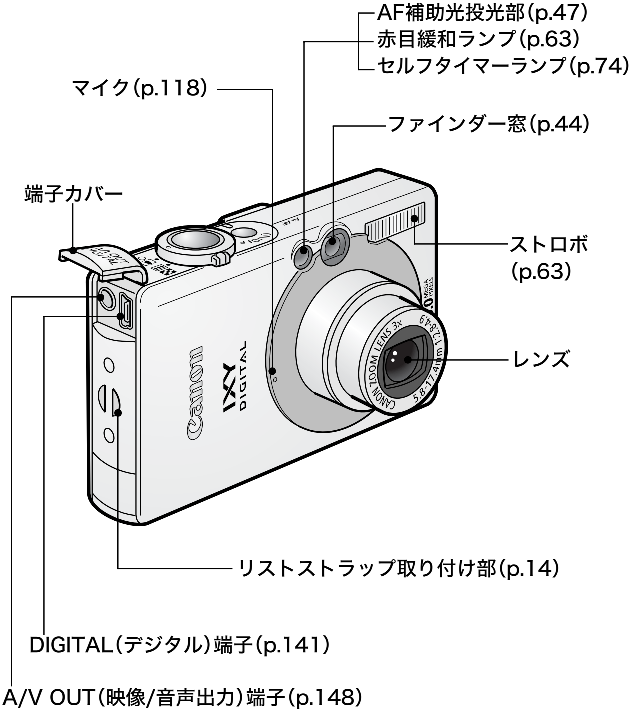
■ 結露が発生したときは

故障の原因になりますので、カメラをお使いにならないでください。SDカード、バッテリー、コンパクトパワーアダプターをカメラから取り外し、水滴が自然に消えるまで常温で放置してから、カメラをお使いください。

■ カメラを使用しないときは

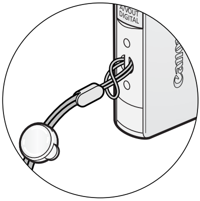
バッテリーをカメラやバッテリーチャージャーから取り出して、安全な場所に保存しておいてください。バッテリーを入れたままにしておくと、バッテリーが消耗します。
ただし、バッテリーを取り出してから約3週間経過すると、設定した日付/時刻やカメラの設定が解除される場合があります。

前面

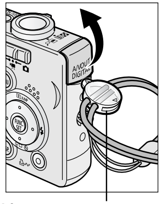


インターフェースケーブルとAVケーブルは、同時に接続できません。

リストストラップの取り付けかた*



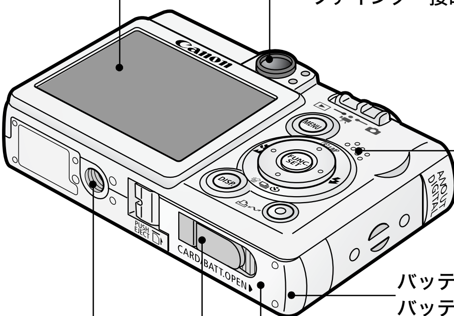
端子カバーの開けかた



端子カバーを開けるときやSD カードの出し入れをするときに使います。

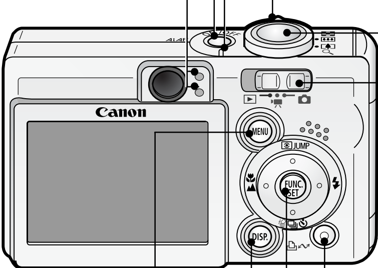
*リストストラップを下げているときは、カメラを振り回すような持ちかたを避け、他のものに引っ掛からないように注意してください。

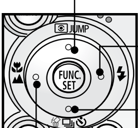
背面



> 絶対に液晶モニター表面を強くこすったり、強く押したりしないでください。液晶モニターの故障やトラブルの原因となります。

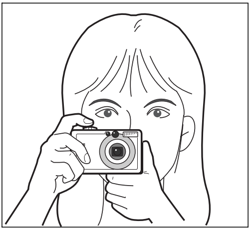
操作部


電源ランプ
（電源ON/通信準備完了時（パソコン接続時）に点灯）
電源スイッチ（p.35）
ズームレバー
撮影時：(広角)/(望遠)（p.45）
再生時：(インデックス)/(拡大)
（p.110、p.108）
ランプ（p.16）
シャッターボタン（p.46）
モードスイッチ（p.36）
(イージーダイレクト)
ボタン（p.17）
MENU（メニュー）
ボタン（p.48）
FUNC./SET（ファンクション / セット）
ボタン（p.48）
DISP.（ディスプレイ）ボタン（p.37）


(測光)/JUMP（ジャンプ）/ ボタン
（p.90、p.111）
(ストロボ)/ ボタン（p.63）
(1画像消去)/ (連写)/(セルフタイマー)/
ボタン（p.126、p.71、p.74）
(マクロ)/(遠景)/ ボタン（p.67）

カメラの構えかた

シャッターボタンを押したときにカメラが動いてしまうと、不鮮明な画像になってしまいます。カメラが動かないよう正しく構えてください。



両手でカメラをしっかり持ち、ひじを軽く身体につけます。
シャッターボタンに軽く指を当てて構えてください。

- レンズやストロボ、セルフタイマーランプ、マイク、スピーカーに、指や髪の毛がかからないよう注意してください。
- 望遠や暗い場所での撮影では、三脚などでカメラを固定して撮影してください。

ランプ

電源スイッチまたはシャッターボタンを押したとき、ランプが点灯、点滅します。

●上側のランプ

緑点灯：撮影準備完了
緑点滅：SDカードへ記録中/SDカードからの読み出し中/SDカードからの消去中/データ転送中（パソコン接続時）
橙点灯：撮影準備完了（ストロボ発光）
橙点滅：撮影準備完了（手ブレ警告）

●下側のランプ

黄点灯：マクロ撮影/遠景撮影/AFロック撮影
黄点滅：ピントが合いにくいとき（電子音が1回鳴ります）。黄点滅したときでもシャッターは押せますが、フォーカスロック、またはAFロックで撮影することをおすすめします（p.86）。

(イージーダイレクト)ボタンを押すと、以下の操作が簡単にできます。

- プリント:ダイレクトプリントユーザーガイド(別冊)
- パソコンへの画像の取り込み:p.138、ソフトウェアクイックガイド(別冊)

プリンター、パソコン接続時は、ランプが点灯、点滅します。

青点灯:プリンター準備完了/画像転送準備完了
青点滅:プリント中/画像転送中

＊カメラにパソコン、またはプリンターを接続するときに使用するケーブルは、以下のとおりです。

パソコン(p.140)

インターフェースケーブル IFC-400PCU(カメラに付属)

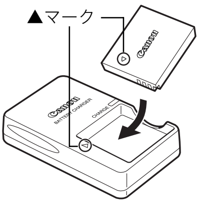
カメラダイレクト対応プリンター(別売)

- コンパクトフォトプリンター(SELPHY CPシリーズ)、カードフォトプリンター:
  インターフェースケーブル IFC-400PCU(カメラに付属)または、ダイレクトインターフェースケーブル DIF-100(カメラダイレクト対応プリンターに付属)
- PIXUSシリーズ/SELPHY DSシリーズプリンター
  - PictBridge対応プリンター:
    インターフェースケーブル IFC-400PCU(カメラに付属)
  - Bubble Jetダイレクト対応プリンター:
    プリンターの使用説明書でご確認ください。
- キヤノン製以外のPictBridge対応プリンター:
  インターフェースケーブル IFC-400PCU(カメラに付属)

このカメラで使えるカメラダイレクト対応プリンターについてはシステムマップまたは、ダイレクトプリントユーザーガイドでご確認ください。

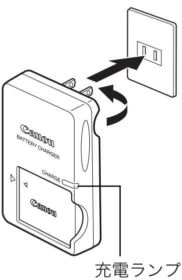
バッテリーを充電する

はじめてお使いになるときや、「バッテリーを交換してください」というメッセージが表示されたときは、次の方法でバッテリーを充電してください。



1 バッテリーをバッテリーチャージャーに差し込む

> バッテリーとバッテリーチャージャーの▲を合わせ、正しく入れてください。



2 バッテリーチャージャーの電源プラグを引き出し、コンセントに差し込む

・充電中は充電ランプが橙色に点灯し、充電が完了すると緑色に点灯します。
・充電終了後、速やかにバッテリーチャージャーをコンセントから抜き、バッテリーを取り出します。

バッテリーを保護し、性能の劣化を防ぐため、24時間以上連続して充電しないでください。

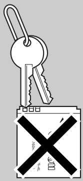
- このバッテリーは、リチウムイオン電池のため、充電する前に使い切ったり、放電する必要はありません。いつでも充電できますが、規定充電回数(寿命)は約300回(当社測定基準による)ですので、なるべく使い切ってから充電することをおすすめします。
- 完全に放電した状態からフル充電になるまでの時間は、約90分です（当社測定基準による）。5～40℃の範囲で充電することをおすすめします。
- 充電時間は、周囲の温度や充電状態によって異なります。
- バッテリーチャージャーを使用中、音がすることがありますが故障ではありません。
- バッテリー性能(p.175)
- 海外で使うとき(p.169)

バッテリーの取り扱いについて

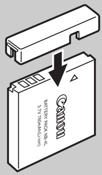
- バッテリーの㊉㊀㊁の端子は、常にきれいにしておいてください。汚れていると、接触不良の原因となります。充電や使用する前に、先の細い柔らかい綿棒などで乾拭きしてください。
- バッテリーチャージャーに、バッテリーを装着した状態で、急激に逆さにしたり、強く振ったりしないでください。バッテリーが飛び出して危険です。
- 低温下では、電池の性能が低下したり、バッテリーアイコンが早めに表示されることがあります。このようなときは、使用直前までポケットなどに入れて温めてから使用すると、電池の性能が回復することがあります。ただし、このとき、ポケットにキーホルダーなどの金属類は入れないでください。電池がショートするおそれがあります。
- テーブルクロス、じゅうたん、布団、クッションなどをかけたまま充電しないでください。内部に熱がこもり火災の原因となることがあります。
- バッテリーパック NB-4L以外のバッテリーは充電しないでください。
- バッテリーをカメラやバッテリーチャージャーに取り付けたままにしておくと、お使いにならなくても微少の電流が流れて過放電になり、寿命短縮の原因になります。

- キーホルダーなどの金属でバッテリーの「⊕」と「⊖」の端子を接触させると(図 A)、バッテリーパックの破損の原因となることがあります。バッテリーを持ち運ぶときや、お使いにならないときは、必ず端子カバーを取り付けてください(図 B)。NB-4L をお使いの場合、端子カバーの取り付けかたによって、バッテリーの充電状態を確認することができます(図C、D)。

図A

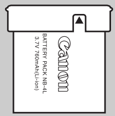


図B



図C

充電済
バッテリー



「▲」が見えるように取り付けます。

図D

使い切った
バッテリー



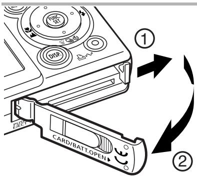
図 C の逆に取り付けます。

- 充電しておいたバッテリーも、少しずつ自然に放電しています。使用する当日または前日に充電することをおすすめします。
- フル充電の状態で長期間(1年くらい)保管すると、バッテリーの寿命を縮めたり、性能の劣化の原因となることがありますので、カメラでバッテリーを使い切ってから湿度の低い、室温(0〜30℃)で保管することをおすすめします。また長期間使用しないときは、1年に1回程度フル充電し、カメラで使い切ってから保管してください。
- 規定の充電をしたにも関わらず、著しく使用できる時間が低下するときは、寿命と考えられます。新しいバッテリーと交換してください。

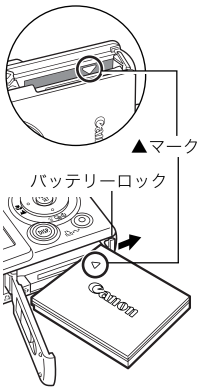
バッテリーを入れる

付属のバッテリーパック NB-4Lを入れます。

はじめてお使いになるときはバッテリーを充電してください(p.18)。



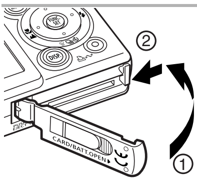
1 SDカードスロット/バッテリーカバーを矢印の方向にスライドさせて開く



2 バッテリーロックを矢印の方向に押しながら、バッテリーがロックされるまで入れる

バッテリーとバッテリー室内の▲を合わせ、正しく入れてください。

バッテリーを取り出すときは、バッテリーロックを矢印の方向に押しながら取り出します。



3 SDカードスロット/バッテリーカバーを元の位置に戻す

- 挿入口周辺に注意しながら、バッテリーを出し入れしてください。
- ランプが緑色に点滅しているときは、SDカードへの記録中/読み出し中/消去中、またはデータ転送中ですので、カメラの電源を切ったり、SDカードスロット/バッテリーカバーを開けないでください。
- カメラを使用しないときは、バッテリーを取り出しておいてください。ただし、バッテリーを取り出してから約3週間経過すると、日付/時刻やカメラの設定が解除される場合があります。

長時間お使いになるときは、ACアダプターキット ACK-DC10（別売）をご使用ください（p.166）。

バッテリー残量について

バッテリー残量が低下すると、以下のようなアイコンやメッセージが表示されます。

	バッテリー残量が低下しています。長時間お使いになる場合は、早めに充電してください。 液晶モニターが消えているときは、電源スイッチ、（イージーダイレクト）ボタン以外のボタンを押すと表示されます。
バッテリーを交換してください	バッテリーの残量が少なく、動作不能です。直ちにバッテリーを交換してください。

バッテリー性能（p.175）

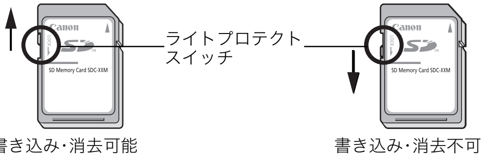
Li-ion

・この製品には、充電式のリチウムイオン電池を使用しています。
・リチウムイオン電池はリサイクル可能な貴重な資源です。
・リチウムイオン電池の回収、リサイクルについては、下記のキヤノンホームページで確認できます。
　キヤノンサポートページ
　　http://canon.jp/support/
・交換後不要になった電池は、ショートによる発煙、発火の恐れがありますので、端子を絶縁するためにテープを貼るか、個別にポリ袋に入れてリサイクル協力店にある充電式電池回収BOXに入れてください。
・リサイクル協力店のお問い合わせは、以下へお願いします。
　- 製品、リチウムイオン電池をご購入いただいた販売店

SDカードを入れる

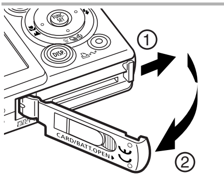
ライトプロテクト(書き込み禁止)スイッチについて

SDカードには、ライトプロテクト(書き込み禁止)スイッチが付いています。このスイッチを下にスライドさせると、カードへのデータ書き込みが禁止され、カード内の画像などを保護できます。書き込み、消去や初期化をする際には、スイッチを上にスライドさせてください。

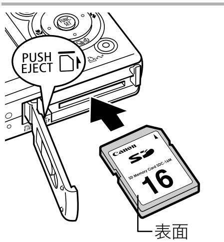


SDカードは、必ず正しい向きでカメラに入れてください。誤って逆に入れた場合、本体の故障の原因となることがあります。

カメラの電源を切って、次のように入れます。

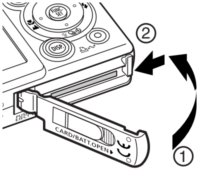


1 SD カードスロット / バッテリーカバー を矢印の方向へスライドさせて開く



2 SDカードを差し込む

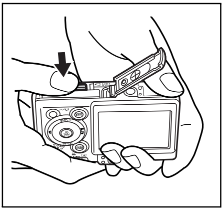
- カメラ底面の図に合わせて、指またはリストストラップの透明な部分で「カチッ」と音がするまで押し込んでください。
- SDカード裏面の端子部を手や金属で触らないでください。

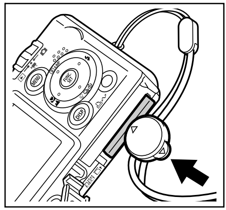


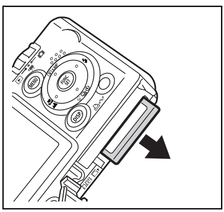
3 SD カードスロット / バッテリーカバーを倒して元の位置に戻す

SDカードを取り出すには

「カチッ」と音がするまで、指またはリストストラップの透明な部分で、SDカードを奥に押し込んで、放します。







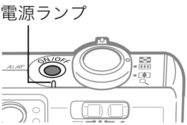
- 挿入口周辺に注意しながら、SDカードを出し入れしてください。
- ランプが緑色に点滅しているときは、SD カードへの記録中 / 読み出し中 / 消去中、またはデータ転送中ですので、絶対に次のことは行わないでください。画像データが壊れることがあります。
  - カメラ本体に振動や、衝撃を与える
  - カメラの電源を切ったり、SDカードスロット/バッテリーカバーを開ける
- 他社のカメラや、パソコン、アプリケーションソフトウェアで初期化または編集したSDカードを使用すると、SDカードへの書き込み速度が遅くなったり、誤動作する恐れがありますのでご注意ください。
- このカメラで初期化したSDカードをお使いになることをおすすめします(p.27)。付属のSDカードは、そのままお使いになれます。

SDカードの種類と記録可能画像数の目安(p.176)

SDカードを初期化する

新しいSDカードをお使いになるときや、SDカード内の画像だけでなく他のデータもすべて削除したいときは、SDカードを初期化します。

初期化すると、SDカードに記録された画像（プロテクト画像も含む）だけでなく、すべてのデータが消去されますので、ご注意ください。

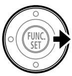


1 電源ランプが緑色に点灯するまで、電源スイッチを押す



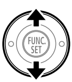
2 MENUボタンを押す

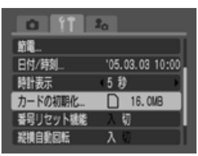
[（撮影）]メニューまたは[（再生）]メニューが表示されます。





3 ➡ボタンで[（設定）]メニューを選ぶ

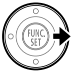


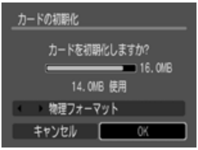




4 ⬆/⬇ボタンで[カードの初期化]を選んで、FUNC./SETボタンを押す

準備







5 ➡ボタンで[OK]を選び、FUNC./SETボタンを押す

・物理フォーマットをする場合は、⬆ボタンで[物理フォーマット]を選び、⬅/➡ボタンでチェックをつけます。
・初期化を取り消すときは、[キャンセル]を選びます。
・物理フォーマットの場合、初期化中にFUNC./SETボタンを押すと、初期化を中止することができます。中止した場合でも、そのSDカードは問題なくお使いいただけます。
・初期化するとき、お使いのSDカードのラベルに記載された容量よりも少ない数値が表示されますが、SDカード、またはカメラの故障ではありません。

- 物理フォーマットについて
  SDカードへの記録/読み出し速度が低下したと思われる場合や完全にデータを消去したい場合などは、[物理フォーマット]を選択することをおすすめします。なお、SDカードによっては、物理フォーマットに2～3分かかる場合があります。
- カメラが正しく動作しないときは、SDカードが壊れている可能性があります。初期化すると正しく動作する場合もあります。
- キヤノン製以外のSDカードで正しく動作しないときは、初期化すると正しくお使いになれることがあります。
- 他のカメラやパソコン、周辺機器で初期化したSDカードを使用すると、正しく動作しない場合があります。その際は、このカメラで初期化してください。正しく初期化されないときは、電源を切ってから、SDカードを入れ直し、再度初期化してください。

SDカードの取り扱いについて

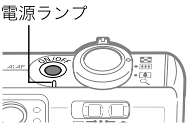
- SDカードは精密電子機器です。曲げたり、強い力を加えたり、衝撃や振動を与えないでください。
- SDカードを分解したり、改造しないでください。
- SDカード裏の端子部にゴミや水、異物などを付着させたり、手や金属で触れたりしないでください。
- 貼られているラベルをはがしたり、別のラベルやシールを貼ったりしないでください。
- SD カードに文字を書くときは、油性ペンをお使いください。鉛筆やボールペンを使用するとカード本体に損傷を与えたり、記録されているデータが壊れたりすることがあります。
- 電気ノイズ、静電気、カメラやSD カードの故障などによりカード内のデータが壊れたり、消失することがありますので、大切なデータはバックアップを取ることをおすすめします。
- 温度差の大きな場所へ急に移動すると、SDカードに水滴が付き（結露）、故障の原因になることがあります。結露を防ぐには、移動の前にビニール袋に入れて密閉しておき、周囲の温度に十分慣らしてから出してお使いください。
- 結露したときは、水滴が自然に消えるまで常温で放置してください。
- SDカードは、下記の場所で使用したり、保管しないでください。
  - ほこりや砂ぼこりの立つ場所
  - 高温多湿の場所

マルチメディアカードについて

このカメラはキヤノン製のSDカードでの動作を保証しています。マルチメディアカードで動作する場合もありますが、弊社では動作の保証はいたしかねますので、あらかじめご了承ください。

日付/時刻を設定する

はじめてカメラの電源を入れたとき、または内蔵の充電型リチウムイオン電池の容量がなくなったときは、日付/時刻の設定画面が表示されます。手順5から操作してください。

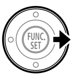


1 **電源ランプが緑色に点灯するまで、電源スイッチを押す**



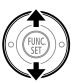
2 **MENUボタンを押す**

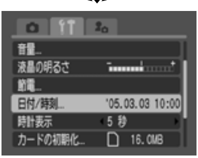
[(撮影)]メニューまたは[(再生)]メニューが表示されます。





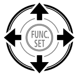
3 **➡ボタンで[(設定)]メニューを選ぶ**







4 **⬆/⬇ボタンで[日付/時刻]を選んで、FUNC./SETボタンを押す**





5 日付と時刻を設定する

・◆/◆ボタンで設定項目(年、月、日、時、分、日付スタイル)を選びます。
・▲/▼ボタンで設定内容を変更します。
・2037年まで設定できます。



6 FUNC./SETボタンを押す

設定内容が確定します。



7 MENUボタンを押す

撮影または再生画面に戻ります。

- バッテリーを取り出してから約 3 週間経過すると、設定した日付/時刻が解除される場合があります。再度、設定し直してください。
- 画像自体に日付 / 時刻を写し込む(p.73)
- 画像自体に日付 / 時刻を写し込まずに、プリント時にのみ日付 / 時刻をプリントするときは、「プリントスタイルを設定する(p.133)」、または別冊のダイレクトプリントユーザーガイド、ソフトウェアクイックガイドをご覧ください。

日付/時刻用のバッテリーの充電について

- カメラには、日付/時刻などの設定を保持するための充電型リチウムイオン電池が内蔵されており、バッテリーを入れたときに充電されます。ご購入時に4時間程度、カメラにバッテリーを入れておくか、または AC アダプターキット ACK-DC10(別売)を使用して充電してください。カメラの電源が入っていなくても充電できます。
- 電源を入れたときに、日付/時刻設定画面が表示された場合は、内蔵の充電型リチウムイオン電池の容量がなくなっています。上記の方法で充電してください。

時計を表示する

次の方法で、現在の日付と時刻を5秒間*表示できます。撮影日時の確認に便利です。

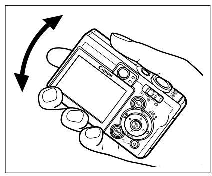
*初期設定



- **FUNC./SETボタンを押しながら電源スイッチを押して、電源を入れる**
  - ・起動時に、起動画面は表示されません。また、起動音も鳴りません。
  - ・時刻が設定されていない場合は、日付/ 時刻の設定画面が表示されます。
  - ・時計の表示中は、ディスプレイオフが機能しません。
- **撮影モード時にFUNC./SETボタンを押し続ける**

時計の表示は、カメラの向きによって次のように変わります。
　カメラを横にしたとき：時計のみを表示
　カメラを縦にしたとき：時計と日付を表示

時計の表示中に、◆/◆ボタンを押すか、**カメラをしっかり持って、イラストのように軽く振ると**表示色を変更できます。お好みの色に変えてお使いください。

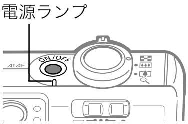


時計の表示時間が経過するか、FUNC./SETボタン、MENUボタン、モードスイッチ、シャッターボタンのいずれかを操作すると時計表示が終了します。

- MENUボタンでメニューを表示しているときは、時計表示はできません。
- 時計の表示時間は、[設定]メニューで変更できます（p.55）。

言語を設定する

液晶モニターのメニューやメッセージの表示言語を設定します。

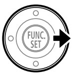


1 電源ランプが緑色に点灯するまで、電源スイッチを押す



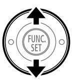
2 MENUボタンを押す

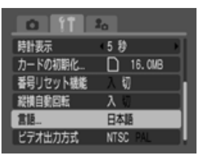
[(撮影)]メニューまたは[(再生)]メニューが表示されます。





3 → ボタンで[(設定)]メニューを選ぶ

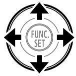






4 ↑/↓ボタンで[言語]を選んで、FUNC./SETボタンを押す

基本操作







5 ↑/↓/←/→ ボタンで言語を選び、FUNC./SETボタンを押す

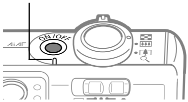


6 MENUボタンを押す

撮影または再生画面に戻ります。

シングル再生またはマルチ再生のときに、**FUNC./SET**ボタンを押しながら**MENU**ボタンを押すと、言語設定画面をすぐに表示できます。

電源を入れる



1 **電源ランプが緑色に点灯するまで、電源スイッチを押す**

モードスイッチが 📷、🎥 のときは、レンズが出ます。

電源を切るには

再度電源スイッチを押します。

- 電源を入れたときに液晶モニターに「ライトプロテクト」と表示された場合は、SDカードが書き込み不可になっています(p.24)。
- はじめて電源を入れたとき、または内蔵の充電型リチウムイオン電池の容量がなくなったときは、日付/時刻の設定画面が表示されます。日付/時刻を設定してください(p.30)。
- 節電機能が働いて電源が切れたときは、電源スイッチを押すと電源が再び入ります。
- 電源を入れると起動音が鳴り、液晶モニターに起動画面が表示されます(起動音、起動画面を変更する p.54、57、150)。
- 撮影モード時に液晶モニターが非表示になっているときや、カメラのA/V OUT端子をテレビに接続しているときは、起動画面は表示されません。

起動音を消して電源を入れるには

MENUボタンを押しながら電源スイッチを押します。消音設定が[入]になり、操作音やシャッター音も鳴りません。音を出さずに撮影したいときに便利です。

節電機能について

このカメラには、節電機能がついています。
節電機能を[入]にしておくと、次のようなときに電源が切れます。再度電源スイッチを押すと復帰します。

撮影時：約3分間、何も操作しないとき
節電機能が[切]でも、液晶モニターを表示して約1分間*何も操作しないと液晶モニターが消えます。
（電源スイッチ以外のボタンを押すか、またはカメラの縦・横の向きを変えるとつきます。）
*時間を変更できます(p.55)。

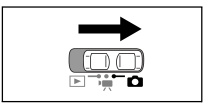
再生時：約5分間、何も操作しないとき

プリンター(別売)接続時：約5分間、カメラの操作を何もしないとき

- スライドショーで自動再生中およびパソコン接続時は、節電機能は働きません。
- 節電機能が働かないよう設定を変更できます(p.55)。

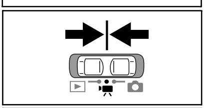
撮影/再生を切り換える

モードスイッチは、撮影や再生の機能を選ぶときに使います。



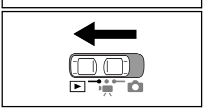
撮影するとき(撮影モード)

モードスイッチを にスライドします。



撮影するとき(動画モード)

モードスイッチを にスライドします。



再生するとき(再生モード)

モードスイッチを にスライドします。

・モードスイッチを 、 から に切り換え、約1分経過すると、レンズは収納されます。
・プリンターと接続したときは、撮影した画像をプリントできます(「ダイレクトプリントユーザーガイド」参照)。
・パソコンと接続したときは、パソコンに撮影した画像を表示したり、取り込んだりできます(p.139)。

プリンターへの接続が完了すると、液晶モニターに 、 、
 のいずれかが表示されます。

液晶モニターの使いかた

液晶モニターには、カメラの状態や設定内容を表すマークが表示されます。

太陽や強い光が当たると、液晶モニターの表示が黒くなることがありますが、故障ではありません。

撮影モードのとき（ 、 ）



1 DISP.ボタンを押す

DISP. ボタンを押すたびに、次のように切り換わります。

液晶モニター表示（情報表示なし）



↓

液晶モニター表示（情報表示あり）



↓

液晶モニター非表示

- 液晶モニターの表示/非表示の設定は、カメラの電源を切っても記憶され、次回電源を入れたときに直前の状態で使用できます。ただし、液晶モニターをつけて撮影しているとき、「バッテリーを交換してください」というメッセージが表示された場合は、次回電源を入れたときに、液晶モニターがつかないことがあります。
- のとき、液晶モニターは消せません。

再生モードのとき(▶)

モードスイッチを▶にすると、液晶モニターがつきます。



1 DISP. ボタンを押す

DISP. ボタンを押すたびに、次のように切り換わります。

簡易表示



↓

詳細表示



↓

情報表示なし

インデックス再生時(p.110)は、詳細表示に切り換わりません。

液晶モニターの明るさについて

撮影条件によって、液晶モニタ―の明るさを調整できます。また、カメラが暗いと認識した場合は、自動的に液晶モニターが明るくなることがあります。

液晶モニターの明るさの変更方法

次の2 つの方法があります。

- **設定メニューで変更する（p.54）**
- **「LCDブースター」機能で変更する**
  DISP.ボタンを1 秒以上押すと、設定メニューで選択されている明るさに関わらず、最大の明るさに変更できます*。
  ・元の明るさに戻すとき：再度、DISP.ボタンを1 秒以上押す
  ・次回電源を入れたとき：設定メニューで選択されている明るさで表示される

*すでに、設定メニューで最大の明るさに設定されている場合は、変更できません。

「ナイトビュー」機能について

暗い場所での撮影時は、被写体の明るさに合わせて、カメラが自動的に液晶モニターに表示される画像の明るさを調節するため*、暗い場所でも画角合わせがしやすくなります。

* 液晶モニターに表示される被写体の動きがややぎこちなくなったり、ノイズが表示されることがありますが、記録される画像に影響はありません。なお、液晶モニターに表示される画像の明るさと、実際に撮影される画像の明るさは異なります。

液晶モニターに表示される情報

撮影や再生したとき、液晶モニターには撮影情報や再生情報が表示されます。

撮影情報（撮影モードのとき）

ストロボ、連続撮影、セルフタイマー、マクロ、遠景、測光方式の設定時には、液晶モニター表示（情報表示なし）や液晶モニター非表示でも、液晶モニターに約6秒間撮影情報が表示されます。ただし、その時のカメラの設定内容によっては表示されないこともあります。

撮影準備完了時に、ランプが橙色に点滅し、液晶モニターに手ブレ警告アイコン（ ）が表示された場合は、光量不足でシャッタースピードが遅くなっているなどの理由が考えられます。ストロボを または にするか、三脚などでカメラを固定して撮影してください。

- シャッターボタンを押して撮影を終了したときに、約2秒間（確認時間を変更した場合は、その秒数、ホールドに設定した場合は、次にシャッターボタンが押されるまで）撮影した画像を表示します（p.60）。また、撮影直後に、シャッターボタンを全押しし続けたり、画像の表示中にFUNC./SETボタンを押すことでも、画像を表示できます。
- 撮影した画像が液晶モニターに表示されているとき、画像の明るさを判断するためのグラフ（「ヒストグラム」（p.43））やその他の情報が表示され、画像の明るさを確認できます。必要であれば、露出を補正するなどして、撮り直してください。なお、ヒストグラムが表示されないときは、DISP. ボタンを押してください。



[ ]*
スポット測光枠(時)

*
AF枠(p.85)

*
バッテリー残量低下(p.22)

ズーム倍率(p.70)

測光方式(p.90)

撮影方法(p.71、74)

マクロ/遠景モード(p.67)

ストロボ(p.63)

縦横自動回転(p.105)

●(赤)*
動画撮影(p.77)

*
AEロック(p.88)
*
FEロック(p.89)

*
AFロック(p.86)

・静止画:記録可能画像数
・動画(秒数):
- 記録可能時間
- 記録時間

* * * *
撮影モード(p.65、p.77、p.81)

・・・
露出補正(p.91)

・・・
長秒時設定時間(p.92)

ホワイトバランス(p.94)

ISO感度(p.104)

色効果(p.97)

マイカラー(p.98)

圧縮率(p.61)

フレームレート(動画)(p.62、p.81)

記録画素数(p.61、p.62)

*
手ブレ警告(p.40)

* 情報表示なしのときも表示されます。

ズーム倍率は光学ズームとデジタルズームを組み合わせた倍率です。デジタルズーム時に表示されます。

再生情報・簡易表示（再生モードのとき）



画像番号

圧縮率（静止画）（p.61）

記録画素数（静止画）（p.61）

AVI

動画（p.112）

撮影日時

プロテクト情報（p.125）

総画像数

再生画像番号

WAVE形式の音声（p.118）

再生情報・詳細表示（再生モードのとき）



ヒストグラム

撮影モード（p.65、p.77、p.81）

-2…+2

露出補正（p.91）

1"…15"

長秒時設定時間（p.92）

ストロボ（p.63）

マクロ/遠景モード（p.67）

測光方式（p.90）

記録時間（動画）（p.77）

AWB

ホワイトバランス（p.94）

色効果（p.97）

マイカラー（p.98）

ISO 50 ISO100 ISO200 ISO400

ISO感度（p.104）

640 320 160

記録画素数（動画）（p.62）

フレームレート（動画）（p.62、p.81）

画像によっては、以下の情報を表示することがあります。

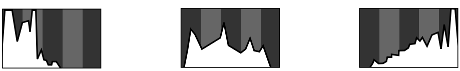
♪?	WAVEファイル以外の音声ファイル、または、認識できないファイルがついています。
⚠	DCF（p.175）の規格と異なる構造を持つJPEGタイプです。
RAW	RAWタイプです。
?	認識できないタイプです。

このカメラで撮影した画像を他のカメラで再生する場合、あるいは他のカメラで撮影した画像をこのカメラで再生する場合、情報を正しく表示できないことがあります。

ヒストグラムについて

ヒストグラムは、撮影した画像の明るさを判断するためのグラフです。グラフが左に寄るほど暗い画像になり、右に寄るほど明るい画像になります。暗いほうに偏っているときは、露出をプラス側に補正し、明るいときはマイナス側に補正して撮影します（p.91）。

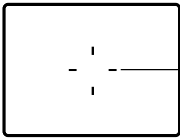
ヒストグラム例



暗い画像　**普通の明るさの画像**　**明るい画像**

ファインダーを使って撮る

液晶モニターを非表示にし(p.37)、ファインダーを使って撮影すると消費電力を抑えることができます。



ファインダー

ファインダーで見える範囲と撮影範囲との違いについて

通常はファインダーから見える範囲よりも広い範囲が撮影されます。実際に撮影される範囲は、液晶モニターで確認できます。

また、ファインダーの特性上、ファインダーから見える範囲と実際に撮影される範囲にズレが生じます。特に、被写体の距離が近い場合には、ズレが大きくなり、ファインダーで見える範囲でも撮影されない場合があります。そのため、マクロモード(p.67)では必ず液晶モニターを使って撮影してください。

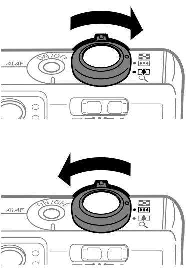
AFについて

このカメラのAF機能は、AiAF*を採用しています。
AiAFは、広い測距範囲を持ち、ピント合わせを的確に判断します。ピントを合わせたい被写体が中央部から多少はずれている場合でも、目的の被写体にピントを合わせます。
AiAFを[切]にして、中央一点でAFすることもできます(p.85)。
* Ai=Artificial intelligence：人工知能　AF=オートフォーカス

ズームを調節する

35mmフィルム換算で、35〜105mmの範囲で画角を調節できます。

望遠/広角



1 ズームレバーを[♠]側または[♠♠♠]側に押す

- [♠]側に押すと、被写体を大きく写します(望遠)。
- [♠♠♠]側に押すと、被写体を小さく写します(広角)。

デジタルズーム

液晶モニターがついているときは、光学ズームと合わせて最大約12倍に拡大して撮影できます (p.70)。

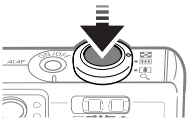
デジタルズームは、拡大するほど画像が粗くなります。

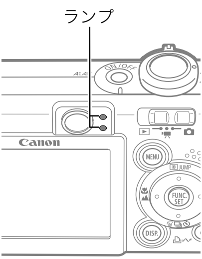
シャッターボタンの押しかた

シャッターボタンは、半押しと全押しの２段階で動作します。

1. 半押しー浅く押す

露出、フォーカスなどを自動設定します。





シャッターボタンを半押しする

●電子音

・ピントが合ったとき：2回鳴ります
・ピントが合いにくいとき：1回鳴ります

●ランプ

上側のランプ

・緑点灯：　撮影準備完了
・橙点灯：　ストロボ発光
・橙点滅：　手ブレ警告/露出不足

下側のランプ

・黄点灯：　マクロ撮影 / 遠景撮影 /AFロック撮影（p.67、p.86）
・黄点滅：　ピントが合いにくいとき*

＊黄点滅したときは、フォーカスロック、AFロックで撮影してください（p.86）。

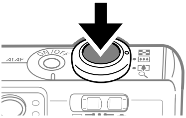
● AF 枠の表示（液晶モニターがついているとき）

AiAFが[入]（p.85）のとき
・緑色表示：撮影準備完了（ピントの合ったAF枠）
・非表示：　ピントが合いにくいとき

AiAFが[切]（p.85）（中央1点AF）のとき
・緑色表示：撮影準備完了
・黄色表示：ピントが合いにくいとき

2. 全押し－深く押す

シャッター音が 1 回鳴り、撮影を実行します。



シャッターボタンを全押しする

SDカードに記録中は、ランプが緑色に点滅します。

ストロボ充電中は撮影できません。

AF補助光について

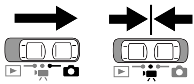
- 暗い場所などでシャッターボタンを半押ししたとき、ピントを合わせやすくするために、AF補助光が光ることがあります。
- AF補助光を切ることもできます(p.52)。
  例えば、暗い場所で動物を撮るときなど、AF補助光で動物を驚かせて逃がすことなく撮影できます。
  ただし、以下のことに注意してください。
  - AF補助光を切ると、暗い場所などでピントが合いにくくなることがある
  - AF 補助光を切っても、ストロボが[オート(赤目緩和)]、[常時発光(赤目緩和)]または[スローシンクロ]のときは赤目緩和ランプが光ることがある

メニューの選択と設定のしかた

撮影時や再生時の設定や、日付/時刻、電子音などのカメラの設定は、メニューを使って操作します。メニューを表示するには、FUNC./SETボタンを押す場合とMENUボタンを押す場合があります。次のように操作してください。

撮影モードによって、選択できないメニュー項目があります(p.184)。

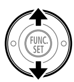
FUNC./SET ボタンを押して設定する（撮影モード時）



1 モードスイッチを 📷 または 🎥 にする

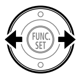


2 FUNC./SETボタンを押す



3 ▲/▼ボタンでメニュー項目を選ぶ

選択できるメニュー項目は、次ページの「FUNC.メニュー」をご覧ください。



4 ◀/▶ボタンで設定したい内容を選ぶ

- メニュー項目によっては、MENUボタンでさらに変更できます。
- このあとすぐに撮影できます。撮影後は、再びこの画面が表示され、設定を変更できます。



5 FUNC./SETボタンを押す

FUNC.メニュー

撮影モード( )➡p.65



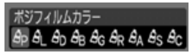
色効果( )➡p.97



動画撮影モード( )➡p.77



マイカラー( )➡p.98



露出補正( )➡p.91



圧縮率( )➡p.61



長秒時設定時間( )➡p.92



フレームレート( )➡p.81



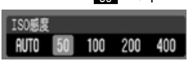
ホワイトバランス( )➡p.94



記録画素数( )➡p.61



ISO感度( )➡p.104

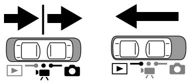


記録画素数・動画( )➡p.62



( )内は初期設定を表します。

MENUボタンを押して設定する

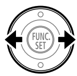


1 モードスイッチを 📷、🎥、▶ のいずれかにする



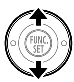
2 MENUボタンを押す

撮影モードのときは[📷(撮影)]メニューが表示され、再生モードのときは [▶(再生)]メニューが表示されます。



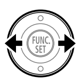
3 ←/→ ボタンでメニューを切り換える

- 画面左上の 📷/▶、🔧、または 👤 が選択されている状態で操作してください。
- ズームレバーを使うと、📷/▶、🔧、または 👤 が選択されていなくても、メニューの切り換えができます。



4 ↑/↓ ボタンでメニュー項目を選ぶ

メニュー項目については、「メニューの設定項目と初期設定」(p.52)を参照してください。



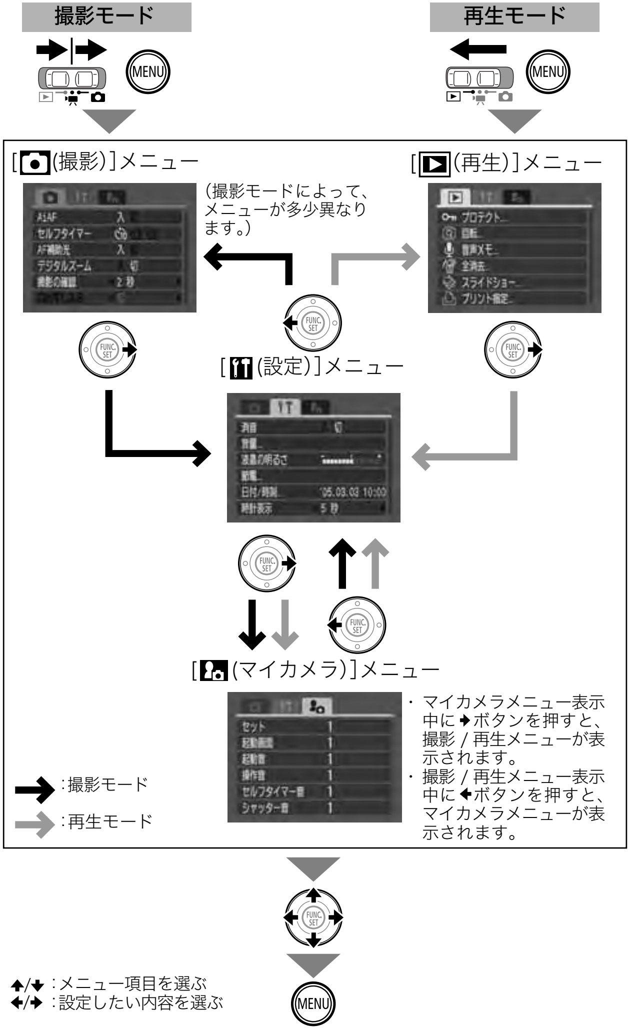
5 ←/→ ボタンで設定したい内容を選ぶ

「. . . 」のある項目では、FUNC./SETボタンを押して次のメニューを表示してから設定します。設定後、再度FUNC./SETボタンを押して設定内容を確定します。



6 MENUボタンを押す

- メニューが終了します。
- 撮影モードのときは、シャッターボタンを半押ししてもメニューを終了できます。


撮影モード
MENU
再生モード
MENU
[(撮影)]メニュー
(撮影モードによって、メニューが多少異なります。)
[(再生)]メニュー
[(設定)]メニュー
[(マイカメラ)]メニュー
・マイカメラメニュー表示中に➡ボタンを押すと、撮影 / 再生メニューが表示されます。
・撮影 / 再生メニュー表示中に⬅ボタンを押すと、マイカメラメニューが表示されます。
:撮影モード
:再生モード
MENU
⬆/⬇ :メニュー項目を選ぶ
⬅/➡ :設定したい内容を選ぶ

メニューの設定項目と初期設定

各メニューの設定項目や内容は、次のとおりです。

＊表内の＊は初期設定を表します。

撮影メニュー

項目	内容	参照先
AiAF	AF枠をカメラが自動的に選択して撮影するか、あらかじめ中央のAF枠に固定して撮影するかを設定します。 ・入＊ ・切	p.85
セルフタイマー	セルフタイマーの時間を設定します。 ・10秒＊ ・2秒 ・カスタム 　時間：0～10＊、15、20、30秒 　枚数：1～3＊～10枚	p.74
AF補助光	AF補助光の入／切を設定します。 ・入＊ ・切	p.47
デジタルズーム	光学ズームと合わせて拡大するかどうかを設定します。動画のスタンダードモード時も設定が可能ですが、初期設定は[入]になります。 ・入 ・切＊	p.70
撮影の確認	撮影してシャッターボタンを放したあと、撮影した画像を液晶モニターに表示する時間を設定します。 ・切 ・2秒＊～10秒 ・ホールド	p.60
日付写し込み	L判プリント時の日付写し込みの設定をします。 ・切＊ ・日付のみ ・日付＋時刻	p.73

項目	内容	参照先
オリジナル保存	マイカラー撮影時、元画像(通常の画像)を保存するかどうかを設定します。 ・入 ・切＊	p.100
長秒時撮影	長秒時撮影の入/切を設定します。 ・入 ・切＊	p.92
スティッチアシスト	パノラマ合成用の画像を撮影します。 ・左→右＊ ・左←右	p.81

再生メニュー

項目	内容	参照先
プロテクト	画像を消去できないようにプロテクト(保護)を設定します。	p.125
回転	時計方向に90度、270度に回転して画像を表示します。	p.117
音声メモ	画像に音声を追加します。	p.118
全消去	SDカードに記録されている画像をすべて消去します。 (プロテクトされている画像を除く)	p.127
スライドショー	記録した画像を自動再生します。	p.121
プリント指定	画像をカメラダイレクト対応のプリンターまたはプリント取り扱い店でプリントするとき、プリントする画像の選択や枚数を指定します。	p.130
送信指定	パソコンに取り込む画像を、あらかじめカメラで指定します。	p.135

設定メニュー

項目	内容	参照先
消音	起動音、操作音、セルフタイマー音、シャッター音を一度に消すときは[入]に設定します。詳しくは、「[(設定)]メニューの[消音]と[(マイカメラ)]メニューの音の各設定について」(p.57)をご覧ください。 ・入 ・切* ただし、[消音]を[入]に設定していても、SDカードへの記録中にSDカードスロット/バッテリーカバーを開けたときは、警告音が鳴ります。	–
音量	起動音、操作音、セルフタイマー音、シャッター音、再生音の音量を調節します。 ただし、[消音]が[入]になっていると設定できません。 切 1 2* 3 4 5	–
起動音量	カメラ起動時の音量を調節します。	p.35
操作音量	シャッターボタン以外のボタンを操作したときの音量を調節します。	–
セルフタイマー音	撮影の2秒前から撮影するまでのセルフタイマー音の音量を調節します。	p.74
シャッター音量	シャッターボタンを全押ししたときの音量を調節します。動画撮影時には、シャッター音は鳴りません。	p.47
再生音量	動画再生時、または音声メモの音量を調節します。	p.112 p.118
液晶の明るさ	液晶モニターの明るさを設定します。 ・−7〜0*〜+7 ←/→ボタンで明るさを調整します。↑/↓ボタンを押すと設定メニューに戻ります。液晶モニター表示時は、画像の明るさを確認しながら調整できます。	p.39

項目	内容	参照先
節電	オートパワーオフ、ディスプレイオフの設定をします。	p.36
オートパワーオフ	一定時間カメラの操作をしないときに、自動的に電源を切るかどうかを設定します。 ・入* ・切	
ディスプレイオフ	カメラの操作をしないときに、自動的に液晶モニターを消す時間を設定します。 ・10秒　・20秒　・30秒 ・1分*　・2分　・3分	
日付／時刻	日付、時刻、日付スタイルを設定します。	p.30
時計表示	時計の表示時間を設定します。 ・0～5*～10秒　・20秒　・30秒 ・1分　・2分　・3分	p.32
カードの初期化	SDカードを初期化します。	p.27
番号リセット機能	画像番号のつけかたを設定します。 ・入 ・切*	p.106
縦横自動回転	縦位置で撮影した画像を、自動的に横に回転して表示するかどうかを設定します。 ・入* ・切	p.105

項目	内容	参照先
言語	液晶モニターのメニューやメッセージを、どの言語で表示するかを設定します。 ・English（英語） ・Deutsch（ドイツ語） ・Français（フランス語） ・Nederlands（オランダ語） ・Dansk（デンマーク語） ・Suomi（フィンランド語） ・Italiano（イタリア語） ・Norsk（ノルウェー語） ・Svenska（スウェーデン語） ・Español（スペイン語） ・简体中文（中国語（簡体字）） ・Русский（ロシア語） ・Português（ポルトガル語） ・Ελληνικά（ギリシャ語） ・Polski（ポーランド語） ・Čeština（チェコ語） ・Magyar（ハンガリー語） ・Türkçe（トルコ語） ・繁體中文（中国語（繁体字）） ・한국어（韓国語） ・日本語＊	p.33
ビデオ出力方式	ビデオ出力方式を設定します。 ・NTSC＊ ・PAL	p.169

マイカメラメニュー

このカメラでは、起動画面、起動音、操作音、セルフタイマー音、シャッター音を自分好みに設定できます。SDカードに記録してある画像や新たに録音した音声をその場ですぐにカメラに登録し、マイカメラコンテンツとして利用することもできます(各項目の[ ][ ]に登録できます)。
また、付属のソフトウェアを使ってパソコンにある画像や音声を登録したり、CANON iMAGE GATEWAYからコンテンツをダウンロードして登録することもできます。詳しくは、ソフトウェアクイックガイドをご覧ください。

項目	内容	参照先
セット	起動画面、起動音、操作音、セルフタイマー音、シャッター音に共通するテーマを選びます。	p.150
起動画面	電源を入れたときの起動画面を選びます。	
起動音	電源を入れたときの起動音を選びます。	
操作音	シャッターボタン以外のボタンを操作したときの音を選びます。	
セルフタイマー音	セルフタイマー撮影で撮影の2秒前をお知らせする音を選びます。	
シャッター音	シャッターボタンを全押ししたときの音を選びます。動画撮影時にはシャッター音は鳴りません。	
マイカメラメニューの設定内容	・ (切) ・ * ・ ・	

●[(設定)]メニューの[消音]と[(マイカメラ)]メニューの音の各設定について

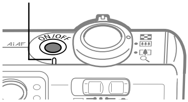
起動音、操作音、セルフタイマー音、シャッター音を消すときは、[消音]を[入]にします。[消音]を[入]にすると、音の各設定が[、 、 (入)]になっていても音は鳴りません。警告音は[消音]を[入]にしていても鳴ります。

基本操作

設定を初期状態に戻す

カメラの設定を初期設定に戻します。

電源ランプ

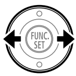


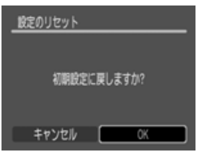
1 電源スイッチを押す

モードスイッチは、どの位置でも構いません。



2 MENUボタンを5秒以上押し続ける







3 ◆/◆ ボタンで[OK]を選び、FUNC./SETボタンを押す

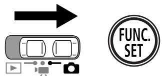
初期化を取り消すときは、[キャンセル]を選びます。

- パソコン接続時、プリンター接続時は初期状態に戻せません。
- 以下の設定は、初期状態に戻りません。
  - 撮影モード
  - [(設定)]メニューの[日付/時刻]、[言語]、[ビデオ出力方式]の設定(p.55、p.56)
  - マニュアルホワイトバランスで記憶した白データ(p.95)
  - マイカラーの[ワンポイントカラー](p.101)と[スイッチカラー](p.102)で取り込んだ色
  - 新しく登録したマイカメラコンテンツ(p.151)

オートで撮る

撮影モード

シャッターボタン以外の操作をする必要がなく、カメラまかせの撮影ができます。





1 モードスイッチを（撮影）にし、FUNC.メニューから（オート）を選ぶ

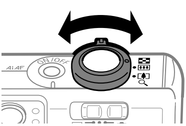
- メニューの選択と設定のしかた（p.48）
- このあと、すぐに撮影できます。また、撮影後は再びこの画面が表示され、設定を変更できます。



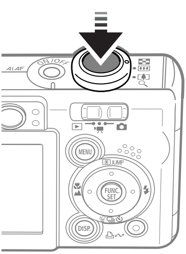
2 FUNC./SETボタンを押す

撮影画面に戻り、液晶モニターにが表示されます。

3 被写体にカメラを向ける

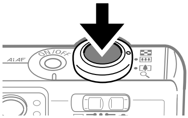


4 ズームレバーで画角（画面内の被写体の大きさ）を決める（p.45）



5 シャッターボタンを半押しする（p.46）

- シャッターボタンを半押ししてピントを合わせます。撮影準備が完了すると、電子音が２回鳴り、ランプが緑色または橙色に点灯します。液晶モニターがついているときは、AF枠は緑色になります。
- ピントが合いにくいときは、電子音が１回鳴り、ランプが黄色に点滅します。



6 シャッターボタンを全押しする(p.47)

・シャッター音が1回鳴り、撮影が完了します。
・撮影した画像が約2秒表示されます。

● このモードで変更できる設定(p.184)
● 撮影後、液晶モニターに撮影画像が表示される時間を変更したり、表示されないように設定できます(p.60)。

撮影直後に画像を確認する

撮影モード

撮影直後に、約2秒間、撮影した画像を表示します。また、次の方法で設定時間に関わらず画像を表示し続けます。

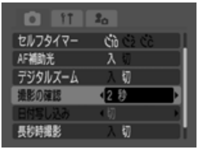
・シャッターボタンを全押しし続ける
・撮影した画像が表示されている間にFUNC./SETボタンを押す（ではは操作できません）

シャッターボタンを半押しすると画像表示が解除され、撮影できます。

● 画像確認中は、次のことができます（では操作できません）。
- 画像の詳細情報を表示する(p.42)
- 画像を消去する (p.126)
- 画像を拡大表示する (p.108)
  ・FUNC./SETボタンを押して画像を表示したとき
  ・ホールドに設定しているとき

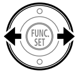
撮影した画像の確認時間を変更する

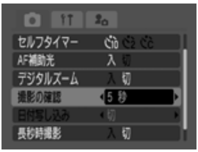
撮影した画像は、約2秒間液晶モニターに表示されます。この画像の確認時間を[切]または[2秒]～[10秒]、[ホールド]のいずれかに変更できます。



1 [(撮影)]メニューから[撮影の確認]を選ぶ

メニューの選択と設定のしかた(p.48)







2 ←/→ボタンで確認時間を選び、MENUボタンを押す

- [切]の場合、画像は表示されません。
- [2 秒]〜[10 秒]の場合、シャッターボタンを放しても、設定した時間、画像が表示されます。
- [ホールド]の場合、次にシャッターボタンが押されるまで画像を表示します。
- 画像の表示中でも、シャッターボタンを押すと撮影できます。

記録画素数と圧縮率を変更する

撮影モード

目的に応じて、記録画素数、圧縮率(動画を除く)を変更できます。

記録画素数		撮影の目安
L (ラージ) 2592×1944画素	大きい	・A4サイズ以上をプリントするとき
M1 (ミドル1) 2048×1536画素	↑	・A4サイズまでをプリントするとき
M2 (ミドル2) 1600×1200画素	↓	・L判、またははがきサイズをプリントするとき
S (スモール) 640×480画素	小さい	・電子メールで画像を送るとき ・より多くの画像を撮影するとき
(L判プリント) 1600×1200画素	・記録画素数は M2 (1600 × 1200)、圧縮率は (ファイン)となります。 ・L判プリントについて(p.72)	

圧縮率			撮影の目安
	スーパーファイン	きれい	・より良い画質で撮影するとき
	ファイン	↕	・通常の撮影をするとき
	ノーマル	普通	・より多くの画像を撮影するとき

動画の場合は、次の記録画素数で撮影できます。

	記録画素数	フレームレート		
		60フレーム/秒	30フレーム/秒	15フレーム/秒
スタンダード	640×480画素	ー	○	○
マイカラー	320×240画素	ー	○	○
スムーズ	320×240画素	○	ー	ー
ライト	160×120画素	ー	ー	○



1 FUNC.メニューから *または *を選ぶ

メニューの選択と設定のしかた（p.48）

* 現在の設定が表示されます。



2 ←/→ボタンで圧縮率または記録画素数を選ぶ

・動画の場合は、p.77をご覧ください。
・このあと、すぐに撮影できます。また、撮影後は再びこの画面が表示され、設定を変更できます。



3 FUNC./SETボタンを押す

撮影画面に戻ります。

- 1画像の容量（目安）（p.177）
- SDカードの種類と記録可能画像数の目安（p.176）

⚡ ストロボを使って撮る

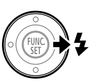
撮影モード

撮影状況に合わせて、ストロボモードを切り換えて撮影します。

⚡A	オート	明るさに応じて自動的にストロボを発光します。
👁	オート（赤目緩和）	明るさに応じて自動的にストロボを発光します。ストロボの発光の際は、常に赤目緩和ランプを発光します。
⚡👁	常時発光（赤目緩和）	常に赤目緩和ランプとストロボを発光します。
⚡	常時発光	常にストロボを発光します。
⚡⃠	発光禁止	ストロボは発光しません。
👤★	スローシンクロ	遅いシャッタースピードで、ストロボを発光して撮影します。夕暮れや夜景をバックに人物を撮影するとき、また夜景や室内での撮影などで、背景だけが暗くなるのを軽減できます。 常に赤目緩和ランプを発光します。 三脚をお使いになることをおすすめします。

	AUTO	M	D	1	2	3	4	5	6	M□
⚡A	○	○	−	○	○	○	○	○	○	−
👁	○	○	−	○	○	○	○	○	○	−
⚡👁	−	−	−	○	○	○	○	○	−	−
⚡	−	○	−	○	○	○	○	○	○	△
⚡⃠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△
👤★	−	○	−	−	−	−	−	−	○	△

○：設定可　△：最初の1画像のみ設定可





1 ⚡ ボタンを押して、ストロボモードを切り換える

設定したストロボモードが表示されます。

- ISO感度を上げてストロボ撮影する場合、被写体との距離が近いほど白飛びしやすくなります。
- ストロボが発光禁止およびスローシンクロのとき、暗いところではシャッタースピードが遅くなり、画像がぶれることがありますのでご注意ください。手ブレ警告アイコン（ ）がが表示された場合は、三脚などでカメラを固定して撮影することをおすすめします。

- シャッターボタンを半押ししたときに、ランプが橙色に点灯するときは、ストロボが発光します。
- ストロボの充電には約10秒かかる場合があります。充電時間は使用状況やバッテリーの残量などにより変わります。充電中は撮影できません。
- ストロボの発光は、プリ発光とメイン発光の 2 回行われます。プリ発光（ストロボ撮影に必要な露出情報を得るための予備的な発光）で得た被写体の露出情報をもとにして、メイン発光（ストロボ撮影を行うための発光）に必要な発光量が決められ、最適な発光量でストロボ撮影が行われます。
- ストロボをお使いになるときは、通常撮影時で50cm以上カメラを被写体から離してください。

赤目緩和機能について

- 暗い所でストロボを発光すると、ストロボの光が反射して目が赤く写ることがあります。このようなときは、赤目緩和で撮影してください。その場合、写される人が赤目緩和ランプを見ていないと効果がありません。ランプを見るよう声をかけてください。また、「室内を明るくする」、「写したい人に近付く」とより効果があります。
- 赤目緩和ランプが点灯するとき、効果を高めるために、約 1 秒間シャッターは切れません。すぐにシャッターを切りたいときは、ストロボの設定を 、 または にして撮影してください。

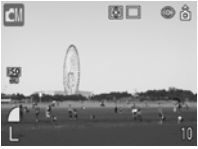
撮影モードを選択する

撮影モード

撮影モードを選択するだけで、撮影シーンに最適な撮影ができます。

	オート	カメラまかせの撮影ができます(p.59)。
	マニュアル	露出を補正したり、ホワイトバランス、色効果などを自分で選んで撮影できます。
	デジタルマクロ	被写体に3cm(最短撮影距離)まで近付いて撮影できます(ワイド端固定)。画像の中央をトリミングし、デジタルズームを使って拡大するため、通常のマクロ撮影よりも、より被写体を大きく撮影できます(p.69)。
	ポートレート	人物をやわらかい調子で撮影できます。
	ナイトスナップ	夕暮れや夜景をバックに人物をスナップ撮影したいときに、三脚がなくても手ブレを少なく撮影できます。
	キッズ&ペット	よく動きまわる子供やペットを、シャッターチャンスを逃さずに撮影できます。
	パーティー/室内	蛍光灯や電球のもとで、手ブレをおさえて被写体に忠実な色味で撮影できます。 ストロボ発光はなるべくしないように制御されます。
	水中	オールウェザーケース AW-DC30(別売)を使った水中での撮影に最適です。水中に最適なホワイトバランスに設定され、青みをおさえた自然な色合いで撮影できます。
	マイカラー	画像の色味を変化させて撮影できます(p.98)。

マニュアル　　ポートレート　　ナイトスナップ





キッズ&ペット　　パーティー/室内　　水中







1 FUNC.メニューから撮影モードを選ぶ

・メニューの選択と設定のしかた(p.48)
・このあと、すぐに撮影できます。また、撮影後は再びこの画面が表示され、設定を変更できます。





2 FUNC./SETボタンを押す

・撮影画面に戻り、液晶モニターに選択した撮影モードのアイコンが表示されます。
・、、、、の撮影手順は、「オートで撮る(p.59)」と同じです。
・は「至近距離で拡大して撮る(デジタル マ ク ロ)(p.69)」、は「マ イ カラーで撮る(p.98)」をご覧ください。
・での撮影は、オールウェザーケースAW-DC30(別売)に付属のオールウェザーケースユーザーガイドをご覧ください。

- 、、、、では、撮影シーンによっては、ISO 感度が上がり、画像にノイズが増えることがあります。
- は、レンズ前面から被写体までの距離が1m～∞でお使いください。

- このモードで変更できる設定（p.184）
- 被写体によっては、思いどおりの画像にならない場合があります。
- では、液晶モニターを使って撮影することをおすすめします。
- 水中で撮影する場合は、オールウェザーケース AW-DC30（別売）を装着してください。

至近距離/遠距離で撮る

撮影モード

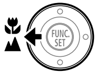
	至近距離（マクロ）	レンズ前面から被写体までの距離が3～50cm（ワイド端）/30～50cm（テレ端）のときに使います。
	遠距離（遠景）	レンズ前面から被写体までの距離が3m以上離れているときに使います。

ワイド端：最も広角側　テレ端：最も望遠側

	○	○	―	○	○	―	○	○	○
	―	○	―	○	○	―	○	○	○

	△	○
	△	○

○：設定可　△：最初の1画像のみ設定可





1 /ボタンを押して、マクロ/遠景モードを切り換える

液晶モニターに、設定したマクロ / 遠景モードが表示されます。

マクロ/遠景モードを解除するには

/ボタンを押して、またはの表示を消します。

- マクロモードでは、液晶モニターを使って撮影してください。ファインダーをお使いになると、撮影範囲がずれます(p.44)。
- マクロモードで撮影距離が3〜30cmのときにストロボをお使いになると、画像の明るさが適切にならないことがあります。

ワンポイントアドバイス(p.180)

マクロモード時の撮影範囲について

(ズーム位置がテレ端とワイド端の間のとき、レンズ前面から被写体までの距離は、テレ端と同じになります。)

ズーム位置	レンズ前面から被写体までの距離	撮影範囲
テレ端*1	30cm	108 × 81mm
ワイド端*2	3cm	37 × 27mm

*1最も望遠側
*2最も広角側

至近距離で拡大して撮る（デジタルマクロ）

撮影モード

レンズ前面から被写体までの距離が3～10cmのときに使います（ワイド端固定）。画像の中央をトリミングし、デジタルズームを使って拡大するため、通常のマクロ撮影よりも、より被写体を大きく撮影できます。次の倍率（目安）に拡大できます。

・約1.3倍、1.6倍、2.0倍、2.5倍、3.1倍、4.0倍

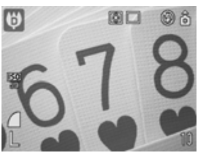


1 FUNC.メニューからを選ぶ

・メニューの選択と設定のしかた（p.48）

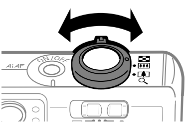
・このあと、すぐに撮影できます。また、撮影後は再びこの画面が表示され、設定を変更できます。





2 FUNC./SETボタンを押す

撮影画面に戻り、液晶モニターにが表示されます。



3 ズームレバーで画角を決める

- このモードで変更できる設定（p.184）
- デジタルズームの倍率が最大のときの撮影範囲は、9×7mmです。

撮影

デジタルズームで撮る

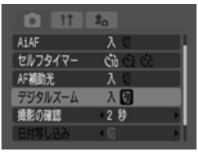
撮影モード

光学ズームと組み合わせて、約3.8倍、4.9倍、6.1倍、7.6倍、9.3倍、12倍の倍率（目安）に拡大できます。

液晶モニターが消えているときは、デジタルズームを使えません。

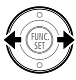


1 DISP. ボタンを押して、液晶モニターをつける



2 [(撮影)]メニューから[デジタルズーム]を選ぶ

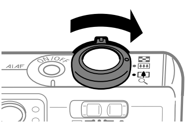
メニューの選択と設定のしかた（p.48）





3 ←/→ ボタンで[入]を選び、MENU ボタンを押す

撮影画面に戻ります。





4 ズームレバーを [ ] 側に押す

- 画面に光学ズームとデジタルズームを組み合わせた倍率が表示されます。
- 最も望遠側まで拡大すると、いったん停止します（静止画撮影時）。再度 [ ] 側へ押すと、デジタルズームが働き、さらに拡大できます。
- [ ] 側へ押すと、倍率が下がります。

- 動画（スタンダード）のときも、デジタルズームが使えます。
- **デジタルズームは、拡大すると画像が粗くなります。**

連続して撮る

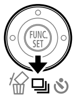
撮影モード

シャッターボタンを全押ししている間、連続して撮影できます。シャッターボタンを放すと撮影が終了します。

なお、以下の条件の場合は、一定の撮影間隔でSDカードの容量がいっぱいになるまで連続して撮影(スムーズ連写)できます*。

・推奨SDカード:物理フォーマット(p.27)を行った超高速のSDC-512MSH(別売)

* 当社測定条件によるもので、被写体、撮影条件などにより変わります。
* 連続撮影が中断したときに、SDカードの容量が余る場合があります。





1 ボタンを押して を表示する

連続撮影を解除するには

ボタンを2回押して を表示させます。

- 連続撮影速度が低下したと思われる場合などには、連続撮影の性能を十分に発揮するため、撮影した画像をパソコンに保存してから、カメラでSDカードを初期化(物理フォーマット)することをおすすめします。

- 内部メモリーがいっぱいになると、撮影間隔が多少長くなります。
- ストロボが発光する場合には、ストロボの充電時間が必要なため、撮影間隔が長くなります。

L判プリントモードで撮る

撮影モード

L判やはがきの大きさに最適な記録画素数と圧縮率で撮影できます。

・通常の撮影画像をL判やはがきサイズにプリントすると、画像の上端や下端がプリントできないことがあります。

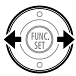
・L判プリントで撮影すると、あらかじめ液晶モニターでプリント範囲（縦横比約3:2）を確認できます。また、記録画素数が1600×1200画素、圧縮率はファインに固定され、データ容量が少なくなります。



1 FUNC.メニューから *を選ぶ

メニューの選択と設定のしかた（p.48）

* 現在の設定が表示されます。



2 ←/→ボタンで を選ぶ

このあと、すぐに撮影できます。また、撮影後は再びこの画面が表示され、設定を変更できます。





3 FUNC./SETボタンを押す

・撮影画面に戻り、液晶モニターに が表示されます。

・シャッターボタンを半押しすると、プリントされない領域（上端、下端）はグレーになります。

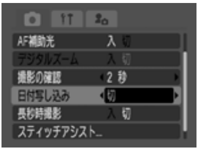
デジタルズームが［入］のときに を選択すると、デジタルズームは解除されます。

- ［日付写し込み］の設定（p.73）が［日付のみ］、［日付＋時刻］のときは、液晶モニターに が表示されます。
- プリントについては、別冊のダイレクトプリントユーザーガイドをご覧ください。

画像に日付を写し込む

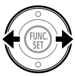
(L判プリント)のとき、画像に日付を写し込むことができます。パソコンやプリンターで操作する必要はありません。

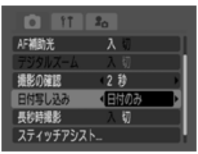
- あらかじめカメラの日付/時刻が正しく設定されていることを確認してください(p.30)。
- (L判プリント)以外では、画像に日付を写し込めません。



1 [(撮影)]メニューから[日付写し込み]を選ぶ

メニューの選択と設定のしかた(p.48)







2 ←/→ボタンで[日付のみ]、[日付+時刻]のいずれかを選び、MENUボタンを押す

・撮影画面に戻ります。
・日付を写し込みたくないときは、[切]を選びます。

- 画像に写し込んだ日付は削除できません。
- コンパクトフォトプリンター(SELPHY CPシリーズ)やカードフォトプリンター使用時に、クレジットカードサイズ(54mm×86mm)でプリントすると、日付けの一部がプリントされないことがあります。

セルフタイマーで撮る

撮影モード

シャッターボタンを押してから、10秒後または2秒後に撮影されます。撮影者がいっしょに記念写真を撮りたい場合などに使います。また、撮影の開始時間や撮影枚数を設定して(カスタム)撮影することもできます。



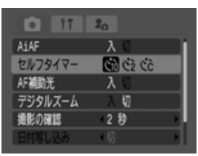
1 ボタンを押して 、 または を表示させる

- シャッターボタンを全押しするとセルフタイマーがスタートし、セルフタイマーランプが点滅します。
- は、シャッターボタンを全押ししてから10秒後に、 は2秒後に撮影されます。
- は、シャッターボタンを全押ししてから設定した時間後に、設定した枚数が撮影されます。

セルフタイマーを解除するには

ボタンを押して を表示させます。

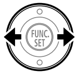
セルフタイマーの時間や撮影枚数を変更する



1 [(撮影)]メニューから[セルフタイマー]を選ぶ

メニューの選択と設定のしかた(p.48)

■ 10秒後または2秒後に変更する



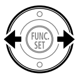




2 ◆/◆ ボタンで または を選び、MENUボタンを押す

- 撮影画面に戻ります。
- のときは、撮影の 2 秒前になるとセルフタイマー音が速く鳴り、点滅も速くなります。
- のときは、シャッターボタンを押すと同時にセルフタイマー音が鳴って、2秒後に撮影されます。

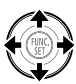
■ 撮影開始時間と撮影枚数を変更する（カスタム）







2 ◆/◆ ボタンで を選び、FUNC./SETボタンを押す





3 時間と枚数を設定する

- ▲/▼ボタンで[時間]または[枚数]を選びます。
- ◆/◆ ボタンで開始時間（0～10、15、20、30秒）や撮影枚数（1～10枚）を変更します。



4 FUNC./SETボタンを押す

設定内容が確定します。

MENU

5 MENUボタンを押す

・撮影画面に戻ります。
・[枚数]が2枚以上の場合は、1画像目の撮影で、露出やホワイトバランスがロックされます。また、SDカードの容量がいっぱいになると自動的に撮影を終了します。
・撮影と撮影の間にセルフタイマーランプが点滅し、セルフタイマー音は以下のようになります。複数の画像を撮影するように設定したときは、1画像目の撮影のみセルフタイマー音が鳴ります。
  - [0秒]に設定すると鳴りません。
  - [1秒]に設定するとセルフタイマー音は鳴りませんが、電子音が鳴ります。
  - 2 ～ 10秒の範囲で設定すると、撮影の2秒前からセルフタイマー音が鳴り始めます。

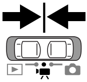
- セルフタイマー音は、[(マイカメラ)]メニューの[セルフタイマー音]で変更できます(p.54)。
- スティッチアシスト、動画モード、マイカラーモードの場合、 は設定できません。
- で[枚数]を2枚以上に設定している場合は、以下のようになります。
  - 内部メモリーがいっぱいになると、撮影間隔が長くなることがあります。
  - ストロボが発光する場合は、ストロボの充電時間が必要なため、撮影間隔が長くなります。
- ワンポイントアドバイス(p.179)

動画を撮る

次の4つの動画モードがあります。

	スタンダード	記録画素数やフレームレート*を自分で選び、SDカードの容量がいっぱいになるまで撮影できます(超高速のSDカード使用時(推奨SDカード:SDC-512MSH))。また、撮影中にデジタルズームが使えます(p.70)。 ・記録画素数:[(640×480)]、[(320×240)] ・フレームレート:[(30 フレーム / 秒)]、[(15 フレーム/秒)] ・1回の最長撮影容量:1GB
	スムーズ	スポーツなどの速い動きの撮影に使います。 ・記録画素数:[(320×240)] ・フレームレート:[(60フレーム/秒)] ・1回の最長撮影時間:1分
	ライト	記録画素数が小さいため容量が少なく、メールに添付したり、SD カードの容量が少ないときなどに使うと便利です。 ・記録画素数:[(160×120)] ・フレームレート:[(15フレーム/秒)] ・1回の最長撮影時間:3分
	マイカラー	画像の色味を変化させて撮影できます(p.98)。 スタンダードと同様に、記録画素数やフレームレート*を自分で選び、SD カードの容量がいっぱいになるまで撮影できます(超高速の SD カード使用時(推奨 SD カード:SDC-512MSH))。 ・記録画素数:[(640×480)]、[(320×240)] ・フレームレート:[(30 フレーム / 秒)]、[(15 フレーム/秒)] ・1回の最長撮影容量:1GB

* フレームレートは、1秒間に撮影/再生するフレーム数を表します。フレームレートが高いほど滑らかな動きになります。
* 撮影時間はお使いのSDカードによって異なります。詳細はp.176をご覧ください。



1 モードスイッチを (動画)にする

記録可能時間(秒数)が表示されます。



2 FUNC. メニューから動画撮影モードを選ぶ

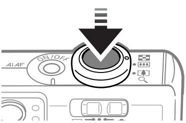
- メニューの選択と設定のしかた（p.48）
- このあと、すぐに撮影できます。また、撮影後は再びこの画面が表示され、設定を変更できます。
- 、の場合は、記録画素数（p.62）やフレームレート（p.81）を変更できます。





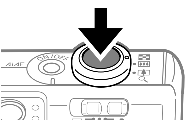
3 FUNC./SETボタンを押す

撮影画面に戻り、液晶モニターに選択した動画撮影モードのアイコンが表示されます。



4 シャッターボタンを半押しする

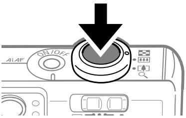
露出、フォーカス、ホワイトバランスを自動設定します。





5 シャッターボタンを全押しする

- 撮影が開始され、同時に音声も記録されます。
- 撮影中は、液晶モニターに撮影秒数と赤丸が表示されます。



6 撮影を終了するときは、再度シャッターボタンを全押しする

最長撮影時間は、被写体、撮影状況などにより変わることがあります。撮影可能な時間が経過するか、SD カードの容量がいっぱいになる直前に、液晶モニター右下の記録可能時間が赤表示になり、約10秒後、自動的に撮影が終了します。

- 以下のようなSDカードをお使いのときは、撮影中に正しい撮影時間が表示されなかったり、撮影が途中で中断されることがあります。
  - 書き込み速度が遅い
  - 他のカメラやパソコンで初期化した
  - 撮影/消去を繰り返した

  撮影時間が正しく表示されないときも、SDカードには実際に撮影した時間の動画が記録されています。SDカードをこのカメラで初期化すると、正しい時間が表示されます(書き込み速度の遅いSDカードを除く)。
- 動画を撮影するときは、このカメラで初期化したSDカードをお使いください(p.27)。付属のSDカードはそのままお使いになれます。
- 撮影中は、マイクに触れないようにしてください。
- 撮影中は、シャッターボタン以外のボタンを押さないでください。ボタンを押す音も記録されてしまいます。
- AF、光学ズームは、撮影を開始したとき(最初のフレーム)の設定値に固定されます。
- 撮影中は、撮影状況に応じて、カメラが自動的に適切な露出、ホワイトバランスを調整します。なお、カメラが自動的に露出を調整する音が、一緒に記録される場合もあります。
- 撮影後、SDカードへの記録中はランプが緑色に点滅します。このときは撮影できません。

- このモードで変更できる設定（p.184）
- 音声は、モノラルで録音されます。
- 動画撮影時にはシャッター音は鳴りません。
- 撮影前に、AEロックと露出補正ができます。ボタンを押すと露出が固定（AE ロック）し、液晶モニターに露出補正バーが表示され、←/→ボタンで露出を変更できます。なお、MENUボタンを押したり、ホワイトバランス、色効果、撮影モードを変更すると解除されます。
- カメラの使用状況やご使用のSDカードの性能により、記録時間や記録容量が変わることがあります。記録時間や記録容量に余裕がある場合でも、カメラの内部メモリーが少なくなると、液晶モニター右下に「!」が赤表示され、まもなく撮影が自動的に終了します。「!」が頻繁に表示されるときは、以下の方法をお試しください。
  - 撮影する前にSDカードを初期化する（p.27）
  - 記録画素数を（320×240）にするか、フレームレートを（15フレーム/秒）にする
  - 超高速のSDカード（SDC-512MSHなど）を使用する
- 動画（タイプ：AVI、圧縮方法：Motion JPEG）をパソコンで再生するには、QuickTime 3.0以上が必要です(付属のCanon Digital Camera Solution Diskには、Windows版のQuickTimeが収められています。なお、Mac OS X以降には標準装備されています)。

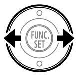
フレームレートを変更する

（スタンダード）、（マイカラー）の場合、1秒間に撮影するフレームレートを［（30フレーム/秒）］、［（15フレーム/秒）］から選べます。



1 FUNC.メニューから＊を選ぶ

メニューの選択と設定のしかた（p.48）
＊ 現在の設定が表示されます。



2 ←/→ボタンで、のいずれかを選ぶ

このあと、すぐに撮影できます。また、撮影後は再びこの画面が表示され、設定を変更できます。



3 FUNC./SETボタンを押す

撮影画面に戻ります。

パノラマ画像を撮る（スティッチアシスト）

撮影モード

スティッチアシストは、撮影した画像をパソコンで合成（スティッチ）し、パノラマ画像を作るときに使います。





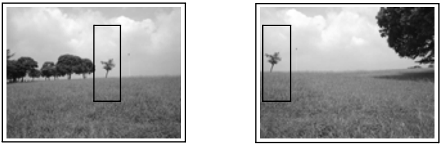
複数の画像をつなぎ合わせて、パノラマ画像を作成できます。

撮影

パソコンでの画像合成は、付属のソフトウェア「PhotoStitch」をお使いください。

被写体のとらえかた

PhotoStitchは、隣り合う画像の共通部分を見つけて合成処理を行います。共通部分には、できるだけ特徴のある被写体(目印となる被写体)を入れて撮影してください。



- 隣り合う画像の共通部分は、画像の幅の30〜50%になるように撮影します。また、上下のズレは、画像の高さの10%以内で撮影します。
- 共通部分には、動いている被写体などが入らないように注意してください。
- 遠くの被写体と近くの被写体が混在する画像をスティッチしないでください。物体がゆがんだり、二重に写ったりすることがあります。
- 撮影時の明るさはできるだけそろえてください。画像の明るさが違いすぎると、不自然な画像になってしまうことがあります。
- 遠くの風景を撮るときは、カメラを中心に回転して撮影します。
- 至近距離では、カメラをスライド(カメラを被写体に対して平行移動)させます。

撮影する

スティッチアシストには、次の２つの撮影方向があります。

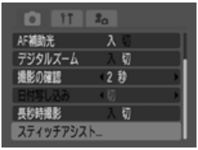
	左→右	左から右方向へ水平に撮影します。
	左←右	右から左方向へ水平に撮影します。



1 FUNC.メニューからを選ぶ

メニューの選択と設定のしかた(p.48)

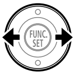
2 [📷(撮影)]メニューから[スティッチアシスト]を選び、FUNC./SETボタンを押す





メニューの選択と設定のしかた(p.48)

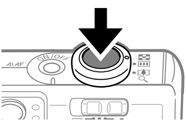
3 ◆/◆ボタンで撮影方向を選び、FUNC./SETボタンを押す







4 最初の画像を撮影する



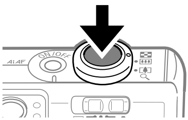


1画像目の撮影で、露出やホワイトバランスがロックされます。



5 最初の画像にオーバーラップさせて、次の画像を撮影する

・ ←/→ ボタンを押すと、撮影済みの画像に戻り、撮影のやり直しができます。
・オーバーラップは多少ずれても、合成時に修正されます。



6 同様の操作で3画像目以降を撮影する

最大26画像まで撮影できます。



7 最後の画像の撮影後、MENUボタンを押す

スティッチアシストの撮影が終了します。もう一度MENUボタンを押すと、撮影画面に戻ります。

- マニュアルホワイトバランスの場合、スティッチアシストでは基準となる白データの取り込みができません。撮影メニューから[スティッチアシスト]を選ぶ前に白データを取り込んでおいてください(p.95)。
- 2画像目以降の撮影では、最初の撮影の設定が適用されます。
- テレビと接続しても、液晶モニターの画像をテレビに表示して撮影できません。

このモードで変更できる設定(p.184)

ピントの合わせかたを切り換える

撮影モード

AF機能はAiAF（AF枠9個）に設定されていますが、中央1点のAFに切り換えられます。
[AiAF]を[入]にしても、AF 枠は表示されませんが、[切]を選択するとAF枠が表示されます。

（枠なし）	入	撮影状況に応じて、9つのAF枠の中からカメラが自動的にAF枠を選択してピントを合わせます。
□	切	中央の AF 枠だけが有効になります。狙った被写体に確実にピントを合わせたり、構図を楽しむのに便利です。

□は、液晶モニター上に表示されます。



1 **[（撮影）] メニューから[AiAF]を選ぶ**

メニューの選択と設定のしかた（p.48）



2 **←/→ ボタンで[入]または[切]を選ぶ**

このあと、すぐに撮影できます。



3 **MENUボタンを押す**

撮影画面に戻ります。

デジタルズーム使用時は、AF枠は中央1点に固定されます。

ピントが合いにくい被写体を撮る（フォーカスロック、AFロック）

撮影モード

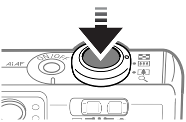
次のような被写体は、ピントが合わないことがあります。

・コントラストが極端に低い被写体
・近いものと遠いものが混在する被写体
・画像中央部が極端に明るい被写体
・高速で移動する被写体
・ガラス越しの被写体：できるだけガラスに近寄り、反射による写り込みのない状態で撮影してください。

フォーカスロックで撮る

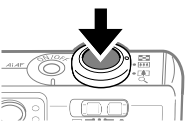
フォーカスロックは、どの撮影モードでも操作できます。

1 ピントを合わせたい被写体と同じ撮影距離にある異なる被写体をファインダー中央、または液晶モニターに表示されているAF枠に収める



2 シャッターボタンを半押しする（電子音が2回鳴ります）

被写体までのピントのあった距離が記憶されます。



3 カメラの向きを変えて構図を決め、シャッターボタンを全押しする

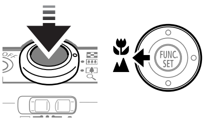
AFロックで撮る

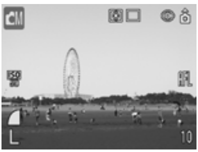
AFロックは、、、、で操作できます。



1 DISP. ボタンを押して、液晶モニターをつける

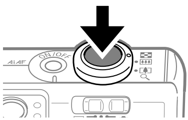
2 ピントを合わせたい被写体と同じ撮影距離にある異なる被写体を、AF枠の中に収める





3 シャッターボタンを半押しし（電子音が2回鳴ります）、🌷/▲ボタンを押す

・被写体までのピントのあった距離が記憶されます。
・AFL が表示され、ランプが黄色に点灯します。



4 カメラの向きを変えて構図を決め、撮影する

AFロックを解除するには

🌷/▲ボタンを押します。

- 液晶モニターを使って、フォーカスロックまたは AF ロック撮影をする場合、AiAFを［切］（p.85）にすると、中央のAF枠1点だけが有効になるので、撮影しやすいです。
- AFロックは、シャッターボタンを放して構図を決められるので便利です。また、撮影後もAFロックされたままなので、同じピントですぐに次の撮影ができます。
- AFロックは、ズームレバー（静止画撮影時）、MENUボタンを押したり、撮影モードを変更した場合、または液晶モニターを非表示にすると解除されます。

露出を固定して撮る(AEロック)

撮影モード

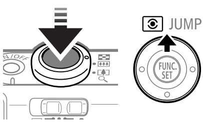
露出とピントを別々に決めて撮影できます。被写体と背景のコントラストが極端に強いときや、逆光下での撮影などに有効です。

ストロボは必ず に設定し、ストロボを発光させないでください。ストロボが発光すると、AEロックが働きません。



1 DISP. ボタンを押して、液晶モニターをつける

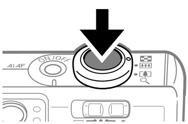
2 露出を固定したい被写体にピントを合わせる





3 シャッターボタンを半押しし(電子音が2回鳴ります)、ボタンを押す

- 被写体に必要な露出量を記憶します。
- AEL が表示されます。



4 カメラの向きを変えて構図を決め、撮影する

AEロックを解除するには

ボタンを押します。

- のときも、AEロックの設定/解除ができます(p.80)。
- AE ロックは、ズームレバー、**MENU** ボタン、 ボタンを押したり、ホワイトバランス、ISO感度、色効果、撮影モードを変更した場合、または液晶モニターを非表示にすると解除されます。

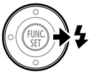
FEロックで撮る

撮影モード

被写体が構図のどこにあっても、適正な露出でストロボ撮影ができます。



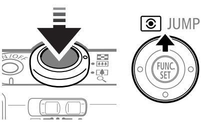
1 DISP. ボタンを押して、液晶モニターをつける





2 ⚡ボタンを（何回か）押して、ストロボを ⚡ に設定する

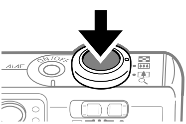
3 露出を固定したい被写体にピントを合わせる





4 シャッターボタンを半押しし（電子音が２回鳴ります）、⦿ボタンを押す

- ストロボがプリ発光し、被写体に必要な露出量を記憶します。
- FEL が表示されます。



5 カメラの向きを変えて構図を決め、撮影する

FEロックを解除するには

ボタンを押します。

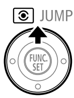
FEロックは、ズームレバー、MENUボタン、ボタンを押したり、ホワイトバランス、ISO感度、色効果、撮影モードを変更した場合、または液晶モニターを非表示にすると解除されます。

測光方式を切り換える

撮影モード

測光方式を切り換えて撮影できます。

	評価測光	逆光撮影を含む一般的な撮影に適しています。画面内を多分割して測光します。画面内の被写体の位置、明るさ、順光、逆光など複雑な光の要素をカメラが判断し、主被写体を常に適正な露出にします。
	中央部重点平均測光	画面中央部の被写体に重点を置きながら、画面全体を平均的に測光します。
	スポット測光	液晶モニター中央部の「スポット測光枠」内を測光します。画面中央の被写体に露出を合わせたいときに利用します。





1 ボタンで測光方式を切り換える

液晶モニターに設定した測光方式が表示されます。

露出を補正する

撮影モード

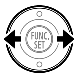
逆光や背景が明るい場所での撮影で、被写体が暗くなってしまったり、夜景の撮影でライトが明るすぎるようなときに、露出を補正します。



1 FUNC.メニューから ±0 *を選ぶ

メニューの選択と設定のしかた(p.48)

* 現在の設定が表示されます。



2 ←/→ ボタンで露出を補正する

- 補正量は、−2〜+2の範囲で1/3段ずつ変更できます。
- 液晶モニターの表示画像で補正結果を確認できます。
- このあと、すぐに撮影できます。また、撮影後は再びこの画面が表示され、補正値を変更できます。



3 FUNC./SETボタンを押す

撮影画面に戻ります。

露出補正を解除するには

補正値を「0」に戻します。

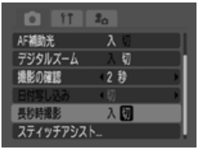
- ワンポイントアドバイス(p.179)
- マイカラーが、 、 の場合、露出補正は設定できません。
- のときも露出補正の設定/解除ができます(p.80)。

撮影

長秒時設定で撮る

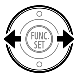
撮影モード

暗い被写体を明るく撮影したいときは、シャッタースピードを遅くして、撮影できます。



1 [(撮影)]メニューから[長秒時撮影]を選ぶ

メニューの選択と設定のしかた(p.48)





2 ←/→ボタンで[入]を選び、MENUボタンを押す

撮影画面に戻ります。





3 FUNC.メニューから ±0 *を選び、MENUボタンを押す

メニューの選択と設定のしかた(p.48)

* 現在の設定が表示されます。





4 ←/→ボタンでシャッタースピードを選ぶ

- 数値が大きいほど明るくなり、数値が小さいほど暗くなります。
- このあと、すぐに撮影できます。また、撮影後は再びこの画面が表示され、設定を変更できます。

5 FUNC./SETボタンを押す

撮影画面に戻ります。

長秒時撮影を解除するには

長秒時撮影のFUNC.メニューが表示されているときに、MENUボタンを押します。

シャッタースピードが遅くなると、CCDの特性により撮影した画像にノイズが増えますが、このカメラはシャッタースピードが1.3秒より遅くなると、このノイズを除去する処理を行い、高画質が得られます（ただし、次の撮影までにしばらく時間がかかります）。

- 意図した明るさで撮影されているかは、液晶モニターで確認してください。
- シャッタースピードが遅くなるので、手ブレしやすくなります。液晶モニターに （手ブレ警告）が表示されたら、三脚を使って撮影してください。
- ストロボを発光すると、露出オーバーになることがあります。その場合は、ストロボを にして撮影してください。
- 長秒時設定で撮影するときは、次の設定ができません。
  - ・露出補正　・測光方式　・AEロック
  - ・FEロック　・ISO感度[AUTO]
  - ・ストロボ[オート][オート（赤目緩和）][常時発光（赤目緩和）]

設定できるシャッタースピードについて

15　13　10　8　6　5　4　3.2　2.5　2　1.6　1.3　1（秒）

撮影

色合いを調整する（ホワイトバランス）

撮影モード

ホワイトバランスを設定すると、撮影時の光源に合った適正な色になります。設定内容と光源の組み合わせは以下のとおりです。

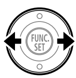
AWB	オート	自動設定
	太陽光	晴天の屋外
	くもり	曇天や日陰、薄暮
	電球	電球、電球色タイプ（3波長型）の蛍光灯
	蛍光灯	昼白色蛍光灯、白色蛍光灯、昼白色タイプ（3波長型）の蛍光灯
	蛍光灯H	昼光色蛍光灯、昼光色タイプ（3波長型）の蛍光灯
	マニュアル	白い紙や布など白を基調としたものをカメラに記憶させ、最適な白データを取り込んでから撮影できます。



1 FUNC.メニューから AWB *を選ぶ

メニューの選択と設定のしかた（p.48）

* 現在の設定が表示されます。



2 ←/→ボタンで設定したいホワイトバランスを選ぶ

- マニュアルホワイトバランスを設定する（p.95）
- 液晶モニターの表示画像で、設定を確認できます。
- このあと、すぐに撮影できます。また、撮影後は再びこの画面が表示され、設定を変更できます。



3 FUNC./SETボタンを押す

撮影画面に戻ります。

色効果が S BW の場合、ホワイトバランスは設定できません。

マニュアルホワイトバランスを設定する

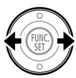
白い紙や布など、白を基準としたいものをカメラに記憶させ、その撮影状況下で最適なホワイトバランスを設定できます。
特に次のような場合、AWB（オート）では、ホワイトバランスが調整できないことがありますので、（マニュアル）で白データを取り込んでから撮影してください。

・至近距離（マクロ）で撮影するとき
・単一な色の被写体（空、海、森など）を撮影するとき
・水銀灯などの特殊な光源で撮影するとき



1 FUNC.メニューからAWB*を選ぶ

メニューの選択と設定のしかた（p.48）
* 現在の設定が表示されます。





2 ←/→ボタンでを選ぶ



3 カメラを白い紙や布に向け、MENUボタンを押す

・液晶モニターを使う場合は、中央の枠いっぱいに、またファインダーを使う場合は、画面いっぱいに白い紙や布が表示されるよう構図を決めてからMENUボタンを押してください。MENUボタンを押すと、白データが取り込まれます。
・このあと、すぐに撮影できます。また、撮影後は再びこの画面が表示され、設定を変更できます。

4 FUNC./SETボタンを押す

撮影画面に戻ります。

- 撮影モードを[CM]にし、露出補正を±0にすることをおすすめします。適正露出でない場合(真っ黒や真っ白)は、白データを正しく取り込めないことがあります。
- 白データを取り込んだときと同じ条件で撮影してください。条件が異なると、最適なホワイトバランスが設定できないことがあります。特に以下の条件は変更しないでください。
  - ISO感度
  - ストロボ
    ストロボは、常時発光または発光禁止にしておくことをおすすめします。ストロボがオート/オート(赤目緩和)に設定されているときに、マニュアルホワイトバランスを設定する場合、白データ取り込みの際にストロボが発光したときは、撮影時もストロボを発光させてください。
- スティッチアシストでは、白データの取り込みはできません。撮影メニューから[スティッチアシスト]を選ぶ前に、あらかじめ白データを取り込んでおいてください。
- 設定したマニュアルホワイトバランスは、カメラの設定を初期設定に戻しても解除されません(p.58)。

色効果を切り換える

撮影モード

色効果を切り換えると、画像の印象を変えられます。

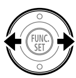
	効果切	通常設定
	くっきりカラー	コントラストと色の濃さを強調し、くっきりした色合いにする
	すっきりカラー	コントラストと色の濃さを抑え、すっきりとした色合いにする
	ソフト	輪郭の強調を抑える
	セピア	セピア色にする
	白黒	白黒にする



1 FUNC.メニューから *を選ぶ

メニューの選択と設定のしかた（p.48）

* 現在の設定が表示されます。



2 ←/→ボタンで色効果を選ぶ

・液晶モニターの表示画像で、色効果を確認できます。

・このあと、すぐに撮影できます。また、撮影後は再びこの画面が表示され、設定を変更できます。



3 FUNC./SETボタンを押す

撮影画面に戻ります。

マイカラーで撮る

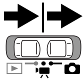
撮影モード

マイカラーは、赤、緑、青の色のバランスを変えたり、色白や日焼けした肌にしたり、画面内の指定した色を別の色にするなど、画像の色味を簡易的に変化させて撮影できる機能です。静止画はもちろん、動画でも利用でき、画像効果や映像効果を演出した撮影が楽しめます。ただし、撮影状況によっては、画像が粗くなったり、思い通りの色にならないことがあります。そのため、大切なシーンを撮影するときには、必ず事前にためし撮りすることをおすすめします。なお、静止画の場合には、[オリジナル保存]機能(p.100)を[入]にすれば、マイカラーの画像だけでなく、オリジナル画像(元画像)も記録できます。

P	ポジフィルムカラー	「あざやかブルー」・「あざやかグリーン」・「あざやかレッド」の効果を合わせたもので、青、緑、赤色をより鮮やかに撮影できます。 ポジフィルムのようにナチュラルで色鮮やかな画像が撮影できます。
L	色白肌*	人物の肌を色白に撮影できます。
D	褐色肌*	人物の肌を褐色に撮影できます。
B	あざやかブルー	青色を強調して撮影できます。空や海などの青い被写体をより鮮やかに撮影できます。
G	あざやかグリーン	緑色を強調して撮影できます。山や新緑、草花、芝生などの緑の被写体をより鮮やかに撮影できます。
R	あざやかレッド	赤色を強調して撮影できます。赤い花や赤い車などの赤い被写体をより鮮やかに撮影できます。
A	ワンポイントカラー	画面内の指定した色のみを残し、それ以外を白黒にして撮影できます。
S	スイッチカラー	画面内の指定した色を別の色に変更して撮影できます。 別の色の取り込みは1色のみで、複数の色から選択はできません。

Ac	カスタムカラー	赤/緑/青/肌色*のバランスを自由に設定して撮影できます。「青色をもう少し鮮やかに」や「顔色をもう少し明るく」といった微調整ができます。

* 被写体に人物以外の肌色が含まれている場合は、その被写体の色も変更されることがあります。
* 肌の色によっては、効果が表れない場合があります。

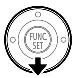


1 モードスイッチを [静止画] または [動画] にする



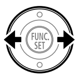
2 FUNC.メニューから [マイカラー] または [動画マイカラー] を選ぶ

メニューの選択と設定のしかた(p.48)



3 ▼ボタンで Ap *を選ぶ

* 現在の設定が表示されます。





4 ◀/▶ボタンで設定したいマイカラーモードを選ぶ

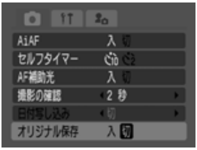
- **Ap、AL、AD、AB、AG、ARのとき**
FUNC./SETボタンを押して撮影画面に戻り、撮影します。

- **AA、AS、Acのとき**
それぞれの撮影手順をご覧ください。
AA:ワンポイントカラーで撮る(p.101)
AS:スイッチカラーで撮る(p.102)
Ac:カスタムカラーで撮る(p.103)

- このモードで変更できる設定(p.184)
- マイカラーモードでは、撮影シーンによっては、ISO感度が上がり、画像にノイズが増えることがあります。

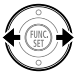
オリジナル画像の保存方法を変更する

マイカラーで静止画を撮影するときは、マイカラーの画像だけでなく、オリジナル画像（元画像）も記録するかどうかを設定できます。



1 [（撮影）]メニューから[オリジナル保存]を選ぶ

メニューの選択と設定のしかた（p.48）





2 ←/→ボタンで[入]または[切]を選び、MENUボタンを押す

・撮影画面に戻ります。
・オリジナル画像も記録するときは[入]、記録しないときは[切]を選びます。
・[入]の場合、画像番号は連番になります。オリジナル画像が早い番号、マイカラーで撮影した画像が後の番号です。

[オリジナル保存]を[入]に設定した場合

- 撮影時に液晶モニターに表示される画像は、マイカラーで設定している画像だけです。
- 撮影直後に液晶モニターに表示される画像は、マイカラーで撮影した画像になります（p.60）。このとき画像を消去すると、オリジナル画像も同時に消去されますので、十分に確認してから消去してください。
- 1 回の撮影で 2 画像記録されるため、液晶モニターに表示される記録可能画像数は、設定が[切]の場合の半分になります。

ワンポイントカラーで撮る

画面内の指定した色以外を白黒で撮影します。



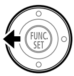
1 FUNC.メニューからを選ぶ

・マイカラーで撮る（p.98）
・前回設定した指定色以外は白黒で表示されます。



2 MENUボタンを押す

色取り込みモードになり、オリジナルの画像とワンポイントカラーの画像が交互に表示されます。



3 液晶モニターの中央の枠内に、残したい色が入るようにカメラを向け、←ボタンを押す

・指定できるのは1色です。
・↑/↓ボタンで、残したい色の範囲を変更できます。
・このあと、すぐに撮影できます。また、撮影後は再びこの画面が表示され、設定を変更できます。



4 MENUボタンを押す

色取り込みモードが終了します。



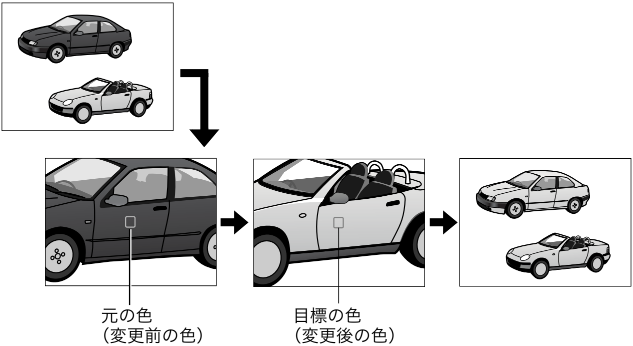
5 FUNC./SETボタンを押す

撮影画面に戻ります。

- ワンポイントカラーの初期値は、緑に設定されています。
- ストロボを発光して撮影したり、色取り込み後に、ホワイトバランス、測光方式を変更して撮影すると、思いどおりの画像にならない場合があります。
- ワンポイントカラーで指定した色は、電源を切っても記憶されます。

スイッチカラーで撮る

画面内の指定した色を別の色に変えて撮影します。





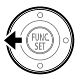
1 FUNC.メニューから を選ぶ

マイカラーで撮る（p.98）



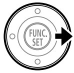
2 MENUボタンを押す

色取り込みモードになり、オリジナルの画像とスイッチカラーの画像（前回設定した指定色が反映）が交互に表示されます。



3 液晶モニターの中央の枠内に、元の色が入るようにカメラを向け、← ボタンを押す

- 指定できるのは1色です。
- ↑/↓ ボタンで、変えたい色の範囲を変更できます。



4 **液晶モニターの中央の枠内に、目標の色が入るようにカメラを向け、➡ ボタンを押す**

・指定できるのは1色です。
・このあと、すぐに撮影できます。また、撮影後は再びこの画面が表示され、設定を変更できます。



5 **MENUボタンを押す**

色取り込みモードが終了します。



6 **FUNC./SETボタンを押す**

撮影画面に戻ります。

- スイッチカラーの初期値は、緑を白に変えて撮影するように設定されています。
- ストロボを発光して撮影したり、色取り込み後に、ホワイトバランス、測光方式を変更して撮影すると、思いどおりの画像にならない場合があります。
- スイッチカラーで指定した色は、電源を切っても記憶されます。

カスタムカラーで撮る

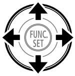
赤、緑、青、肌色の、それぞれの色のバランスを調整して撮影します。





1 **FUNC.メニューからを選び、MENUボタンを押す**

マイカラーで撮る（p.98）





色を選ぶ　色合いを調整する

2 ↑/↓ボタンで[赤]、[緑]、[青]、[肌色]のいずれかを選び、←/→ボタンで色合いを調整する

オリジナルの画像と調整結果が交互に表示されます。



3 MENUボタンを押す



4 FUNC./SETボタンを押す

撮影画面に戻ります。

ISO感度を変更する

撮影モード

暗いところで手ブレを抑えたり、ストロボをオフにして撮影したいとき、あるいはシャッタースピードを速くしたいときには、ISO感度を上げます。



1 FUNC.メニューから ISO50 *を選ぶ

メニューの選択と設定のしかた(p.48)

* 現在の設定が表示されます。



2 ←/→ボタンで感度を選ぶ

このあと、すぐに撮影できます。また、撮影後は再びこの画面が表示され、設定を変更できます。



3 FUNC./SETボタンを押す

撮影画面に戻ります。

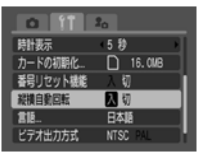
- ISO感度を上げすぎると、画像にノイズが増えます。きれいに撮りたいときは、なるべく低い感度を選んでください。
- [AUTO] を選択すると、最適な画質になる感度に設定されます。また被写体を照らすストロボ発光量が十分でない場合は、自動的に感度が上がります。

ワンポイントアドバイス(p.180)

縦横自動回転の設定をする

撮影モード

このカメラにはSI(Super Intelligent)センサーが装備されており、縦位置で撮影した画像は、再生時に正しい縦位置に回転して表示されます。この機能の入/切を設定できます。



1 [(設定)]メニューから[縦横自動回転]を選ぶ

メニューの選択と設定のしかた(p.48)





2 ←/→ボタンで[入]を選び、MENUボタンを押す

・撮影画面に戻ります。
・縦横自動回転を[入]にすると、液晶モニター表示(情報表示あり)時、画面右上に (通常)、 (右が下)、または (左が下)が表示されます。

撮影

- カメラを真上や真下に向けて撮影すると、正しく機能しない場合があります。アイコン( )を確認し、正しく天地を判断しない場合は、[切]にしてお使いください。
- 縦横自動回転の設定が[入]のときに縦位置で撮影した画像をパソコンに取り込む場合、取り込みに使用するソフトウェアによっては、回転結果が反映されないことがあります。

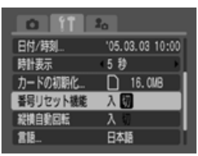
- このカメラは、SI センサーにより、縦位置で構えて撮影する場合、上側を「天」、下側を「地」と判断し、縦位置に最適なフォーカス、露出、ホワイトバランス制御を行います。この機能は、縦横自動回転の入/切に関係なく有効です。

画像番号をリセットする

撮影モード

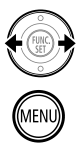
撮影した画像には、自動的に画像番号がつきます。その画像番号の設定方法を選択します。

入	新しいSDカードを入れるたびに画像番号が初期値(100-0001)に戻ります。記録済みの SD カードを入れたときは、続きの番号になります。
切	最後に撮影した画像の画像番号が記録され、新しいSDカードを入れても続きの画像番号になります。



1 [(設定)]メニューから[番号リセット機能]を選ぶ

メニューの選択と設定のしかた(p.48)



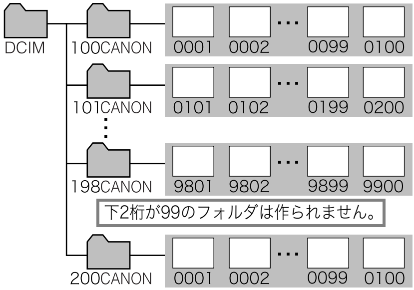
2 ←/→ボタンで[入]または[切]を選び、MENUボタンを押す

撮影画面に戻ります。

番号リセット機能を[切]で撮影すると、画像番号が重複しないため、パソコンでまとめて管理するような場合に便利です。

画像番号およびフォルダ番号について

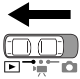
撮影した画像には、0001 ～ 9900 までの画像番号が割り振られ、各フォルダには、100～998 までの番号が割り振られます(下2桁が99のフォルダは作られません)。



ファイル数について

ひとつのフォルダに100画像ずつ保存されます。
ただし、連続撮影やスティッチアシストで撮影した画像は、必ずひとつのフォルダに保存されるため、フォルダ内に101画像以上保存されることがあります。また、他のカメラで撮影したり、パソコンから画像をコピーすると、ひとつのフォルダ内に101 画像以上を保存できますが、2001 以上の画像が保存されているフォルダ内の画像は、このカメラで再生できませんのでご注意ください。

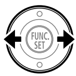
1画像ずつ見る(シングル再生) ▶





1 モードスイッチを▶(再生)にする

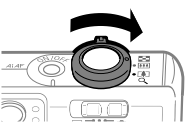
最後に撮影した画像が表示されます。



2 ←/→ボタンで表示画像を切り換える

←ボタンで前の画像、→ボタンで次の画像を表示します。ボタンを押し続けると早く進みます。ただし、表示される画像は粗くなります。

🔍拡大して見る ▶

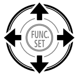




表示位置の目安

1 ズームレバーを🔍側に押す

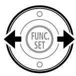
画面にSETが表示されます。ズームレバーを🔍側に押すと、画像を最大約10倍まで拡大して表示できます。



2 ↑/↓または←/→ボタンで表示位置を変更する







3 FUNC./SETボタンを押す

・画像送りモードになり、画面にSETが表示されます。←/→ボタンを押すと、拡大したまま前または次の画像を表示できます(ただし、←/→を押し続けても、早く進みません)。
・ズームレバーで倍率を変更できます。



4 FUNC./SETボタンを押す

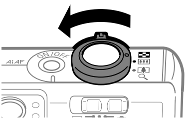
画像送りモードが解除されます。

拡大表示を解除するには

ズームレバーを▦側に押します。なお、MENUボタンを押すと、すぐに解除できます。

動画、インデックス再生時は、拡大表示できません。

▦9画像ずつまとめて見る（インデックス再生） ▶





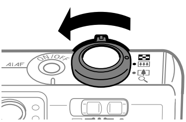
1 ズームレバーを▦側に押す

9画像ずつまとめて表示されます。



2 ↑/↓または←/→ボタンで選択画像を切り換える

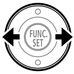
9画像ずつ表示を切り換える





1 インデックス再生時に、ズームレバーを▦側に押す

ジャンプバーが表示されます。



2 ←/→ ボタンで前または次の9画像に切り換える

FUNC./SETボタンを押しながら ←/→ ボタンを押すと、最初または最後の9画像が表示されます。

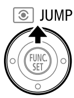
シングル再生に戻るには

ズームレバーをQ側に2回押します。

JUMP 目的の画像にジャンプする

SDカードにたくさんの画像を記録しているときは、次の4つの検索キーでジャンプしながら目的の画像を探し出すと便利です。

- 10枚ジャンプ　:画像を10枚ずつ飛ばして表示する
- 100枚ジャンプ :画像を100枚ずつ飛ばして表示する
- 日付ジャンプ　:各撮影日の先頭画像を表示する
- 動画ジャンプ　:動画を表示する



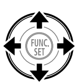


現在表示中の画像位置

検索キーに合致した画像数

1 シングル再生時に、JUMPボタンを押す

- 検索ジャンプモードになります。
- 検索キーによって、画面例は若干異なります。



2 ↑/↓ボタンで、、、のいずれかを選び、←/→ ボタンを押す

検索キーを変更する場合は、↑/↓ボタンを押します。

シングル再生に戻るには

MENUボタンを押します。

再生

動画を見る

（再生モード）

（動画アイコン）で撮影した動画を再生します。

インデックス再生のときは、動画は再生できません。



1 ←/→ ボタンで動画を選ぶ

SET（動画アイコン）の表示されている画像が動画です。



2 FUNC./SETボタンを押す

・動画再生パネルが表示されます。
・ ↑/↓ ボタンで音量を調節できます。



3 ←/→ ボタンで ▶（再生）を選び、FUNC./SETボタンを押す

・動画と音声が再生されます。
・再生が終了すると、最終フレームが表示されたままで停止します。その状態で FUNC./SET ボタンを押すと、動画再生パネルが表示されます。再度FUNC./SETボタンを押すと、先頭フレームから再生されます。

再生の一時停止/再開



1 **再生中に、FUNC./SETボタンを押す**

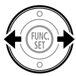
再生を一時停止します。再度ボタンを押すと再開します。

動画再生パネルの操作



1 **再生したい動画を選び、FUNC./SETボタンを押す（p.112）**

動画再生パネルが表示されます。







2 **◀/▶ ボタンで次のいずれかの操作を選び、FUNC./SETボタンを押す**

- ⮌：終了してシングル再生に戻る（MENUボタンを押しても、シングル再生に戻ります）
- ▶：再生
- |▶：スロー再生
  スロー再生中に ◀/▶ ボタンを押すと、再生速度を変更できます。◀ ボタンを押すと遅くなり、▶ ボタンを押すと速くなります。
- ⏮：先頭フレームを表示
- ◀||：フレーム戻し（FUNC./SET ボタンを押し続けると巻き戻ります）
- ||▶：フレーム送り（FUNC./SET ボタンを押し続けると早送りします）
- ⏭：最終フレームを表示
- ✂：編集（動画編集モードに切り換えます）（p.115）

再生

- 撮影時に高い記録画素数と早いフレームレートを設定していた動画を、読み込み速度の遅いSDカードで再生するときは、再生が一瞬中断することがあります。
- ビデオ出力方式を PAL 方式に設定して、で撮影した動画をテレビやビデオなどに出力する場合、撮影したフレームレートより低いフレームレートで再生されます。なお、スロー再生時は、すべてのフレームを再生できます。オリジナルのフレームレートで画像を確認したい場合は、カメラの液晶モニターまたはパソコンで再生することをおすすめします。
- パソコンで動画を再生するとき、パソコンの性能によっては、画像がフレーム（コマ）落ちしたり、音声が途切れる場合があります。
- 他のカメラで撮影した動画などは、再生や編集ができない場合があります（「メッセージ一覧」（p.159））。

- [（設定）]メニューでも動画の再生音量を調節できます（p.54）。
- テレビで動画を再生するときの音量は、テレビで調節してください（p.148）。
- スロー再生中、音声は再生されません。

動画を編集する

動画再生パネルで を選ぶと、撮影した動画の前部または後部の不要な部分を削除できます。

プロテクトされている動画、撮影時間が1秒未満の動画は編集できません。



1 ←/→ ボタンで動画を選び、FUNC./SETボタンを押す



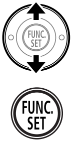
2 動画編集モードに切り換える

- 動画再生パネルの操作（p.113）
- 動画編集パネルと動画編集バーが表示されます。



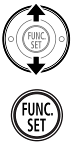
3 ↑/↓ボタンで または を選び、←/→ボタンで削除する位置を指定する

:前部を削除
:後部を削除
:編集位置



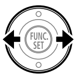
4 ▲/▼ボタンで▶(再生)を選び、FUNC./SETボタンを押す

・仮編集された動画が再生されます。
・再生中にFUNC./SETボタンを押すと停止します。



5 ▲/▼ボタンで(保存)を選び、FUNC./SETボタンを押す

(終了)を選ぶと動画編集を中止し、動画再生パネルに戻ります。







6 ◀/▶ボタンで[新規保存]または[上書き保存]を選び、FUNC./SETボタンを押す

・[新規保存]:編集した画像に新しいファイル名をつけて保存します。編集前のデータは残ります。なお、保存中にFUNC./SETボタンを押すと、保存を中止できます。
・[上書き保存]:編集前の画像と同じファイル名で保存されます。編集前のデータは残りません。
・SDカードの空き容量が足りないときは、上書き保存しかできません。

● 編集前の長さが1秒以上の動画を、1秒単位で編集できます。
● 編集した動画を保存するとき、約 3 分かかることがあります。途中でバッテリーがなくなると、編集した画像が保存できないことがありますので、動画を編集するときは、フル充電のバッテリーあるいはACアダプターキット ACK-DC10(別売)の利用をおすすめします(p.18、p.166)。

回転して表示する

時計方向に90度、270度に回転して表示します。



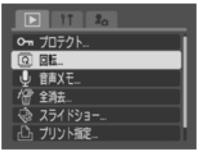
元画像



90度



270度





1 [▶(再生)]メニューからを選び、FUNC./SETボタンを押す

メニューの選択と設定のしかた(p.48)





2 ←/→ボタンで回転する画像を選び、FUNC./SETボタンを押す

FUNC./SETボタンを押すごとに、90度→270度→元画像が表示されます。



3 MENUボタンを押す

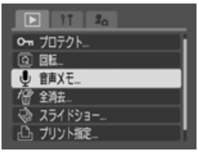
メニュー画面に戻ります。もう一度MENUボタンを押すと、再生画面に戻ります。

- 動画は回転できません。
- カメラで回転した画像をパソコンに取り込む場合、取り込みに使用するソフトウェアによっては回転結果が反映されないことがあります。

- 画像を回転したあとで、拡大することもできます(p.108)。
- 縦横自動回転の設定(p.105)が[入]のとき、縦位置で撮影した画像を液晶モニターに表示すると、画像は自動的に縦位置に回転して表示されます。

音声メモをつける

画像の再生中(シングル再生、インデックス再生)に、最長 60 秒の音声メモをつけることができます。音声データはWAVE形式で保存されます。





1 **[▶(再生)]メニューから🎤を選び、FUNC./SETボタンを押す**

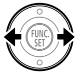
メニューの選択と設定のしかた(p.48)





2 **←/→ボタンで音声メモをつける画像を選び、FUNC./SET ボタンを押す**

音声メモパネルが表示されます。





音声メモパネル



3 ←/→ ボタンで●(録音)を選び、FUNC./SETボタンを押して、録音する

- 録音が始まり、録音時間と録音可能時間が表示されます。
- 録音中に FUNC./SET ボタンを押すと停止します。引き続き録音するときは、もう一度FUNC./SETボタンを押します。
- 1 画像につき、合計が 60 秒に達するまで録音を追加できます。
- ↩(終了)を選び、FUNC./SET ボタンを押すと、一つ前の画面に戻ります。

再生画面に戻るには

MENUボタンを(何回か)押します。

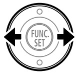
音声メモの再生/消去





1 音声メモのついた画像を表示し(p.118)、FUNC./SETボタンを押す

- ♪、🎤が表示されていることを確認してください。
- 音声メモパネルが表示されます。





音声メモパネル



2 ←/→ボタンで▶（再生）または（消去）を選び、FUNC./SETボタンを押す

▶（再生）

・音声メモが再生されます。再生中にFUNC./SETボタンを押すと停止します。引き続き再生するときは、もう一度FUNC./SETボタンを押します。
・↑/↓ボタンで音量を調節できます。

（消去）

・確認の画面が表示されます。←/→ボタンで［消去］を選んでFUNC./SETボタンを押します。

一時停止中に■（停止）を選んで、FUNC./SETボタンを押すと、音声メモの再生が最初に戻ります。

- 動画には音声メモをつけられません。
- SDカードの容量がいっぱいになると、「カードがいっぱいです」のメッセージが表示されて録音できません。
- 画像に互換性のない音声ファイルが添付されている場合は、録音、再生はできません。録音、再生をしようとすると、「互換性のないWAVEです」のメッセージが表示されます。なお、不明な音声データはこのカメラで削除できます。
- プロテクトされている画像の音声メモは消去できません。

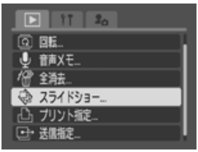
［（設定）］メニューでも、音声メモの音量を調節できます（p.54）。

画像を自動再生する（スライドショー） ▶

スライドショーを始める

SDカード内の全画像または選択した画像を自動再生します。
スライドショーの画像指定は DPOF（Digital Print Order Format）に準拠しています（p.130）。

全画像	SDカード内のすべての画像を順に再生します。
ショー1～ショー3	各ショーでマークされている画像を順に再生します（p.123）。

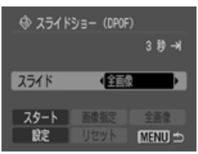




1 **[▶（再生）]メニューから を選び、FUNC./SETボタンを押す**

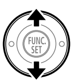
- メニューの選択と設定のしかた（p.48）
- スライドショーメニューが表示されます。





2 **▲/▼ボタンで[スライド]を選び、◀/▶ボタンで[全画像]、[ショー1]～[ショー3]のいずれかを選ぶ**

- [ショー1]～[ショー3]で再生する画像を選ぶ方法は、p.123の手順3以降をご覧ください。
- [リセット]を選ぶと、スライドショーの設定をすべて解除します。





3 **▲/▼ボタンで[スタート]を選び、FUNC./SETボタンを押す**

スライドショーが開始されます。終了するとスライドショーメニュー画面に戻ります。



4 MENUボタンを押す

メニュー画面に戻ります。もう一度MENUボタンを押すと、再生画面に戻ります。

- 動画は、設定した再生間隔にかかわらず、記録した時間で再生されます。
- スライドショーで自動再生中は、節電機能は働きません(p.36)。

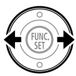
スライドショーの一時停止/再開



FUNC./SETボタンを押す

スライドショーを一時停止します。再度FUNC./SETボタンを押すと再開します。

画像の送り/戻し



←/→ ボタンを押す

前または次の画像を表示できます。ボタンを押し続けると早く進みます。

スライドショーの中止

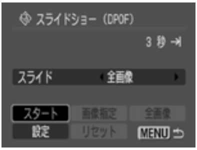


MENUボタンを押す

スライドショーが中止され、スライドショーメニュー画面が表示されます。

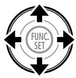
再生する画像を選ぶ

スライドショーで再生したい画像だけをマークし、[ショー1]から[ショー3]に保存します。最大998画像まで指定でき、選択した順番に自動再生されます。



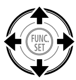
1 **スライドショーメニューを表示する**

スライドショーを始める(p.121)



2 **▲/▼ボタンで[スライド]を選び、◀/▶ボタンで[ショー1]～[ショー3]のいずれかを選ぶ**

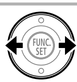
すでに画像指定されているショーには、白いチェックマークが表示されています。





3 **▲/▼ボタンと◀/▶ボタンで[画像指定]を選び、FUNC./SETボタンを押す**

[全画像]を選んでFUNC./SETボタンを押し、表示される画面で[OK]を選ぶとすべての画像を指定できます。





4 **再生する画像を選ぶ**

- ◀/▶ボタンで画像を選び、FUNC./SETボタンで選択または選択を解除します。選択した画像には、選択順の番号とチェックマーク(☑)が表示されます。
- ズームレバーを▦側に押して、インデックス再生(9画像表示)に切り換えても、同じ方法で選択できます。



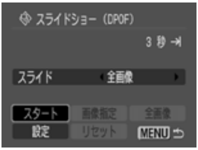
5 **MENUボタンを押す**

再生画面に戻るまで、MENUボタンを押して操作を終了します。

再生間隔やリピート設定をする

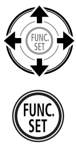
再生間隔やリピート設定をします。

再生間隔	スライドショーで1画像を表示する時間を指定します。3〜10秒、15秒、30秒、手動を指定できます。
リピート	スライドショーが一巡したら終了するか、繰り返し再生するかを設定します。



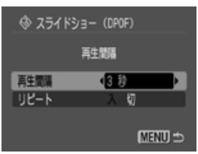
1 スライドショーメニューを表示する

スライドショーを始める（p.121）



2 ↑/↓または←/→ボタンで［設定］を選び、FUNC./SETボタンを押す





3 ↑/↓ボタンで［再生間隔］または［リピート］を選び、←/→ボタンで設定したい内容を選ぶ



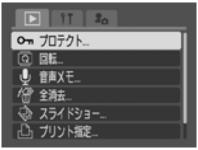
4 MENUボタンを押す

設定が終了します。再度押すと再生メニューの画面に戻り、さらに押すと再生画面に戻ります。

- 画像によっては、設定した時間と多少異なる再生間隔で再生されることがあります。
- 付属のソフトウェア（ZoomBrowser EXまたはImageBrowser）を使用すると、スライドショーの編集が簡単に行えます。

画像をプロテクト(保護)する

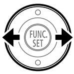
大切な画像や動画を誤って消去しないように、プロテクトを設定できます。





1 **[(再生)]メニューから を選び、FUNC./SETボタンを押す**

メニューの選択と設定のしかた(p.48)





プロテクトマーク



2 **←/→ボタンでプロテクトしたい画像を選び、FUNC./SETボタンを押す**

- プロテクトを設定した画像には、 が表示されます。
- ズームレバーを 側、Q側に押してシングル再生とインデックス再生を切り換えて指定できます。



3 **MENUボタンを押す**

再生メニューに戻ります。再度押すと、再生画面に戻ります。

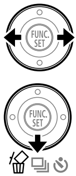
プロテクトを解除するには

手順1の後、プロテクトを解除したい画像を選び、FUNC./SETボタンを押します。

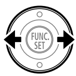
SDカードを初期化(p.27)すると、プロテクトした画像も消去されます。ご注意ください。

1画像ずつ消去する

- 消去した画像は復元できません。十分に確認してから消去してください。
- プロテクトされている画像は消去できません。



1 ←/→ボタンで消去したい画像を選び、ボタンを押す







2 ←/→ボタンで[消去]を選び、FUNC./SETボタンを押す

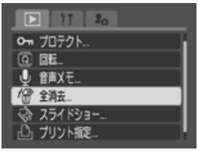
消去を取り消すときは、[キャンセル]を選びます。

インデックス再生時は、操作できません。

全画像を消去する

SDカードに保存されているすべての画像を消去します。

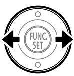
- 消去した画像は復元できません。十分に確認してから消去してください。
- プロテクトされている画像は消去できません。

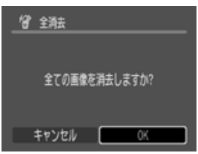




1 [▶(再生)]メニューから🗑を選び、FUNC./SETボタンを押す

メニューの選択と設定のしかた(p.48)







2 ←/→ボタンで[OK]を選び、FUNC./SETボタンを押す

全消去を取り消すときは、[キャンセル]を選びます。

画像データだけでなく、SDカードの記録内容をすべて消去したいときは、SDカードを初期化してください(p.27)。

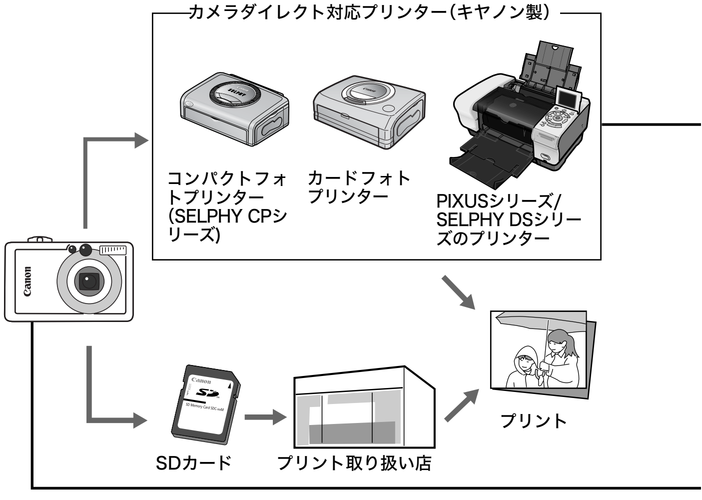
プリントについて

このカメラで撮影した画像は、次の方法でプリントできます。

- カメラとカメラダイレクト対応プリンター*1をケーブルで直接つなぎ、カメラの🖨〜ボタンを押すだけで、簡単にプリントできます。
- プリントする画像や枚数などを、あらかじめカメラで設定（DPOF*2プリント指定）しておけば、SDカードをプリント取り扱い店にお持ちいただくだけで、指定どおりにプリントできます。

*1 このカメラは標準規格「PictBridge（ピクトブリッジ）」に対応していますので、キヤノン製のコンパクトフォトプリンター（SELPHY CPシリーズ）やカードフォトプリンター、PIXUSシリーズ、SELPHY DSシリーズのほか、キヤノン製以外のPictBridge対応プリンターでもプリントできます。

*2 Digital Print Order Formatの略



本書ではDPOFプリント指定について説明しています。プリント方法は、別冊のダイレクトプリントユーザーガイドをご覧ください。また、お使いのプリンターの使用説明書もご覧ください。

■ このカメラで使えるプリンターについて

カメラダイレクト対応コンパクトフォトプリンター(SELPHY CPシリーズ)、カードフォトプリンター
➡システムマップ
カメラダイレクト対応PIXUSシリーズ/SELPHY DSシリーズのプリンター
➡裏表紙に記載されているホームページ
インクジェットプリンタ総合カタログ
キヤノン販売お客様ご相談センター

カメラダイレクト対応プリンターでのプリント

➡ダイレクトプリントユーザーガイド
➡お使いのプリンターの使用説明書

DPOFプリント指定(p.130)
DPOFの送信指定(p.135)

DPOFのプリント指定

SDカードに記録されている画像の中から、プリントする画像や枚数をあらかじめカメラで指定できます。カメラダイレクト対応プリンターで一括でプリントするときや、プリント取り扱い店に注文するときに大変便利です。
プリンターからプリントする方法は、ダイレクトプリントユーザーガイドをご覧ください。

プリントする画像を選ぶ

画像の指定には、次の2つの方法があります。

・1画像ずつ指定する
・SD カード内のすべての画像を指定する（プリント枚数は各画像につき1枚です。）



1 [▶(再生)]メニューから🖶を選び、FUNC./SETボタンを押す

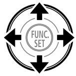
メニューの選択と設定のしかた（p.48）

■ 1画像ずつ指定する



2 ▲/▼/◀/▶ボタンで[画像指定]を選び、FUNC./SETボタンを押す

[リセット]を選ぶと、プリント指定された画像をすべて解除します。



プリント枚数表示



インデックスプリントの選択



3 プリントする画像を選ぶ

プリントタイプ

プリントタイプの設定(p.133)によって指定方法が次のように異なります。

・スタンダード( )/両方( )

←/→ ボタンで画像を選び、FUNC./SETボタンを押して ↑/↓ ボタンでプリント枚数を指定します(最大99枚まで)。

・インデックス( )

←/→ ボタンで画像を選び、FUNC./SETボタンで指定、指定解除を行います。指定されるとチェックマークが付きます。

ズームレバーを 側に押してインデックス再生(9 画像表示)に切り換えても、同じ方法で指定できます。

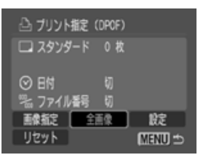


4 MENUボタンを押す

プリント指定メニューに戻ります。再度押すと再生メニューに戻り、さらに押すと再生画面に戻ります。

■ SDカード内のすべての画像を指定する

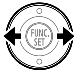


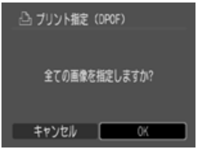




2 ↑/↓/←/→ ボタンで[全画像]を選び、FUNC./SETボタンを押す

[リセット]を選ぶと、プリント指定された画像をすべて解除します。







3 ←/→ボタンで[OK]を選び、FUNC./SETボタンを押す

プリント指定メニューに戻ります。



4 MENUボタンを押す

再生メニューに戻り、さらに押すと再生画面に戻ります。

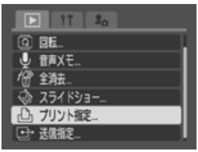
- DPOF対応の他のカメラでプリント指定されたSDカードの場合、⚠が表示されます。このカメラでそれらのプリント指定を変更すると、設定済みのプリント指定は、すべて書き換えられます。
- プリンターまたはプリント取り扱い店によっては、指定内容が反映されないことがあります。
- 動画はプリント指定できません。

- 撮影日時の古い画像から順にプリントされます。
- 最大998画像まで指定できます。
- [プリントタイプ]が[両方]の場合、プリント枚数は指定できますが、[インデックス]の場合は指定できません。[インデックス]は1枚のみプリントされます。
- 付属のソフトウェア（ZoomBrowser EXまたはImageBrowser）でもプリント指定ができます。ただし、日付を写し込んだ画像をプリントする場合、DPOFのプリント指定で日付を入れる設定をしないでください。日付が重複してプリントされます。

プリントスタイルを設定する

プリントする画像を選んでから、プリントスタイルを指定してください。次の内容を設定できます。

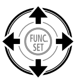
プリントタイプ	スタンダード	ペーパー1枚に1画像をプリントします。
	インデックス	画像を縮小してインデックス形式でプリントします。
	両方	スタンダードとインデックスの両方をプリントします。
日付		日付を入れてプリントします。
ファイル番号		ファイル番号を入れてプリントします。

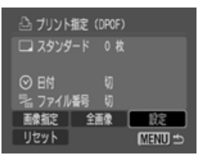




1 [(再生)]メニューからを選び、FUNC./SETボタンを押す

メニューの選択と設定のしかた(p.48)

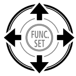






2 ▲/▼/◀/▶ボタンで[設定]を選び、FUNC./SETボタンを押す

[リセット]を選ぶと、画像のプリント指定をすべて解除します。



3 ↑/↓ボタンで[プリントタイプ]、[日付]、[ファイル番号]のいずれかを選び、←/→ボタンで設定したい内容を選ぶ



- **プリントタイプ**

[スタンダード]、[インデックス]、[両方]のいずれかを選びます。



- **日付**

[入]または[切]を選びます。



- **ファイル番号**

[入]または[切]を選びます。



4 MENUボタンを押す

プリント指定メニューに戻ります。再度押すと再生メニューに戻り、さらに押すと再生画面に戻ります。

- プリントタイプが[インデックス]の場合、[日付]と[ファイル番号]を同時に設定することはできません。
- [プリントタイプ]を[スタンダード]または[両方]に設定している場合、[日付]と[ファイル番号]を同時に[入]に設定できます。ただし、お使いのプリンターによって、プリントできる情報が異なることがあります。
- (L判プリント)で日付を写し込んだ画像は(p.73)、[日付]の設定が[切]の場合でも、写し込んだ日付がプリントされます。

日付は、[日付 / 時刻]で設定した日付スタイルでプリントされます(p.30)。

画像の送信指定（DPOF送信指定）

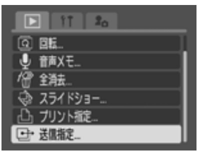
パソコンに取り込む画像をあらかじめカメラ側で指定できます。パソコンへの送信方法は、ソフトウェアクイックガイドをご覧ください。なお、この指定は、DPOF（Digital Print Order Format）に準拠しています。

> DPOF 対応の他のカメラで送信指定された SD カードの場合、▲ が表示されることがあります。このカメラでそれらの送信指定を変更すると、設定済みの送信指定は、すべて書き換えられます。

送信する画像を選ぶ

画像の指定には、次の2つの方法があります。

- 1画像ずつ指定する
- SDカード内のすべての画像を指定する





1 **[▶（再生）]メニューから 送信指定アイコン を選び、FUNC./SETボタンを押す**

メニューの選択と設定のしかた（p.48）

■ 1画像ずつ指定する

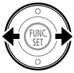






2 **←/→ボタンで[画像指定]を選び、FUNC./SETボタンを押す**

[リセット]を選ぶと、画像の送信指定をすべて解除します。





送信画像の選択



3 ←/→ボタンで画像を選び、FUNC./SETボタンで指定または指定を解除する

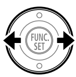
- 指定されると、チェックマークが付きます。
- ズームレバーを ▪ 側に押してインデックス再生(9画像表示)に切り換えても、同じ方法で指定できます。



4 MENUボタンを押す

送信指定メニューに戻ります。再度押すと再生メニューに戻り、さらに押すと再生画面に戻ります。

■ SDカード内のすべての画像を指定する

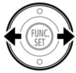


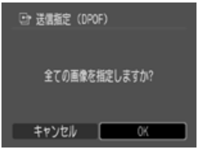




2 ←/→ボタンで[全画像]を選び、FUNC./SETボタンを押す

[リセット]を選ぶと、画像の送信指定をすべて解除します。







3 ←/→ ボタンで[OK]を選び、FUNC./SETボタンを押す

送信指定メニューに戻ります。



4 MENUボタンを押す

再生メニューに戻り、さらに押すと再生画面に戻ります。

- 撮影日時の古い画像から順に送信されます。
- 最大998画像まで指定できます。

カメラで撮影した画像をパソコンに取り込む方法は次のとおりです。お使いのOSによっては利用できない方法があります。あらかじめ「パソコンに必要なシステム構成」(p.139)でご確認ください。

●カメラとパソコンを接続して画像を取り込む

Windows 98 SE | Windows Me | Windows 2000 | Windows XP | Mac OS X

ソフトウェアをインストールし、パソコンの操作で画像を取り込む

➡「カメラとパソコンを接続する(p.139)」、別冊のソフトウェアクイックガイド

Windows 98 SE | Windows Me | Windows 2000 | Windows XP | Mac OS X

ソフトウェアをインストールし、カメラのボタン操作で画像を取り込む(初回のみパソコンの設定が必要)

➡「カメラとパソコンを接続する(p.139)」、「ダイレクト転送で画像を取り込む(p.144)」

Windows XP | Mac OS X

ソフトウェアをインストールせずに、パソコンの操作で画像を取り込む

➡「カメラとパソコンを接続する(p.139)」(ソフトウェアのインストールは必要ありません)、「ソフトウェアをインストールせずに、カメラとパソコンを接続して画像を取り込む(p.147)」

●SDカードから画像を取り込む

➡「SDカードから画像を取り込む(p.147)」

カメラとパソコンを接続する

パソコンに必要なシステム構成

ソフトウェアは、以下の条件を満たすパソコンにインストールしてお使いください。

●Windows

OS	Windows 98 Second Edition(SE) Windows Me Windows 2000 Service Pack 4 Windows XP(Service Pack 1、Service Pack 2を含む)
機種	上記OSがプリインストールされていて、USBポートが標準装備されていること
CPU	Pentium 500MHz以上
RAM	Windows 98 SE / Windows Me　:128MB以上 Windows 2000 / Windows XP　:256MB以上
インターフェース	USB
ハードディスク空き容量	●Canon Utilities ・ZoomBrowser EX　:250MB以上 （印刷ソフトウェアPhotoRecord含む） ・PhotoStitch　:　40MB以上 ●Canon Camera TWAIN Driver　:　25MB以上 ●Canon Camera WIA Driver　:　25MB以上 ●ArcSoft PhotoStudio　:　50MB以上
ディスプレイ	1,024×768ドット High Color(16bit)以上

●Macintosh

OS	Mac OS X(v10.1.5〜v10.3)
機種	上記OSがプリインストールされていて、USBポートが標準装備されていること
CPU	PowerPC G3/G4/G5
RAM	256MB以上
インターフェース	USB
ハードディスク空き容量	●Canon Utilities ・ImageBrowser　:200MB以上 ・PhotoStitch　:　40MB以上 ●ArcSoft PhotoStudio　:　50MB以上
ディスプレイ	1,024×768ドット 32,000色 以上

重要

カメラとパソコンを接続する前に、必ず付属の Canon Digital Camera Solution Diskに収められているドライバとソフトウェアをインストールしてください。

- ドライバとソフトウェアをインストールする前にカメラとパソコンを接続すると、カメラが正しく認識されません。このような場合には、ソフトウェアクイックガイドの「困ったときには」をご覧ください。
- 必要なシステム構成を満たした、パソコンのすべての動作を保証するものではありません。

- インターフェースケーブルを接続するときに、カメラやパソコンの電源を切る必要はありません。
- パソコンのUSB ポートの位置は、お使いのパソコンの取扱説明書で確認してください。
- カメラをパソコンに接続する場合、フル充電したバッテリーまたはACアダプターキット ACK-DC10(別売)をお使いになることをおすすめします(p.18、p.166)。

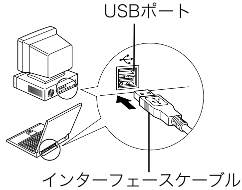
Windowsの場合

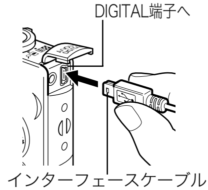
1 Canon Digital Camera Solution Diskから、ドライバとソフトウェアをインストールする(初回時のみ)

インストールの手順は、ソフトウェアクイックガイドをご覧ください。

2 付属のインターフェースケーブルで、パソコンのUSBポートとカメラのDIGITAL端子を接続する

・カメラの端子カバーの開けかたは、p.14 をご覧ください。インターフェースケーブルの マークを手前にして、奥まで差し込みます。
・接続部周辺に注意しながら、インターフェースケーブルを抜き差ししてください。





・カメラの DIGITAL 端子からインターフェースケーブルを取り外すときは、必ず、コネクターの側面を持って取り外してください。

3 カメラのモードスイッチを ▶（再生）にする

4 ランプが緑色に点灯するまで、電源スイッチを押す

5 パソコンに表示されるイベントダイアログで、[Canon CameraWindow]を選んで[OK]をクリックする（初回操作時のみ）



イベントダイアログが表示されない場合は、スタートメニューから[プログラム]または[すべてのプログラム]>[Canon Utilities]>[CameraWindow]>[CameraWindow]をクリックします。

以下のウィンドウが表示されます。



ソフトウェアを使ってパソコンの操作で画像を取り込む場合:

➡ソフトウェアクイックガイドをご覧ください。

カメラの操作で画像を取り込む(ダイレクト転送)場合:

➡「ダイレクト転送で画像を取り込む(p.144)」をご覧ください。

Macintoshの場合

1 Canon Digital Camera Solution Diskから、ドライバとソフトウェアをインストールする(初回時のみ)

インストールの手順は、ソフトウェアクイックガイドをご覧ください。

2 ImageBrowserの自動起動の設定を行う

- カメラとパソコンをはじめて接続するときには、カメラとパソコンを接続する前に、ImageBrowserの自動起動の設定を行ってください。
- 2 回目以降の接続時には、この操作は必要ありません。

■ ImageBrowserの自動起動の設定ーOS X（v10.2 / v10.3）の場合

1.イメージキャプチャを起動し、[イメージキャプチャ]メニュー＞[環境設定]を選択する

2.[カメラを接続したときに起動する項目]のリストボックスから[その他]を選択する



3.アプリケーションを選択するウィンドウで[CameraWindow]を選択する

通常、[CameraWindow]は、[アプリケーション]フォルダ＞[Canon Utilities]フォルダ＞[CameraWindow]フォルダにインストールされています。

4.[OK]をクリックした後、イメージキャプチャを終了する

■ ImageBrowserの自動起動の設定ーOS X（v10.1）の場合

1.Image Capture（イメージキャプチャ）を起動し、[ホットプラグ時の動作]のリストボックスから[その他]を選択する



2.アプリケーションを選択するウィンドウで[CameraWindow]を選択する

通常、[CameraWindow]は、[アプリケーション]フォルダ＞[Canon Utilities]フォルダ＞[CameraWindow]フォルダにインストールされています。

3.Image Captureを終了する

3 p.141の手順2～4を操作する

以下のウィンドウが表示されます。



ソフトウェアを使ってパソコンの操作で画像を取り込む場合:

➡ソフトウェアクイックガイドをご覧ください。

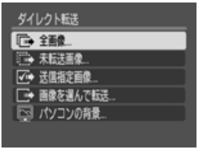
カメラの操作で画像を取り込む(ダイレクト転送)場合:

➡「ダイレクト転送で画像を取り込む(p.144)」をご覧ください。

ダイレクト転送で画像を取り込む

カメラの操作で画像を取り込めます。初めてダイレクト転送で画像を取り込むときは、付属のソフトウェアを最初にインストールし、パソコンの設定をしておいてください(p.140)。

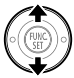
	全画像	すべての画像をパソコンに取り込み、保存します。
	未転送画像	まだ取り込んでいない画像だけをパソコンに取り込み、保存します。
	送信指定画像	送信指定(p.135)した画像だけをパソコンに取り込み、保存します。
	画像を選んで転送	画像を見ながら1画像ずつパソコンに取り込み、保存します。
	パソコンの背景	画像を見ながら、パソコンのデスクトップの背景にしたい画像を取り込みます。取り込んだ画像は、パソコンのデスクトップに背景として表示されます。



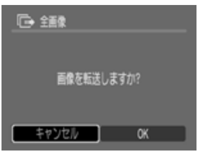
1 カメラの液晶モニターにダイレクト転送画面が表示されていることを確認する

- ボタンが青色に点灯します。
- ダイレクト転送画面が表示されない場合は、MENUボタンを押してください。

■ [全画像][未転送画像][送信指定画像]のとき



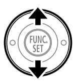




2 ▲/▼ボタンで、、のいずれかを選び、ボタンを押す

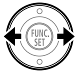
- 取り込みを中止するときは、FUNC./SET ボタンを押してキャンセルします。
- 画像が取り込まれます。取り込み中は、ボタンが青色に点滅します。取り込みが終了するとダイレクト転送画面に戻ります。

■ [画像を選んで転送][パソコンの背景]のとき





2 ▲/▼ボタンでまたはを選び、ボタン(またはFUNC./SETボタン)を押す







3 ◀/▶ボタンで取り込みたい画像を選び、ボタン(またはFUNC./SETボタン)を押す

- 画像が取り込まれます。取り込み中は、ボタンが青色に点滅します。
- インデックス再生に切り換えても、画像を選べます。



4 MENUボタンを押す

ダイレクト転送画面に戻ります。

[パソコンの背景]の場合、JPEG 圧縮の画像のみが取り込まれます。Windowsをお使いの場合は、BMP画像が自動的に作られます。

ボタンで選択した項目は、カメラの電源を切っても記憶されます。次回、ダイレクト転送画面を表示したときは、前回設定した項目が選択されます。[画像を選んで転送]と[パソコンの背景]を選択していたときは、直ちに画像を選択する画面が表示されます。

ソフトウェアをインストールせずに、カメラとパソコンを接続して画像を取り込む

Windows XPまたはMac OS X (v10.1.5〜v10.3)をお使いの場合、OSに標準で組み込まれているソフトウェアを使って、画像を取り込めます。Canon Digital Camera Solution Diskからソフトウェアをインストールする必要がなく、インターフェースケーブルでカメラとパソコンを接続するだけで、会社やお友達のパソコンに画像を取り込めますので、便利です。
ただし、この方法で画像を取り込む場合、いくつかの制限事項があります。詳細は、付属の「Windows® XP、Mac OS Xをお使いの方へ」でご確認ください。

1 **付属のインターフェースケーブルで、パソコンのUSBポートとカメラのDIGITAL端子を接続する**

(p.141の手順2〜4をご覧ください。)

2 **パソコンに表示されるメッセージにしたがって画像を取り込む**

SDカードから画像を取り込む

1 **カメラからSDカードを取り出し、パソコンに接続されたSDカードリーダーに入れる**

カードアダプターやカードリーダーへの接続のしかたなどは、各々の使用説明書でご確認ください。

2 **SDカードを接続したドライブをダブルクリックして開く**

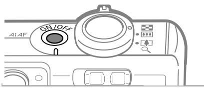
OSによっては、自動的に画面が表示されます。

3 **撮影した画像をハードディスクの任意の場所にコピーする**

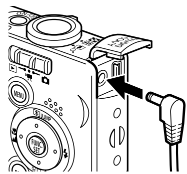
撮影した画像は、SDカード内の[DCIM]フォルダの中の[xxxCANON]フォルダ(xxxは100〜998の数字が入ります)にあります(p.107)。

テレビを使って撮影/再生する

付属のAVケーブル AVC-DC300をお使いいただくと、テレビに画像を表示して撮影や再生ができます。ビデオ出力形式は、日本国内で採用しているNTSC方式が初期設定になっています。

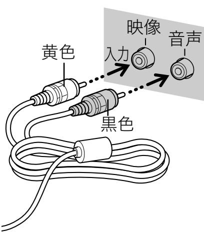


1 カメラ(p.35)とテレビの電源を切る



2 カメラのA/V OUT端子にAVケーブルを接続する

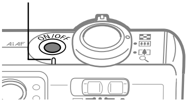
・リストストラップの透明な部分で端子カバーを開け(p.14)、AVケーブルを奥まで押し込みます。
・接続部周辺に注意しながら、AV ケーブルを抜き差ししてください。



3 テレビの映像入力端子と音声入力端子にAVケーブルを接続する

4 テレビの電源を入れ、入力切り換えをビデオ入力にする

電源ランプ



5 **電源ランプが緑色に点灯するまで、電源スイッチを押す**

・画像がテレビに表示され、通常の撮影や再生ができます。
・撮影時、テレビに画像が表示されていないときは、DISP.ボタンを押します。

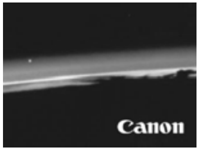
- スティッチアシストでは使用できません。
- ビデオ出力形式の設定方法（p.50、p.56）
- 海外で使うとき（p.169）
- テレビ表示中は、液晶モニターに画像は表示されません。
- AVケーブルをステレオ対応のテレビに接続する場合は、音声入力端子の左右どちらかに接続してください。詳しくは、お使いのテレビの取扱説明書でご確認ください。

カメラの起動画面や起動音、操作音、セルフタイマー音、シャッター音を「マイカメラコンテンツ」と呼びます。このカメラでは起動画面や音をそれぞれ3種類の中から選べます。

例:起動画面



[1]



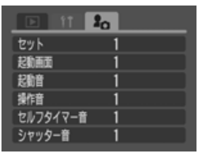
[2]



[3]

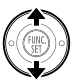
マイカメラコンテンツの[2]にはSF関連、[3]には動物関連のコンテンツがあらかじめ入っています。

マイカメラコンテンツを変更する



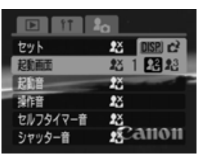
1 [(マイカメラ)]メニューを表示する

メニューの選択と設定のしかた(p.48)



2 ▲/▼ボタンでメニュー項目を選ぶ





3 ◀/▶ボタンで設定したいコンテンツを選ぶ

MENU	**4** MENUボタンを押す ・メニューが終了します。 ・撮影モードのときは、シャッターボタンを半押ししてもメニューを終了できます。

- すべて同じコンテンツに設定したいときは、手順2で[セット]を選びます。
- マイカメラメニューでコンテンツを選択していても、[🛠 (設定)]メニューの[消音]が[入]になっているときは、警告音以外の音は鳴りません。起動画面は表示されます。

マイカメラコンテンツを登録する

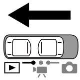
各コンテンツの[2][3]には、SDカードに記録してある画像や新たに録音した音声を、マイカメラコンテンツとしてその場ですぐに登録できます。付属のソフトウェアを使うと、パソコンにある画像や音声、CANON iMAGE GATEWAY からダウンロードしたコンテンツをカメラに登録することもできます。

コンテンツを登録できる項目は、次のとおりです。

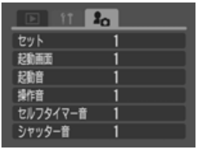
・起動画面　・起動音　・操作音
・セルフタイマー音　・シャッター音

マイカメラコンテンツを初期設定に戻すには、パソコンが必要です。付属のソフトウェア(ZoomBrowser EX/ImageBrowser)を使い、初期設定のコンテンツをカメラに登録してください。

SDカード内の画像や音声を登録する

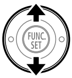


1 モードスイッチを にする

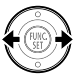


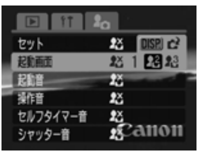
2 [(マイカメラ)]メニューを表示する

メニューの選択と設定のしかた(p.48)



3 ▲/▼ボタンで登録したいメニュー項目を選ぶ



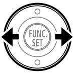


4 ◀/▶ボタンで または を選ぶ

DISP. が表示されます。



5 DISP.ボタンを押す









6 登録したい画像の選択または音声の録音をする

・起動画面

←/→ ボタンで登録したい画像を選んで、FUNC./SETボタンを押します。

・起動音、操作音、セルフタイマー音、シャッター音

- ←/→ボタンで●(録音)を選び、FUNC./SETボタンを押します。録音が開始され、録音時間が経過すると自動的に録音が終了します。
- 録音後、←/→ ボタンで (登録)を選んで、FUNC./SETボタンを押します。
- 登録しないでマイカメラメニューの画面に戻るときは、 (終了)を選びます。
- 録音した音を再生するときは▶(再生)を選びます。







7 ←/→ボタンで[OK]を選び、FUNC./SETボタンを押す

登録を取り消すときは、[キャンセル]を選びます。

- 以下は、マイカメラコンテンツに登録できません。
  - 動画
  - 音声メモ機能(p.118)で録音した音声
- 新しいマイカメラコンテンツを登録すると、以前に登録されていたコンテンツは消去されます。

マイカメラコンテンツに登録できるデータ

マイカメラコンテンツは、以下のタイプにしたがっていることが必要です。ただし、このカメラで撮影したSDカード内の画像は、下記タイプに関係なく登録できます（動画、音声メモ機能（p.118）で録音した音声を除く）。

起動画面

・圧縮方法　JPEG（ベースラインJPEG）
・サンプリングレート　4:2:0もしくは4:2:2
・画像サイズ　320×240画素
・ファイル容量　20KB以下

起動音、操作音、セルフタイマー音、シャッター音

・圧縮方法　WAVE（モノラル）
・量子化ビット　8bit
・サンプリング周波数　11.025kHzまたは8.000kHz
・記録時間

	11.025kHz	8.000kHz
起動音	1.0秒以下	1.3秒以下
操作音	0.3秒以下	0.4秒以下
セルフタイマー音	2.0秒以下	2.0秒以下
シャッター音	0.3秒以下	0.4秒以下

＊ 上記のタイプ以外は、カメラに登録できません。

たとえば、[セルフタイマー音]で、「はい、チーズ！」などの掛け声を登録すると、シャッターが切れる2秒前にカメラが発声し、また他にもさまざまな音をお楽しみいただけます。陽気なリズムの音楽を登録すれば、目元もほころび、自然な笑顔を撮影できるかもしれません。演奏に合わせてポーズを決めるのも、マイカメラならではの撮影方法です。

マイカメラコンテンツの登録、作成についての詳細は、付属のソフトウェアクイックガイドをご覧ください。

CANON iMAGE GATEWAY は、キヤノンのデジタルカメラを購入された方がお使いになれるオンラインフォトサービスです。オンラインで会員登録(無料)されると、いろいろなサービスがご利用いただけます。

http://www.imagegateway.net/

- 最新のサービス内容は、上記のサイトでご確認いただけます。
- 会員登録方法は、上記のサイト、またはソフトウェアクイックガイドでご確認いただけます。

*インターネットに接続できる環境(プロバイダとの契約やブラウザソフトのインストール、各種回線接続が完了済み)が必要です。
*プロバイダとの接続料金、およびプロバイダのアクセスポイントへの通信料金は、別途かかります。

CANON iMAGE GATEWAYの会員になるとできること

ー次のサービスをご利用いただけますー

バージョンアップなどサポート情報の電子メール配信サービス(無料)

登録されたカメラのファームウェア / ソフトウェアのバージョンアップに関する最新情報を、ご希望の方にお知らせいたします。

オンラインアルバムサービス(無料)

- 撮影した静止画や動画*をCANON iMAGE GATEWAYにアップロードし、ネット上にご自分のアルバムを作成できます。
- 画像につけたコメントや音声もアップロードできますので、オリジナルのアルバムをお楽しみいただけます。



*動画をアップロードするには、追加ソフトウェア(無料)を CANON iMAGE GATEWAYからダウンロードし、事前にパソコンにインストールすることが必要です。

携帯電話アルバム通知・閲覧サービス(無料)

- お友達やご家族のパソコンや携帯電話に、作成したアルバムのURLをメールで知らせることができます。
  オンラインアルバムは、メールで通知されたURLからパソコンや携帯電話で直接見られるので、楽しい思い出を共有できます*(パソコンからは動画も閲覧できます)。
- 携帯電話は、お使いの機種に合わせて画像の大きさや色数が自動的に調整されます。





*携帯電話の通信料金は使用された方のご負担となります。また、カラー表示可能な携帯電話をご利用ください。

ホームプリンティングサービス(無料)

画面上の印刷ボタンを押すだけで、オンラインアルバム上のお好きな画像を、対応のキヤノン製プリンターで印刷できます*。ご自身だけでなく、お知らせメールを受けたお友達やご家族の方にもご利用いただけます。

* ご利用の際には、プラグインモジュールを CANON iMAGE GATEWAY からダウンロードして、パソコンにインストールすることが必要です。

プリント注文サービス(有料)



- オンラインアルバムの画像は、インターネットから24時間、いつでもプリント注文できます。
- ご自身だけでなく、公開されたアルバムを見たお友達やご家族の方も注文できます。
- プリントはDP判、L判、2L判、A4判、A3判、ポストカード、オリジナル写真集「マイブック」に対応しています。
- プリントや写真集は、提携のプリントサービス会社から指定の場所に配送されます。
- 代金はクレジットカード、もしくは最寄りのコンビニエンスストアに設置されているマルチメディア端末を使って(コンビニ決済)、簡単にお支払いいただけます。
- 携帯電話からは、DP判、L判、2L判のプリントが注文できます。

オリジナル写真集（フォトブック）作成サービス（有料）

- CANON iMAGE GATEWAY からフォトブックエディタをダウンロードし（無料）、撮影したお気に入りの画像とテンプレートを選択して、ご自身のパソコンで簡単に写真集のコンテンツを編集できます。
  編集したデータをCANON iMAGE GATEWAYに送信し、写真集を注文すると、プリント/製本して、ご指定の場所にお届けします。
- 写真集のテンプレートは、随時、新しいデザインのものが追加されます。
- 代金はクレジットカード、もしくは最寄りのコンビニエンスストアに設置されているマルチメディア端末を使って（コンビニ決済）、簡単にお支払いいただけます。

マイカメラコンテンツのダウンロード（無料）

- マイカメラコンテンツをダウンロードし、カメラに登録できます。
- 多彩なコンテンツが用意されていますので、お好きなものをダウンロードしてカメラに登録すれば、ご自分だけのオリジナルカメラをお楽しみいただけます。



＊画面例はWindows XP用です。また、最新の画面表示と異なることがあります。

撮影または再生中に液晶モニターに表示されるメッセージには以下のものがあります。
プリンターを接続しているときに表示されるメッセージについては、ダイレクトプリントユーザーガイドをご覧ください。

処理中…	：撮影した画像をSDカードに記録しています。再生モードを起動中です。
カードがありません	：SDカードがカメラに入っていないときに撮影または再生しようとしました。
ライトプロテクト	：SDカードがライトプロテクト（書き込み禁止）されています。
記録できません	：SDカードがカメラに入っていないのに撮影しようとしました。または、動画に音声メモをつけようとしました。
カードが異常です	：SDカードに異常があります。
カードがいっぱいです	：SDカードの容量いっぱいに画像が記録されていて、これ以上記録や保存ができません。または、これ以上、画像指定（スライドショーやプリントなど）や音声メモができません。
ファイル名が作れません	：カメラが作成しようとするディレクトリと同じ名前のファイルが存在する、もしくは、すでに画像番号が最大値になってしまったために、ファイル名を作成できません。設定メニューで[番号のリセット機能]を[入]に設定してください。必要な画像をパソコンに取り込んだ後、SDカードを初期化してください。なお、初期化すると、SDカード内の画像およびデータはすべて消去されます。
バッテリーを交換してください	：バッテリーの残量が少なく、カメラが動作不能です。ただちに充電されたバッテリーに交換するか、バッテリーを充電してください。
画像がありません	：SDカードに画像が記録されていません。
画像が大きすぎます	：4992×3328画素より大きなサイズの画像、またはファイルサイズの大きな画像を再生しようとしました。
互換性のないJPEGです	：互換性のないJPEG圧縮の画像を再生しようとしました。

データが壊れています	:データが破壊されている画像を再生しようとしました。
RAW	:RAWタイプで記録された画像を再生しようとしました。
認識できない画像です	:特殊なタイプ(他社カメラ特有の記録タイプなど)で撮影した画像、または別のカメラで撮影した動画を再生しようとしました。
拡大できない画像です	:別のカメラもしくは異なるタイプで撮影した画像、いったんパソコンに取り込んで加工した画像、または動画を拡大しようとしました。
回転できない画像です	:別のカメラもしくは異なるタイプで撮影した画像、いったんパソコンに取り込んで加工した画像、または動画を回転させようとしました。
互換性のないWAVEです	:録音済みの音声メモのタイプが正しくないので、この画像に追加録音できません。
登録できない画像です	:このカメラ以外で撮影した画像、または動画を起動画面に登録しようとしました。
プロテクトされています	:プロテクトされている画像、または動画を消去しようとしました。
指定が多すぎます	:プリント指定、送信指定、またはスライドショーの画像指定が多すぎます。これ以上指定できません。
指定完了できませんでした	:プリント指定、送信指定、またはスライドショーの画像指定を保存できませんでした。
指定できない画像です	:JPEG 以外の画像をプリント指定しようとしました。
Exx	:カメラに異常が発生しました。いったん電源を入れ直して、再び撮影または再生してください。頻繁に、このエラーコードが表示されるときは、故障ですので「xx」の数値を控えてサービスセンターへお持ちください。また、撮影直後にこのエラーコードが表示されたときは、撮影されていない場合がありますので、再生モードに切り換えてご確認ください。

現　象	原　因	対　処
カメラが動作しない	電源が入っていません。	・電源スイッチをしばらく押してください。
	SDカードスロット/バッテリーカバーが開いています。	・SDカードスロット/バッテリーカバーがしっかりと閉じていることを確認してください。
	バッテリーの電圧が足りません。	・十分に充電されたバッテリーをカメラに入れてください。 ・ACアダプターキット ACK-DC10（別売）を使用してください。
	カメラとバッテリーの接触不良です。	・バッテリーの電極を先の細い柔らかい綿棒などで乾拭きしてください。
撮影ができない	モードスイッチを ▶（再生）に合わせています。	・モードスイッチを 📷 または 🎥 にしてください。
	ストロボが充電中です。	・充電が完了すると、ランプが橙色に点灯します。シャッターボタンを押してください。
	SDカードの空き容量がありません。	・新しいSDカードを入れてください。 ・必要であれば、カードに記録されている画像をパソコンに取り込んでから画像を消去し、空き容量を増やしてください。
	SDカードが正しく初期化されていません。	・SDカードを初期化してください。 ・SDカードの論理フォーマットが壊れている可能性があります。最寄のキヤノンサービスセンターにお問い合わせください。
	SDカードがライトプロテクト（書き込み禁止）されています。	・SDカードのライトプロテクトスイッチを上にスライドしてください（p.24）。

現　象	原　因	対　処
再生ができない	他のカメラで撮影した画像やパソコンで編集した画像を再生しようとしました。	・付属のZoomBrowser EXやImageBrowserを使って、再生できない画像をパソコンからカメラに追加すると、再生できることがあります。 詳細は、ZoomBrowser EX/ImageBrowserのソフトウェアガイド(PDF)をご覧ください。
	ファイル名をパソコンで変更したり、ファイルの場所を変更しました。	・ファイル名およびフォルダ番号は、DCFの規格に従ったファイル名にしてください。 ➡「画像番号およびフォルダ番号について(p.107)」参照
レンズが出たままで収納されない	電源を入れたまま、SDカードスロット/バッテリーカバーを開けました。	・SDカードスロット/バッテリーカバーを閉じた後、電源を切ってください。
	SDカードへの記録中に、SDカードスロット/バッテリーカバーを開けました(警告音が鳴ります)。	・SDカードスロット/バッテリーカバーを閉じた後、電源を切ってください。
バッテリーの消耗が早い	常温(23℃)で使用しているときに消耗が早い場合は、バッテリーの寿命です。	・新しいバッテリーと交換してください。
バッテリーが充電できない	バッテリーの寿命です。	・新しいバッテリーと交換してください。
	バッテリーとバッテリーチャージャーの接触不良です。	・バッテリーをバッテリーチャージャーにしっかりとセットしてください。 ・バッテリーチャージャーのコネクターを電源コンセントにしっかりと差し込んでください。
カメラ内部で音がする	カメラの縦･横の向きが変わりました。	・カメラの向きを検出する機構が働いています。カメラの故障ではありません。

現　象	原　因	対　処
画像がぼやけている ピントがあまい	カメラが動いています。	・シャッターボタンを押すときに、カメラを動かさないように注意してください。
	AF補助光投光部が何かで覆われているため、AFが機能していません。	・AF補助光投光部に、指などがかからないように注意してください。
	AF補助光の設定が[切]になっています。	・AF補助光の設定を[入]にしてください(p.52)。
	被写体がピントの合う範囲からはずれています。	・通常撮影時は被写体から30cm以上離してください。 ・マクロモード時は被写体から30cm(ワイド端のとき3cm)〜50cmの距離で撮影してください。 ・デジタルマクロモード時は被写体から3〜10cm(ワイド端固定)の距離で撮影してください。 ・遠くの被写体を撮影する場合は、遠景モードで撮影してください。
	ピントが合いにくい被写体です。	・フォーカスロック、AFロックで撮影してください。 ➡「ピントが合いにくい被写体を撮る(フォーカスロック、AFロック)(p.86)」参照
撮影した画像の被写体が暗すぎる	撮影時の光量が不足しています。	・ストロボを常時発光してください。
	被写体が周辺部に比べて暗すぎます。	・露出補正値をプラス側に設定してください。 ・AEロックまたはスポット測光機能をお使いください。
	被写体が遠すぎてストロボ光が届いていません。	・ストロボをお使いになるときは、カメラを被写体から3.5m(ワイド端)/2.0m(テレ端)以内に近付けてください。 ・ISO感度を上げて撮影してください。

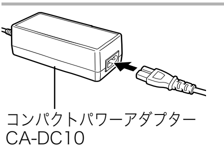
現　象	原　因	対　処
撮影した画像の被写体が明るすぎる	被写体が近すぎてストロボ光が強すぎます。	・ストロボをお使いになるときは、カメラを被写体から 50cm 以上離してください。
	被写体が周辺部に比べて明るすぎます。	・露出補正値をマイナス側に設定してください。 ・AE ロックまたはスポット測光機能をお使いください。
	照明が直接、もしくは被写体の表面で反射してカメラに入っています。	・被写体に対するカメラのアングルを変えてください。
	ストロボが常時発光になっています。	・ストロボを発光禁止にしてください。
液晶モニターに赤紫などの帯が縦に表示される	被写体が極端に明るすぎます。	・CCD特有の現象で、カメラの故障ではありません（動画にはこの帯が記録されますが、静止画には記録されません）。
液晶モニターにノイズが表示される 液晶モニターに表示される被写体の動きがぎこちない	暗い場所で撮影する場合、液晶モニターを見やすくするために、カメラが自動的に液晶モニターに映し出される画像を明るくしました（p.39）。	・記録される画像に影響はありません。
画像に白い点などが写る	ストロボ撮影時に空気中のちりやほこり、虫などにストロボ光が反射しました。特にワイド側で撮影したときに、目立ちやすくなります。	・デジタルカメラ特有の現象でカメラの故障ではありません。
ストロボが発光しない	ストロボが発光禁止になっています。	・ストロボを常時発光にしてください。

現　象	原　因	対　処
テレビに正しく出力できない	お使いの地域のビデオ出力形式に合っていません。	・正しいビデオ出力形式（NTSC または PAL）に合わせてください（p.169）。日本国内の出力形式は、「NTSC」です。
	スティッチアシストで撮影しています。	・スティッチアシストではテレビに出力できません。他の撮影モードで撮影してください。
ズームの操作ができない	動画撮影中（スタンダード時を除く）にズームレバーを押しました。	・動画を撮影する前に、ズーム操作をしてください。
SDカードからの画像の読み出しが遅い	違う機器で初期化した SD カードが入っています。	・このカメラで初期化したSDカードをお使いください。
SDカードへの画像の記録時間が長い		

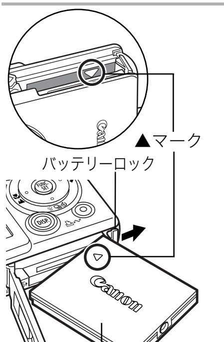
ACアダプターキット(別売)を使う

カメラを連続して長時間お使いになるときや、パソコンと接続するときは、ACアダプターキット ACK-DC10(別売)のご利用をおすすめします。

カメラの電源を切って、コンパクトパワーアダプターの取り付けや取り外しを行ってください。



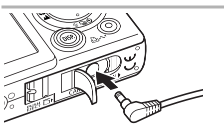
1 コンパクトパワーアダプターに電源コードを接続し、電源プラグをコンセントに差し込む



2 SDカードスロット / バッテリーカバーを開き、DC カプラーをロックされるまで押し込む

バッテリーロックを矢印の方向に押しながら、DCカプラーとバッテリー室内の▲を合わせ、正しく入れてください。

SD カードスロット / バッテリーカバーを元の位置に戻します。



3 DCカプラー端子カバーを開き、DC端子を接続する

使用後は、電源プラグをコンセントから抜いてください。

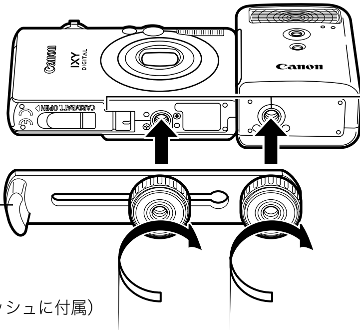
ACK-DC10(別売)以外のACアダプターキットをお使いになると、カメラやACアダプターキットの故障の原因となることがあります。

補助ストロボ(別売)の使いかた

ハイパワーフラッシュ HF-DC1

被写体が遠すぎて内蔵ストロボが届かないときに使用する外付け用補助ストロボです。次のようにカメラとハイパワーフラッシュをブラケットで固定して撮影してください。

ハイパワーフラッシュに付属の取扱説明書も併せてご覧ください。



- 電池が消耗するとハイパワーフラッシュの充電時間が長くなりますので、ご使用後はハイパワーフラッシュの電源 / 発光モードスイッチを必ずお切りください。
- 撮影中は、発光部や受光部を指でふさがないようにご注意ください。
- 日中の野外では、ハイパワーフラッシュがこのカメラの内蔵ストロボ光を感知できずに発光しないことがあります。
- 撮影場所の周囲で他のカメラがストロボを使用していると、ハイパワーフラッシュが発光することがあります。
- 反射物がないときはハイパワーフラッシュが発光しないことがあります。
- 連続して撮影するときは、1 画像目の撮影時は発光しますが、2 画像目以降は発光しません。

- 電池の使用可能時間が著しく短いときは、電池の電極を乾いた布などでよく拭いてからお使いください。電極が皮脂などで汚れていることがあります。
- 寒冷地（0℃以下）でお使いになるときは、予備として市販のリチウム電池（CR123A または DL123）を用意して、使用直前までポケットなどに入れて温めてから交互にお使いになることをおすすめします。
- 電池をハイパワーフラッシュに入れたままにしておくと、液漏れが原因で故障することがあります。お使いにならないときは、ハイパワーフラッシュから取り出して乾燥した冷暗所に保管してください。
- ブラケットの取り付けねじは、しっかり締め付けてください。カメラとハイパワーフラッシュが落下して故障の原因となります。

- ハイパワーフラッシュをブラケットに固定する前にリチウム電池（CR123AまたはDL123）が入れてあるか確認してください。
- 被写体に正しくストロボが当たるように、カメラとハイパワーフラッシュの前面は平行に、側面はぴったり合うように固定してください。
- ハイパワーフラッシュを取り付けた状態でも三脚はお使いになれます。

海外で使うとき

このデジタルカメラは、海外でもお使いになれますが、次のことにご注意ください。

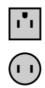
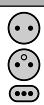
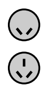
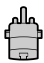
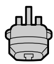
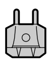
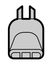
テレビでの再生

ビデオ出力方式は、初期設定では日本国内で採用しているNTSC方式に設定されていますが、海外の別方式（PAL方式：主にヨーロッパ、オセアニア、アジア（一部地域を除く））に切り換えることができます。海外に旅行したときなどは、切り換えてお使いください（p.56）。

電源について

ACアダプターキットやバッテリーチャージャーは、AC100～240V 50/60Hz までの電源に接続できます。ただし、電源コンセントの形状が異なる国では、変換プラグアダプターが必要になります（1つの国の中でも地域によってコンセントの形状が異なる場合があります）。変換アダプターについては、旅行代理店などで確認の上、あらかじめご用意ください。

海外の電源コンセントの種類

タイプ	A	B	BF	C	S
コンセントの形状					
交換プラグ	不要です				

主な国名と使用するプラグの種類

●北米	
アメリカ合衆国	A
カナダ	A

●ヨーロッパ	
アイスランド	C
アイルランド	C
イギリス	B. BF
イタリア	C
オーストリア	C
オランダ	C
ギリシャ	C
スイス	C
スウェーデン	C
スペイン	A. C
デンマーク	C
ドイツ	C
ノルウェー	C
ハンガリー	C
フィンランド	C
フランス	C
ベルギー	C
ポーランド	B. C
ポルトガル	B. C
ルーマニア	C

●アジア	
インド	B. C. BF
インドネシア	C
シンガポール	B. BF
スリランカ	B. C. BF
タイ	A. BF. C
大韓民国	A. C
中華人民共和国	A. B. BF. C. S
ネパール	C
パキスタン	B. C
バングラデシュ	C
フィリピン	A. BF. S
ベトナム	A. C
香港特別行政区	B. BF
マカオ特別行政区	B. C
マレーシア	B. BF. C

●オセアニア	
オーストラリア	S
グアム	A
タヒチ	C
トンガ	S
ニュージーランド	S
フィジー	S

●中南米	
アルゼンチン	BF. C. S
コロンビア	A
ジャマイカ	A
チリ	B. C
ハイチ	A
パナマ	A
バハマ	A
プエルトリコ	A
ブラジル	A. C
ベネズエラ	A
ペルー	A. C
メキシコ	A

●中近東	
イスラエル	C
イラン	C
クウェート	B. C
ヨルダン	B. BF

●アフリカ	
アルジェリア	A. B. BF. C
エジプト	B. BF. C
カナリア諸島	C
ギニア	C
ケニア	B. C
ザンビア	B. BF
タンザニア	B. BF
南アフリカ共和国	B. C. BF
モザンビーク	C
モロッコ	C

- AC アダプターキットやバッテリーチャージャーを海外旅行者用の電子変圧器などに接続すると、故障のおそれがありますので使用しないでください。
- このカメラの保証書は、国内に限り有効です。万一、海外旅行先で故障、不具合が生じた場合は、持ち帰ったあと、国内の「お客様相談センター」にご相談ください。

カメラのお手入れ

カメラ本体やレンズ、ファインダー、液晶モニターなどが汚れたときは、次の方法でクリーニングしてください。

絶対にシンナーやベンジン、中性洗剤や水などを使ってクリーニングしないでください。部品の変形や故障の原因になることがあります。

カメラ本体

やわらかい布やメガネ拭きなどで汚れを拭き取ってください。

レンズ

市販のブロワーブラシでほこりやゴミを吹き払った後、やわらかい布で軽く拭き取ってください。

カメラ本体やレンズは、絶対に有機溶剤を含むクリーナーなどで拭かないでください。どうしても汚れが落ちないときは、最寄りのキヤノンサービスセンター（別紙の「修理サービスご相談窓口」をご参照ください）にご相談ください。

ファインダー、液晶モニター

市販のブロワーブラシでほこりやゴミを吹き払ってください。汚れがひどいときは、やわらかい布やメガネ拭きなどで軽くこすって汚れを落としてください。

絶対に液晶モニター表面を強くこすったり、強く押したりしないでください。液晶モニターの故障やトラブルの原因となります。

主な仕様

すべてのデータは、当社測定条件によります。都合により記載内容を予告なしに変更することがあります。

IXY DIGITAL 55

カメラ部有効画素数	：約500万画素
撮像素子	：1/2.5型CCD（総画素数 約530万画素）
レンズ	：5.8（W）－17.4（T）mm (35mmフィルム換算 35（W）－105（T）mm) F2.8（W）－F4.9（T）
デジタルズーム	：約4.0倍（光学ズームと合わせて最大約12倍のズームが可能）
光学ファインダー	：実像式ズームファインダー
液晶モニター	：2.0型低温ポリシリコンTFT 液晶カラーモニター 約11.8万画素、視野率100%
AF方式	：TTLオートフォーカス 測距枠：9点（AiAF）/ 1点（AF） (1点時の測距枠：中央固定）
撮影距離 （レンズ先端より）	：通常撮影：30cm～∞ マクロ撮影：3～50cm（W）/30～50cm（T） 遠景撮影：3m～∞
シャッター	：メカニカルシャッター ＋ 電子シャッター
シャッタースピード	：15～1/1500秒 ・撮影モードによって異なる ・1.3秒以上のスローシャッター時はノイズリダクション処理あり
測光方式	：評価測光 / 中央部重点平均測光 / スポット測光 (スポット測光時の測光枠は中央固定)
露出制御方式	：プログラムAE
露出補正	：±2段（1/3段ステップ）
感度	：オート / ISO 50 / 100 / 200 / 400相当 ＊オート設定時は、カメラが最適値に自動設定
ホワイトバランス	：TTLオート/プリセット（太陽光 / くもり / 電球 / 蛍光灯 / 蛍光灯H）/ マニュアル

（W）：ワイド端　（T）：テレ端

内蔵ストロボ	：オート / オート（赤目緩和）/ 常時発光（赤目緩和）/ 常時発光 / 発光禁止 / スローシンクロ
内蔵ストロボ撮影範囲	：通常撮影：50cm～3.5m（W）/50cm～2.0m（T） ：マクロ撮影：30cm～50cm（W/T） （感度設定：オート）
撮影モード（静止画）	：オート、マニュアル*、デジタルマクロ、ポートレート、ナイトスナップ、キッズ＆ペット、パーティー/室内、水中、マイカラー、スティッチアシスト**
（動画）	：スタンダード、スムーズ、ライト、マイカラー *長秒時撮影可能 **撮影メニューにて選択
連続撮影	：約2.1画像/秒 （ラージ・ファインモードのとき）
セルフタイマー	：約10秒後 / 約2秒後 / カスタム
記録媒体	：SDメモリーカード
ファイルフォーマット	：DCF準拠*1、DPOF対応
データタイプ（静止画）	：Exif 2.2（JPEG）*2
（動画）	：AVI（画像データ：Motion JPEG / 音声データ：WAVE（モノラル））
圧縮率	：スーパーファイン / ファイン / ノーマル
記録画素数（静止画）	：ラージ　：2592×1944画素 ミドル1　：2048×1536画素 ミドル2　：1600×1200画素 スモール　：640×480画素 L判プリント：1600×1200画素
（動画）	：スタンダード、マイカラー ：640×480画素（30フレーム/秒、15フレーム/秒） ：320×240画素（30フレーム/秒、15フレーム/秒） SDカードの容量がいっぱいになるまで撮影可能* （1回の最大撮影容量：1GB） スムーズ　：320×240画素（60フレーム/秒） 1回の最長記録時間：1分 ライト　：160×120画素（15フレーム/秒） 1回の最長記録時間：3分 *超高速の SD カード使用時（推奨 SD カード：SDC-512MSH）

（W）：ワイド端　（T）：テレ端

付録

再生モード	：シングル再生（ヒストグラム表示可能）/ インデックス再生（サムネイル9画像）/ 拡大再生（液晶モニター上で最大約10倍に拡大可能、拡大した状態で画像送りが可能）/ ジャンプ（10枚ごと、100枚ごと、各撮影日の先頭画像、動画にジャンプが可能。インデックス再生時は、9画像ごとに再生）/ スライドショー / 音声メモ（最長約60秒まで記録/再生が可能）/ 動画再生（スロー再生可能）
ダイレクトプリント	：PictBridge / CPダイレクト / Bubble Jetダイレクト対応
表示言語	：日本語 / 英語 / ドイツ語 / フランス語 / オランダ語 / デンマーク語 / フィンランド語 / イタリア語 / ノルウェー語 / スウェーデン語 / スペイン語 / 中国語（簡体字）/ ロシア語 / ポルトガル語 / ギリシャ語 / ポーランド語 / チェコ語 / ハンガリー語 / トルコ語 / 中国語（繁体字）/ 韓国語
マイカメラ（カスタマイズ）機能	：起動画面 / 起動音 / 操作音 / セルフタイマー音/シャッター音が、以下の方法で設定可能 1.このカメラで記録 2.付属のソフトウェアやオンラインフォトサービス「CANON iMAGE GATEWAY」からダウンロード
CANON iMAGE GATEWAY 対応機能	：付属のソフトウェアを使って、CANON iMAGE GATEWAYの会員登録、画像のアップロード、オンラインアルバムサービス、携帯電話アルバム通知・閲覧サービス、カメラへのマイカメラコンテンツのダウンロード、オンラインプリントサービス、オリジナル写真集作成サービス、ホームプリンティングサービスなどが利用可能
インターフェース	：USB 2.0 Hi-Speed（mini-B）、PTP［Picture Transfer Protocol］ 映像 / 音声出力端子（NTSCまたはPAL切換可能、モノラル音声）
電源	：専用充電式リチウムイオン電池 NB-4L ：ACアダプターキット ACK-DC10
動作温度	：0〜40 ℃
動作湿度	：10〜90%
大きさ（突起部を除く）	：86.0×53.0×20.7mm（最薄部19.5mm）
質量（本体のみ）	：約130g

＊1 DCFは（社）電子情報技術産業協会（JEITA）で、主としてDSC等の画像ファイル等を、関連機器間で簡便に利用しあえる環境を整えることを目的に標準化された規格「Design rule for Camera File system」の略称です。

＊2 このデジタルカメラは、Exif 2.2（愛称「Exif Print」）に対応しています。Exif Print は、デジタルカメラとプリンターの連携を強化した規格です。Exif Print対応のプリンターと連携することで、撮影時のカメラ情報を活かし、それを最適化して、よりきれいなプリント出力結果を得ることができます。

バッテリー性能（バッテリーパックNB-4L（フル充電））

撮影画像数		再生時間
液晶モニター表示時（CIPA測定法準拠）	液晶モニター非表示時	
約150画像	約400画像	約180分

- 撮影画像数は、撮影状況、撮影モードなどにより異なります。
- 動画データは除きます。
- 使用環境温度が下がると、バッテリーの性能が低下したり、バッテリーアイコンが早めに表示されることがあります。このような場合は、使用直前までポケットなどに入れて温めてから使用すると、バッテリーの性能が回復することがあります。

＜測定条件＞

撮影：常温（23±2℃）・常湿（50±20%）で、2回に1回ストロボを発光させながら、30秒間隔でワイド端とテレ端で交互に撮影し、10画像撮影後に電源切。十分な時間*が経過した後、再び電源を入れて同様の方法で撮影を繰り返す。

・キヤノンブランドのSDメモリーカードを使用

＊電池の温度が常温に戻るまでの時間

再生：常温（23±2℃）・常湿（50±20%）の環境において、1画像あたり3秒間隔で連続再生。

バッテリーの取り扱いについて（p.19）

SDカードの種類と記録可能画像数の目安

□ :付属のSDカード

		SDC-16M	SDC-128M	SDC-512MSH
L 2592×1944画素	S（スーパーファイン）	5	49	190
	ファイン	9	87	339
	ノーマル	19	173	671
M1 2048×1536画素	S（スーパーファイン）	8	76	295
	ファイン	15	136	529
	ノーマル	30	269	1041
M2、 1600×1200画素	S（スーパーファイン）	13	121	471
	ファイン	24	217	839
	ノーマル	46	411	1590
S 640×480画素	S（スーパーファイン）	52	460	1777
	ファイン	80	711	2747
	ノーマル	127	1118	4317

■ 動画

			SDC-16M	SDC-128M	SDC-512MSH
スタンダード マイカラー	640 640×480画素	L30	6秒	1分 4秒	4分 9秒
		L15	14秒	2分 7秒	8分14秒
	320 320×240画素	L30	20秒	3分 1秒	11分42秒
		L15	40秒	5分55秒	22分53秒
スムーズ	320 320×240画素	L60	10秒	1分32秒	5分59秒
ライト	160 160×120画素	L15	1分39秒	14分29秒	55分57秒

・動画の 1 回の最長撮影時間は、（スムーズ）:1 分、（ライト）:3 分です。表中の数値は、繰り返し撮影した場合の最大記録可能時間です。

・L (ラージ)、M1 (ミドル 1)、M2 (ミドル 2)、S (スモール)、640、320、160 は記録画素数を表します。

・S(スーパーファイン)、(ファイン)、(ノーマル)は圧縮率を表します。

・L60、L30、L15 は、1秒間のフレーム数を表します。

1画像の容量(目安)

記録画素数	圧縮率		
	S		
L 2592×1944画素	2503KB	1395KB	695KB
M1 2048×1536画素	1602KB	893KB	445KB
M2 1600×1200画素	1002KB	558KB	278KB
S 640×480画素	249KB	150KB	84KB

	記録画素数	フレームレート	容量
スタンダード マイカラー	640 640×480画素	30	1980KB/秒
		15	990KB/秒
	320 320×240画素	30	660KB/秒
		15	330KB/秒
スムーズ	320 320×240画素	60	1320KB/秒
ライト	160 160×120画素	15	120KB/秒

SDメモリーカード

インターフェース	：SDメモリーカード規格準拠インターフェース
大きさ	：32.0×24.0×2.1mm
質量	：約2g

バッテリーパック NB-4L

形式	：充電式リチウムイオン電池
公称電圧	：DC 3.7V
公称容量	：760mAh
充放電	：約300回
動作温度	：0～40℃
大きさ	：35.4×40.3×5.9mm
質量	：約17g

バッテリーチャージャー CB-2LV

定格入力	：AC100～240V（50/60Hz） 10VA（100V）～ 14VA（240V）
定格出力	：DC 4.2V、0.65A
充電時間	：約90分
動作温度	：0～40℃
大きさ	：53.0×86.0×19.5mm
質量	：約60g

コンパクトパワーアダプター CA-DC10

（別売のACアダプターキット ACK-DC10に付属）

定格入力	：AC100～240V（50/60Hz） 16VA（100V）～26VA（240V）
定格出力	：DC 4.3V、1.5A
使用温度	：0～40℃
大きさ	：42.6×104.4×31.4mm
質量	：約180g

ワンポイントアドバイス

セルフタイマーの活用法 ➡p.74

シャッターボタンを押した瞬間にカメラが動いてしまう可能性があります。このとき、セルフタイマーを に設定すると、2 秒後に撮影されるので、カメラのブレを防ぐことができます。また、カメラを固定した台の上に置いたり、三脚を使用すると、よりきれいな画像を撮影できます。

露出補正のしかた ➡p.91

このカメラは、適切な明るさで撮影できるよう、自動で露出を補正しています。しかし、撮影状況によっては、実際よりも明るく写ったり、暗く写ってしまうことがあります。このようなときは、手動で露出を補正してください。

	**露出不足(アンダー)** 全体が黒っぽく写ります。そのため、白いものはグレーのように写ります。 白っぽい被写体や逆光で撮影すると、露出アンダーになることがあります。+側に補正してください。
	**適切な露出**
	**露出過多(オーバー)** 全体が白っぽく写ります。そのため、黒いものはグレーのように写ります。 黒っぽい被写体や暗い場所で撮影すると、露出オーバーになることがあります。ー側に補正してください。

ISO感度について ➡p.104

ISO感度とは、光を感じる能力を数値化したものです。数値が高いほど感度が高くなります。ISO感度が高いと、暗い室内や屋外でストロボを使わずに撮影でき、また手ブレしにくくなります。たとえば、ストロボ撮影禁止の場所で撮影するときに便利です。その場の光を活かした雰囲気のある仕上がりになります。


ISO50 相当


ISO400 相当

マクロ機能の一歩進んだ使いかた ➡p.67

マクロ機能は、レンズのズーム機能と合わせて使うと、より特徴のある画面作りが可能になります。たとえば花を撮るとき、ズームを広角側にすると花の背景までピントのあった画像が撮影できますし、望遠側にすると花の背景を効果的にぼかすことができます。


広角側でマクロ撮影


望遠側でマクロ撮影

記号/アルファベット

ア行

カ行

サ行

タ行

ハ行

マ行

ラ行

補修用性能部品について

保守サービスの為に必要な補修用性能部品の最低保有期間は、製品の製造打切り後7年間です。（補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。）

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラス B 情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。カメラユーザーガイド（本書）に従って正しい取り扱いをしてください。

①本書の内容の一部または全部を無断で転載することは、禁止されています。
②本書の内容に関しては、将来予告なく変更することがあります。
③本書の内容については万全を期していますが、万一不審な点や誤り、記載もれなど、お気付きの点がありましたら、キヤノンお客様ご相談窓口までご連絡ください。連絡先は、本書巻末に記載してあります。
④このカメラを運用した結果については、上記にかかわらず責任を負いかねますので、ご了承ください。

- DCFは、（社）電子情報技術産業協会の団体商標で、日本国内における登録商標です。
- DCFロゴマークは、（社）電子情報技術産業協会の「Design rule for Camera File system」の規格を表す団体商標です。
- Macintosh および Mac OS、QuickTime は、米国およびその他の国で登録された米国アップルコンピュータ社の商標です。
- Microsoft® 、Windows® は、米国Microsoft Corporationの米国および他の国における登録商標です。本書では、Microsoft® Windows® 98、Microsoft® Windows® 2000、Microsoft® Windows® Millennium Edition、Microsoft® Windows® XPを、それぞれWindows 98、Windows 2000、Windows Me、Windows XP、またはWindowsと略して記載しています。
- SDロゴは商標です。
- その他、本書中の社名や商品名は、各社の登録商標または商標です。

各撮影モードで設定できる機能一覧

下記の表を参考に、撮影状況に合わせて各種設定を行い、撮影してください。各撮影モードで設定した内容は、撮影後も設定が保持されます。

機能									参照ページ
記録画素数	ラージ L	○*	○*	○*	○*	○*	△*	−	p.61
	ミドル1 M1	○	○	○	○	○	△	−	
	ミドル2 M2	○	○	○	○	○	△	−	
	スモール S	○	○	○	○	○	△	−	
	L判プリント	○	○	−	○	○	−	−	
	動画	−	−	−	−	−	−	○1)	
圧縮率	スーパーファイン	○	○	○	○	○	△	−	p.61
	ファイン	○*	○*	○*	○*	○*	△*	−	
	ノーマル	○	○	○	○	○	△	−	
フレームレート		−	−	−	−	−	−	○2)	p.81
ストロボ3)	オート	○	○	−	○	○	−	−	p.63
	オート(赤目緩和)	○*	○*	−	○	○*	−	−	
	常時発光(赤目緩和)	−	−	−	○	−	−	−	
	常時発光	−	○	−	○	○	△	−	
	発光禁止	○	○	○*	○	○	△*	−	
	スローシンクロ	−	○	−	−	○	△	−	
マクロ撮影		○	○	−	○4)	○	△	○	p.67
遠景撮影		−	○	−	○4)	○	△	○	
AFロック	AFL	−	○	○	−	○	−	○	p.86
AEロック	AEL	−	○	○	−	○	−	○	p.88
FEロック	FEL	−	○	−	−	○	−	−	p.89
撮影方法	シングル撮影	○*	○*	○*	○*	○*	△*	○*	−
	連続撮影	−	○	○	○	−	−	−	p.71
	10秒セルフタイマー	○	○	○	○	○	△	○	p.74
	2秒セルフタイマー	○	○	○	○	○	△	○	
	カスタムセルフ	○	○	○	○	−	−	−	
日付写し込み		○	○	−	○	○	−	−	p.73
AF方式の選択		−	○	○	○5)	○	−	−	p.85

機能									参照ページ
AF補助光		○	○	○	○	○	△	○	p.47
デジタルズーム		○	○	–	○	–	–	○6)	p.70
測光方式	評価測光	–	○*	○*	–	○*	–	–	p.90
	中央部重点平均測光	–	○	○	–	○	–	–	
	スポット測光	–	○	○	–	○	–	–	
露出補正		–	○	○	○	○7)	△	○7)	p.91
長秒時撮影		–	○	–	–	–	–	–	p.92
ホワイトバランス 8)		–	○	○	–9)	○	△	○	p.94
色効果		–	○	○	–9)	–	△	○10)	p.97
ISO感度		–9)	○	○	–9)	–9)	–9)	–9)	p.104
縦横自動回転		○	○	○	○	○	△	–	p.105

＊:初期設定　○:設定可　△:最初の１画像のみ設定可

・　　　:電源を切っても解除されません。
・[日付/時刻]、[言語]、[ビデオ出力方式]以外のメニュー設定と、ボタン操作によるカメラの設定を、一度にすべて初期設定に戻せます(p.58)。

1) 2) (動画)の記録画素数、フレームレートは下記のとおりです。

記録画素数	640	○*	–	–
	320	○	○	–
	160	–	–	○
フレームレート	60	–	○	–
	30	○*	–	–
	15	○	–	○

3) ストロボの初期設定は、　:オート(赤目緩和)、:オートになります。のとき、ストロボ発光時は自動的にスローシンクロ撮影になります。

4) では、マクロ/遠景撮影の切り換えができません。

5) では、AF方式は選択できません。

6) 撮影中も操作ができます(スタンダードモード時のみ)。

7) では、露出補正はできません。

8) 色効果が[セピア]、[白黒]の場合は設定できません。

9) カメラが自動的に設定します。

10) では、色効果は設定できません。